

II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)	◎	旅行代理店（従業員）	・夏季繁忙期を迎えて、国内客及び外国人客の観光需要が増加することを期待している。次世代半導体事業の関連で、宿泊施設の着工が進んでいることから、今後、ビジネス需要が増加することも期待できる。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	・最近では観光地に限らず、その周辺にも投資の動きが広がっている。街にも活気が出始めていることから、今後の景気は徐々に回復することになる。
	○	スーパー（店長）	・ここ数年、残暑が長引くようになり、秋が短くなっていることから、季節商材の需要期に変化が生じている。ただし、客もこうした傾向をつかんできているため、小売店も在庫の持ち方を工夫することで、消費は若干上向くと期待している。
	○	コンビニ（エリア担当）	・年々、気温が高くなっている。秋以降も同じような傾向が続くことになれば、景気は徐々に上向くと期待している。ただし、参議院選挙の結果を受けて、政策などに変化が出てくることも考えられるため、先行きには不透明感がある。
	○	衣料品専門店（店長）	・単価が安定しているスーツが異例の需要となっていることから、購買意欲が少しずつ上向いていることがうかがえる。衣料品は、値上げに対して厳しい目を向けられる市場状況にあるものの、今後の消費は上向くと期待している。
	○	乗用車販売店（経営者）	・車の生産状況が安定しているため、今後の新車販売は堅調に推移する。中古車販売も比較的安定している。さらに、年度後半を迎えて、車検対象の車が増加するため、サービス部門の入庫量も増え、収益の増加につながる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・今後については、当社の決算期が9月であること、10月以降、タイヤの交換時期を迎えることから、今以上に来客数が増えることになり、それに伴って販売量も伸びてくると期待している。油断はできないが、今の底の状態と比べれば、景気は良くなる。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・今後も観光客が増えていくことを期待している。観光客は、余り価格を気にしないことから、今後の景気は良好に推移することになる。
	○	観光型ホテル（スタッフ）	・販売単価が堅調に推移していることから、今後の景気はやや良くなる。
	○	旅行代理店（従業員）	・7月の来客数の減少は、参議院選挙の影響によるものとみられる。また、直近の旅行需要については、猛暑の影響で減少するとみられるものの、3か月後にはその反動で需要が増加すると期待している。
	○	タクシー運転手	・今後については、多数の地域イベントが予定されていることで、人流が増えると見込まれるため、景気はやや良くなる。
	○	観光名所（従業員）	・大地震が予言されていた7月5日を過ぎたことで、落ち込んでいたインバウンドが徐々に復調している。インバウンドは、元々勢いがあったこともあって、これから好調に推移すると期待している。
	□	商店街（代表者）	・今後も、景気は変わらない。ただし、税や社会保障費などの負担が減ることになれば、景気は良くなる。
	□	商店街（代表者）	・当地においては、イベントなどの予定も特にないため、今後も来街者数は伸びずに推移する。そのため、売上の増加は期待できない。
□	百貨店（売場主任）	・株価がやや上がっているものの、依然として、先行きへの不透明感が強いことから、今よりも景気が上向くとは考えにくい。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	百貨店（販売促進担当）	・北海道においても記録的な暑さが続くなか、客が外出を控える傾向がみられるようになっており、しばらくはこうした状況が続くことになる。ただし、お盆以降は、気温が低下するとともに、消費活動が活発になると期待している。
	□	スーパー（企画担当）	・米国との相互関税が合意に至ったことで安心感が広まっており、消費にも好影響が出てくると期待している。ただし、合意内容が国内経済に与える影響が未知数である。また、参議院選挙の結果を受けて、今後の政策がどうなるのかが不明瞭である。これらのことから、今後の景気は現状と変わらないまま推移する。
	□	コンビニ（エリア担当）	・物価高騰の影響で、必要最低限の商品しか購入しない客が多い。買上点数が上向いてこないことから、今後も景気は変わらない。
	□	コンビニ（エリア担当）	・気温が高いことで、来客数が一時的に増加している。ただし、気温が下がれば、元の状態に戻るとみられるため、今後も景気は変わらない。
	□	コンビニ（エリア担当）	・今後については、他店との競合環境が変わる見込みであることから、景気が良くなるか、悪くなるか判断が付かない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・いまだに物価が上がっていることから、今後の景気が悪くなることはあっても、良くなることはない。
	□	衣料品専門店（エリア担当）	・天候要因以外に、来客数の増える要因が見当たらないことから、今後も景気は変わらない。
	□	乗用車販売店（従業員）	・メーカーによる配車台数の割当てについて、今後も変化がないとみられることから、景気は変わらない。景気を向上させるには、配車台数の割当てが増えることなどが必要である。
	□	乗用車販売店（従業員）	・今後については、販売量が増えるような好材料がないことから、しばらくは大きな変化のないまま推移する。
	□	住関連専門店（役員）	・7月は猛暑の影響で、季節商材の販売量が上向いたが、今後、商品の値上げが予定されていることを踏まえると、客の節約志向は変わらないとみられる。そのため、今後も景気は変わらない。
	□	高級レストラン（スタッフ）	・前年は、街を挙げての大きなイベントがあったため、観光客が増加し、夏場まで大きな盛り上がりが見られた。一方、今年はそうした企画もなく、猛暑の影響もみられることから、今後の景気は大きな変動もなく推移する。
	□	スナック（経営者）	・スナックのような形態の飲食店の景気が、これから良くなるとは考えにくい。
	□	観光型ホテル（スタッフ）	・今後の景気がどうなるか、今のところ、全く予想がつかない。
	□	旅行代理店（従業員）	・物価と客の収入のバランスが崩れていることから、旅行需要が低迷している状況は今後も続くことになる。
	□	旅行代理店（従業員）	・今秋、首長選挙が行われることから、団体旅行を控える動きがみられる。そのため、今後の景気は横ばいでの推移となる。
	□	タクシー運転手	・長期予報によると、今年は暑い日が多いとみられることから、今後のタクシー利用も7月と同様に、前年を上回るとみられる。また、当社は乗務員採用が順調なことから、今後もタクシーの稼働台数が増え、売上増加が続くことになる。ただし、乗務員の採用コストもかさんでいるため、会社としては、当分増収減益が続くことになる。
	□	タクシー運転手	・観光客やイベント関係の予約状況は例年並みであり、問合せ状況もふだんと変わらない。気温の高い日はタクシー利用が増えているものの、一時的な動きであり、これから天候が落ち着くことで、景気は横ばいで推移することになる。
	□	通信会社（企画担当）	・個人需要については、例年9月下旬に人気端末が発売されることから、それまでは現状のまま推移することになる。一方、法人需要については、中小企業向けのセミナーへの参加者数が増加傾向にあることから、景気の底上げにつながると期待している。ただし、効果が出てくるのは早くて半年後となる。
	□	美容室（経営者）	・毎月のように商品の値上げが行われていることから、今後、給与などが増加しない限り、美容などへの出費を控える傾向が続くことになる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	住宅販売会社（経営者）	・金利の上昇をストップさせ、為替を円高に向かわせるようにしない限り、内需が中心の事業者は厳しい状況が続くことになる。
	□	住宅販売会社（経営者）	・実質賃金が上昇すれば、現在の住宅価格の割高感が薄れ、客の購入マインドも上向くことになる。今後については、物価高の抑制と同時に、より一層の賃上げが行われることを期待したい。
	□	住宅販売会社（従業員）	・米国の関税政策の影響で、企業収益が悪化することを懸念している。収益が悪化することで、賃金の上昇が小幅なものになれば、物価の上昇幅を下回る状況が続くことになり、景気が上向くことにはならない。
	▲	商店街（代表者）	・米国の関税問題の影響もあって、全体的に景気がやや落ち込んでいる。今後の景気もやや悪くなる。
	▲	商店街（代表者）	・猛暑の影響で、出歩かずに家で過ごす人が増えており、来客数が大幅に減っている。売上も大幅に減少している。猛暑が続く限り、景気の回復は望めない。
	▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	・例年にない暑い日が続いているなか、アジアからの観光客は減少しておらず、購買力も高いままである。ただし、今後については、米国の関税の動向が不透明なことから、世界経済及び日本経済が徐々に落ち込んでいくことが懸念される。
	▲	スーパー（店長）	・何かが変わったわけでもないため、景気が好転する要因が見当たらない。
	▲	スーパー（店長）	・物価高騰対策が具体化してこないことから、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	スーパー（企画担当）	・足元の販売動向をみると、商品単価が前年から5%程度上昇していることで、客1人当たりの買上点数が前年から3%程度減少している。今後についても、新米の出回る9月以降の米の価格推移が流動的なこと、米国との相互関税の影響が不透明なことから、現在のインフレ状況が落ち着くとは考えにくい。家庭の手取りも上向いてこないことから、先行きの消費行動は厳しいことが見込まれる。
	▲	スーパー（役員）	・今後も食料品の値上がりは続くと思われる。賃上げが物価の上昇を下回る状況も続いているため、客の節約志向は今後も継続することになる。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・今後も景気動向は変わらない。夏に消費が増えた分は、秋以降に買い控えの形で現れることになる。
	▲	家電量販店（店員）	・猛暑の影響で、エアコンの販売量が増えたが、売上は前年を下回っている。秋になると、大型暖房機の販売が始まるものの、年々販売台数が減少していることから、余り期待はできない。
	▲	乗用車販売店（経営者）	・物価が高止まりしている影響で、個人消費が低迷している。さらに、メーカーの経営状況に関する報道が、客の消費マインドを押し下げていることから、当面、販売量の増加は見込めない。会社として一層の経費削減も必要になっていることから、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・例年にないほどの猛暑の影響か、来客数が大きく減少している。一方、50代以上の客による体調不良の相談が増えている。新規客の獲得機会と考えてポジティブに捉えているが、今後も来客数の減少が続くことを懸念している。
	▲	高級レストラン（スタッフ）	・以前よりも円高になっていることで、外国人観光客の消費額が減少している傾向がうかがえる。客単価が少しずつ低下しており、売上がじわじわと減っていきそうな気配がある。情報発信の上手な観光客主体の店は、ユニ井などの高単価の人気メニューを提供することで何とか持ちこたえている。ただし、ユニのような、相場の変動が大きな食材を使っていると、難しい商売をしているのではないかと心配になる。
	▲	観光型ホテル（経営者）	・インバウンドの団体客の集客が回復していないことから、今後、販売価格を下げざるを得ない状況にある。そのため、収益が減少することが懸念される。
	▲	美容室（経営者）	・今後の景気はやや悪くなる。今の状況のままで、景気が良くなると考える人の方が少数派とみられる。
	▲	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・秋以降の観光需要に陰りが出ることを懸念している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般小売店（経営者）	・以前よりも、先行きの不透明感が強まっていることから、今後の景気は悪くなる。
	×	スーパー（店長）	・このところ、毎週のように商品の値上げが行われていることから、客の買い方がシビアになっている。今後も価格が上昇していくとみられるため、景気はますます悪くなる。
	×	タクシー運転手	・猛暑の影響で、夏恒例のイベントが次々と縮小又は中止となっていることで、人出が減り、街中のにぎわいもみられなくなっている。消費も明らかに落ち込んでいることから、今後の景気はやや悪くなる。
企業 動向 関連 (北海道)	◎	—	—
	○	農林水産業（経営者）	・今後については、果物の収穫が盛んな時期となるため、天候面で大きな影響がない限り、景気はやや良くなる。
	○	金融業（従業員）	・米国との相互関税により、国内景気にマイナスの影響が生じる懸念はあるものの、不確実性が後退したことは経済活動にとってプラスに働くことになる。今後については、省力化なども含めた設備投資が進むことで、景気はやや良くなると期待している。
	○	広告代理店（従業員）	・ここに来て株価が上昇傾向にあることから、先行きの輸出が好調になり、好影響が生じることを期待している。
	○	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・人手不足問題などもあることから、急激な売上増加までは期待しづらいものの、国内建設投資が引き続き堅調に推移するとみられる。そのため、今後の景気はやや良くなる。
	□	食料品製造業（従業員）	・売上が増えるような案件が、特に見当たらないことから、今後も景気は変わらない。
	□	食料品製造業（従業員）	・4月に行った価格改定の影響が現れ始めていることから、今後も景気は変わらない。
	□	家具製造業（経営者）	・米国の追加関税について、当初25%とされていたものが、15%で合意したことによって、今後の輸出にどのような影響が生じるかを注視している。
	□	建設業（経営者）	・一部の工種で人手不足が発生している。また、猛暑の影響で休工する現場もみられる。ただし、土木工事については、好天が続いていることで、計画を上回る進捗となっており、全体としては順調に推移している。新規の受注は一段落しており、今後、工事の稼働はピークを迎えることになる。
	□	建設業（従業員）	・人材不足はすぐには解消できないため、現状と変わらないまま推移する。
	□	建設業（役員）	・上半期中は、順調に推移する見通しであることに変わりはない。ただし、参議院選挙で政権政党が大敗したことで、政局が混迷し、景気の足を引っ張ることになるのではないかと懸念している。
	□	輸送業（支店長）	・取引先から新規案件の話が出ていることから、今後の物流動向はある程度上向くことになる。ただし、猛暑の影響で農作物の動きが落ち込むことが懸念される。全体的にみると、景気は変わらないまま推移する。
	□	司法書士	・登記業務に関する引き合いがみられることから、今後の販売量は7月を上回るとみられる。ただし、物価高騰が続いていることから、利益が販売量ほど増えるとは期待できない。
	□	コピーサービス業（従業員）	・経費削減が限界を迎えていることから、今後、景気が大きく回復することまでは見込めない。
	▲	金属製品製造業（従業員）	・今後については、住宅ローン金利の上昇が懸念されるため、景気はやや悪くなる。
	▲	通信業（営業担当）	・米国との関税交渉は合意に至ったものの、今後も予断を許さない状況は続くと思われる。また、国内政治の不透明感も強まっている。これらのことから、今後しばらくは企業活動が慎重になるとみられ、景気はやや悪くなる。
	▲	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・周囲で人手が余るような状況がみられ始めている。発注例が様子見をしており、案件が予定どおりに出てこなくなっていることから、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・下半期の見込みについて、予測数値は大きく変動していないものの、客先の仕事量が上向いてくるまで、半年以上掛かるような情報も聞こえてくる。そのため、市場の動きはまだしばらく停滞するとみられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	司法書士	・海外情勢などを背景とした物価の上昇により、収益が減少している。また、人口減少の影響で、社会保障費の負担も増加傾向にある。インボイス制度の導入も収益の減少につながっている。今後も負担は増えることが見込まれるため、景気が良くなるとは考えられない。
雇用 関連 (北海道)	◎	—	—
	○	—	—
	□	人材派遣会社（社員）	・求人数は増加傾向にあるものの、企業の採用基準が高いままであることから、内定者数が急増することは見込めない。今後も、企業が計画する増員目標に至らない状況が続くことになる。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	・例年にない暑さが、求職者の労働意欲に影響しているのか、求職者の動きが鈍くなっている。そのため、今後も景気は変わらないまま推移する。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	・猛暑の影響で、夏物衣料や飲料、ピヤガーデン、レジャー関連は好調であったものの、9月に予定されている首長選挙が消費に影響を与えることが懸念される。また、例年10月に行われることになる最低賃金の引上げについても、その引上げ幅によっては、雇用面に影響を及ぼすことが懸念される。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数は増加に転じたが、減少要因が継続していることから、求人数の増加は一時的なものである可能性が高い。景気が回復に転じたとまではいえない状況にあるため、今後も景気は変わらない。
	□	職業安定所（職員）	・当地の6月の新規求人数は前年比プラス12.2%となり、3か月ぶりの増加となった。一方、月間有効求人数は、27か月ぶりに前年を上回った。ただし、産業や業種によってその度合いは異なっている。今後の物価上昇の状況によっては、経済活動、消費行動が先を見通せない状態となることも懸念される。
	□	職業安定所（職員）	・米国との相互関税が合意に至ったことから、今後、米国への輸出が上向くことを期待している。ただし、影響が出てくるのはしばらく先になる。また、今後の動向によっては、合意内容が見直されることも懸念される。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・求人数がやや減少傾向にあるものの、今後も企業の人手不足は続くこととみられることから、全体としては横ばいで推移する。
	▲	求人情報誌製作会社（編集者）	・猛暑の影響が農作物や畜産物に生じ、物価高に拍車が掛かることが懸念される。また、政治の先行き不透明感が強まっていることもあって、景気は上向きにならないとみられる。
×	—	—	

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	設計事務所（経営者）	・客先の都合や資材高騰でずれ込んでいた業務が完了を迎える時期となる。
	○	百貨店（経営者）	・現時点では日米の関税問題も次の段階に入り、株価も上昇しているため、多少は消費の回復を期待したい。ただし、気温の高い状況がこのまま続くと、食料品の更なる価格上昇や秋のファッション分野への影響が懸念される。
	○	スーパー（店長）	・値上げで客単価が上がり、売上が伸びているのと並行して、買上点数も伸びている。
	○	コンビニ（経営者）	・商品の値上がりは依然続いているが、買上点数は落ちていない。暑い夏の影響もあり、飲料の売上が好調を維持している。今後もこの状況は変わらないとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・商品がテレビ番組で取り上げられたことに加え、好評だったキャンペーンの第2弾も予定している。天候次第だが、売上の増加を見込んでいる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・秋物が本番を迎える。単価が少し上がるため、売上の増加に期待している。
	○	乗用車販売店（従業員）	・今後は新規オーダーできる新車が増えるため、受注は少しずつ伸びるとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	乗用車販売店（従業員）	・納期が落ち着き売上が上がってくれば、スタッフの士気も上がり活気が出るとみている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・例年7月は台数的に余り伸びないが、今年は例年より多くなっている。この先も景気は良くなるとみている。
	○	住関連専門店（経営者）	・受注生産をしているが、2～3か月先の受注見通しが立っており、今月より良くなる。
	○	一般レストラン（経営者）	・今月が余りにも悪かったため、これより悪くなることはないとみている。しかし、来月と秋に選挙を控えているため、楽観はできない。
	○	都市型ホテル（支配人）	・国内旅行、インバウンド共に先行予約が好調である。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・秋のシーズンに向けて予約は好調に推移している。
	○	旅行代理店（従業員）	・当社契約宿泊施設のこの先3か月の先行販売額は、前年同期をやや上回っている。
	○	旅行代理店（従業員）	・先行予約状況に少し光が見えている。今年は年末年始の日並びが良いため、この先は少し良くなるとみている。
	○	通信会社（経営者）	・現在サービスエリアの拡大に向け準備を進めており、10月以降のエリア拡大後は、放送サービス、インターネットサービス共に新規加入者数の大幅な増加が見込まれる。
	○	通信会社（営業担当）	・政府の経済対策に期待している。
	○	観光名所（職員）	・団体旅行は減っているが、振り客では家族連れがかなり増えている。不景気といわれるなか、金を掛けるところには掛けているようで、子供に対する金の使い方に変化がみられる。
	○	観光名所（職員）	・夏祭り、お盆休み、紅葉と観光のオンシーズンになる。ただし、カムチャツカ半島付近の地震により出された津波警報・注意報が観光客の動向にどう影響するかは不明である。
	○	競艇場（職員）	・来場促進につながるイベントを開催する予定であり、来客数は増加するとみている。
	○	美容室（経営者）	・参議院選挙も終わり、米国の関税も15%で決まったことから、選挙公約の物価対策などが具体的に実行され、市場経済に反映されることが期待できる。
	○	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・これ以上の利上げがなく、活発な取引が維持できることを期待している。
	○	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器は、気温の上昇に伴いエアコン設置工事の問合せが増えるとみている。リフォームは、熱中症予防のための断熱工事の問合せが増えるとみている。
	□	商店街（代表者）	・気温が極端に高いため、夜の来客数が減少している。予約状況をもても、来客数が落ち込んだ状況は変わらないとみている。
	□	商店街（代表者）	・物価高により家計が圧迫されており、市民は不満を抱いている。大胆な政策を実施しない限り景気は小康状態が続く。
	□	商店街（代表者）	・物価高に慣れてきている。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・今後も異常な暑さが続けば、人々が街に出なくなり消費活動は鈍る。7月の悪い状態が続くとみている。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・大きな変化はないとみている。ただし、来客数が年々減少しているため、売上也悪くなっていくとみている。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・現状の良さが続くとは考えづらいが、猛暑が続けば飲料の販売量は当分横ばいで推移するとみている。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・今月は常連客の来店タイミングが合い店頭はにぎわったものの、生活防衛を重視している状況は変わっていない。
	□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・客の買い控えは続くとみている。
	□	一般小売店〔スポーツ用品〕（店員）	・例年秋は新作が発売され売上が見込めるが、物価高の影響を受ける可能性がある。
	□	百貨店（催事担当）	・商圈人口の減少や競合店との競争激化により、来客数の大幅な伸びは期待できない。
	□	百貨店（従業員）	・物価高が落ち着く要素は見当たらず、生活防衛意識も変わらないとみえており、状況に変化はない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・地方ではインバウンド消費増加への期待はまだ小さいが、米国との関税交渉が一段落して株価も上がり、政治の安定と政策執行への期待もある。他方で、厳しい暑さが続くなか、渇水による農作物の不作、森林火災や豪雨災害の増加などで生活環境に大きなマイナスの影響が出ることを懸念している。また、体調の維持管理が難しくなる人も増える。生活防衛のための消費行動が一層強まることを懸念している。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・この上ない暑さはまだ続くとみられ、気温上昇が消費を押し上げ続けるとみている。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・消費が上向き兆しが無い。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・食品購入における節約志向は当分続くとみている。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・可処分所得の増加が物価上昇に追い付かなければ変わらない。年金生活者が多い地域ほど景気の回復は期待できない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（商品担当）	・客単価が上昇しているため、来客数を維持できれば、売上は前年を上回る状況を維持できるとみている。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（業務担当）	・現時点で景気が大幅に良くなる要素は見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店舗運営）	・猛暑による来客数の増加などは一時的なものであり、更に良くなることはない。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・気温が高すぎて来客数の伸びが悪い。これから更に気温が上がれば、ますます伸びなくなる。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・数か月は現状のまま推移するとみている。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・人口減少や販売価格の上昇は今後も続くとみており、大きな変化は期待できない。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・外的環境に変化がない限り、秋以降は横ばいの見込みである。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・切り詰めた生活をしている人が多い状況が続いている。この先、この状況が当たり前になってしまうのであろうか。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・夏祭り関連商品の売上増加が期待できる。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・個人消費の停滞は今後も続くとみている。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・客の様子からも特段の変化はないとみている。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・猛暑対策として、クール素材の商品ニーズは高まっているが、必要な物を必要な数だけ購入する傾向は変わらない。物価高対策又は物価上昇並みの賃上げが広く浸透しない限り、変わらないとみている。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・し好品の商材への物価高の影響は続くとみている。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	・米国の関税措置等の影響が懸念される。不安感が広がり、景気の先行きが見通せない状況である。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・現在の受注状況と納期が劇的に変わらない限り、良くも悪くもならない。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型車の発売に期待しているが、大きく伸びることはなく、今と変わらないとみている。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店 [白衣・ユニフォーム]（経営者）	・制服市場は人口減少によりこれまでとは違う動きになる。また、簡素化が進んでよりカジュアルになり、専門店の必要性が低くなる。一方、ネットでの購入は増えていくとみられ、そちらにシフトせざるを得ない。客の奪い合いが続き、体力が消耗していくことになる。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店 [靴]（経営者）	・物価上昇が続いており、景気が良くなる要素は見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	・現行の補助事業の縮小や暫定税率の廃止といった販売価格の変動要素がある。それらの動きがなければ大きく変わることはない。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	・連日猛暑が続き、配達灯油の販売も例年と比べて減少している。残暑が続くことが予想されるため、回復は難しい。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・高級なイメージがついているのか、レストランは敬遠されている。しばらくは来客数が少ない状況が続くとみている。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（スタッフ）	・客は金を使うときには使うというメリハリのある使い方をしている。
	<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・売上以上に経費がかさむ状況が続くとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	観光型ホテル（スタッフ）	・物価高の状況や国際情勢を見ても、好転する要素はない。
	□	観光型旅館（経営者）	・好転する要因が見当たらないため、変わらないとみている。
	□	観光型旅館（スタッフ）	・紅葉シーズンと地域独自のプロモーションが効果を発揮し、一定の観光客、特に国内団体客が訪れることで旅館の稼働率は向上する。しかし、インフレによる家計の圧迫や魅力的なイベントの不足で、期待していたほどの集客は見込めず、現状維持かやや低迷するとみている。
	□	旅行代理店（従業員）	・秋の行楽シーズンの団体需要が伸びていない。
	□	通信会社（営業担当）	・景気が好転する材料に乏しい。
	□	通信会社（営業担当）	・地方では景気の底にいたるような状況が続いている。
	□	通信会社（営業担当）	・変わる理由がない。
	□	観光名所（職員）	・予約状況はおおよそ例年どおりである。
	□	遊園地（経営者）	・物価上昇や先行きの不透明感から、来客数が少ない状況は続くとみている。
	□	美容室（経営者）	・常連客のみで新規客が増えないため変わらない。
	□	住宅販売会社（経営者）	・民間の長期大型工事が始まり、戸建て住宅や事務所の賃貸需要、仲介リフォーム工事が増えている。数件のホテル進出も見込まれている。
	▲	商店街（代表者）	・商店街で外国人向けの一括免税カウンターを運営しているが、円高や米国の関税政策、7月に大地震が起こるとい噂などの影響で、来客数、販売数がいずれも激減している。
	▲	商店街（代表者）	・7月は各方面でイベントが開催され人出も多かったが、2～3か月後は落ち着く。
	▲	一般小売店〔茶〕（経営者）	・干ばつによる米の不作が予想される。農業が基幹産業の当地では痛手である。
	▲	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	・波及効果が期待できた文学賞がまさかの該当者なしになり、当面の間、活性化要素が見当たらない。
	▲	百貨店（企画担当）	・商圏内で大規模な商業施設のオープンが控えている。
	▲	コンビニ（経営者）	・ソフトドリンクやおにぎりの売行きが良くないと売上も上がらない。過ごしやすいつ時期になるとソフトドリンクなどの動きが悪くなるため、2～3か月後の景気は悪くなる可能性が高い。
	▲	コンビニ（経営者）	・最低賃金が上がれば完全にマイナス収支になる。売上が下がり続けるなかでどうしていけばよいのか分からない。売上を多少上げたところで経費の上昇にはとても及ばない。
	▲	コンビニ（経営者）	・猛暑が続けば人の動きは鈍くなり、来客数も減るため、景気はやや悪くなるとみている。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・年間で1番人が動く7～8月と比べると、来客数は減少するとみている。
	▲	コンビニ（店長）	・景気回復の要素がない。
	▲	家電量販店（従業員）	・気温が落ち着けば、寒くなるまで季節商材に大きな需要はなくなる。炊飯器やレンジなど調理家電が入替えの時期に差し掛かり、9月にはセールもあるが、全体的に需要が落ち着くためやや悪くなるとみている。
	▲	乗用車販売店（店長）	・サービス部門では客単価が前年の約9割と悪化している。物価高を嘆く客も日を追うごとに増えている。
	▲	住関連専門店（インテリアコーディネーター）	・物価上昇に加え、高温による米や野菜の不作などの懸念があり、明るい先行きが見通せない。
	▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・秋に近隣で都市型ショッピングセンターの出店が控えている。開業後、当面は食品を中心とした平日の客、週末の物販客の減少が懸念される。また、9月からレストランゾーンにおいて改装休業が生じるため、飲食業種としては前年比大幅減少の見込みである。米国の関税動向や物価高騰の状況によっては節約志向が高まることも懸念される。
	▲	高級レストラン（支配人）	・例年夏は来客数が減少傾向になるが、猛暑日や真夏日が続くなか、今年はその傾向がより顕著である。
	▲	一般レストラン（経営者）	・この先もかなり暑い日が続くことが予想されるため、客足は鈍るとみている。
	▲	タクシー運転手	・2～3か月後は涼しくなり過ごしやすくなるため、利用者は大幅に減るとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	テーマパーク（職員）	・夏休みが終わると集客が弱くなる。また、店舗改装の予定もある。
	▲	その他サービス〔寮管理〕（管理人）	・物価高や人手不足、人件費の増加が続くことに加え、猛暑により農産物等の収穫量の減少が予想されるため、景気はやや悪くなるとみている。
	▲	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・現在の成約件数は前年よりも高い推移となっているが、この先はやや低くなるとみている。
	×	スーパー（経営者）	・米の価格は高止まりしている。また、参議院選挙の結果を受け、政治が不安定化し、物価高対策もどうなるか分からない懸念がある。消費者の財布のひもは一層固くなるとみている。
	×	衣料品専門店（店長）	・インフレによる物価上昇で、消費マインドの低迷が続くとみている。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・令和7年産の米の収穫が終わり、価格や収穫量の数字が出てくる時期である。現状では期待できるような情報がないため、保険を掛けておく必要がある。
	×	一般レストラン（経営者）	・先行きの不透明感が増しているため、消費者が必要な物以外に金を使うことはない。景気が良くなる要因が見当たらないため、今後も悪くなるとみている。
企業 動向 関連 (東北)	◎	建設業（従業員）	・交渉が長引いていた案件の契約がようやくまとまるほか、民間の小口案件も一定数の出件が見込まれる。
	○	金属製品製造業（経営者）	・米国との関税問題が落ち着いてきたため、受注予測が若干持ち直しつつある。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連の景気が良くなることを期待している。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・米国との相互関税が25%から15%に引き下げられたことにより、停滞していた設備投資が多少上向きになるとみている。
	○	通信業（営業担当）	・人気端末の最新機種発売などで、一時的に顧客の購買意欲が向上することが見込まれる。
	○	金融業（広報担当）	・夏の観光シーズンを迎えることや中国への農水産物輸出が解禁になったことが、県内景気に好影響を与えるとみている。ただし、異常な高温により1次産品の質と量に何らかの影響が出ることを懸念している。
	○	経営コンサルタント	・日米の関税問題に一定のめどがつき、企業の方向性の不透明感が多少は改善されると期待している。
	○	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・秋の観光シーズンに入るため、交流人口の増加による外食及び土産需要の盛り上がり期待している。
	□	農林水産業（従業者）	・しばらく高温が続くことが予想され、果物の需要は高いまま変わらないとみている。
	□	食料品製造業（営業担当）	・新商品の発売や販売促進施策の実施により売上の回復を図っているが、2～3か月で成果を出すのは難しい。
	□	食料品製造業（製造担当）	・首都圏の店舗は値上げの影響もなく伸長し、飲食はインバウンド、観光客でにぎわっている。しかし、県内では平日のランチ客や購買客が取り込めていない。この先もさほど変わらないとみている。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・減税等の起爆剤がないと消費は上向かない。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・良くなる要因が見つからない。政府の内需拡大に向けた政策は功を奏しておらず、このままでは地方の企業はもたない。経済対策にもっと時間や金を使い、循環させる政策を打ち出して早く実行してほしい。
	□	電気機械器具製造業（総務担当）	・米国との関税問題にはようやくめどがつきそうだが、まだ流動的であるため、実際の動きにつながるのはいま少し先になるとみている。
	□	電気機械器具製造業（総務担当）	・9月までの見込みで今月と同等の受注量を確保している。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・直近では客先に動きが見られない。各社、小さい動きが出てくる見込みはあるものの、いまだ十分な受注量を確保できる見込みはない。
□	建設業（従業員）	・限られた人手でやり繰りしている。人手確保が課題である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	建設業（従業員）	・人手不足と価格高騰が続いているため、今後も変わらない。
	□	建設業（従業員）	・会社として対応できないため、これ以上良くなることはない。
	□	通信業（営業担当）	・厳しい値下げ要請に対しては、顧客に寄り添いながら粘り強く対応していく。
	□	通信業（営業担当）	・現状維持とみている。
	□	広告業協会（役員）	・物価の上昇が賃上げを上回っている状況では、消費意欲が高まることはないため、販売促進費を拡大する企業は少ない。広告業界の業績が伸長する気配は全くない。
	□	広告代理店（経営者）	・経済環境の不安定感から、従来のようなマーケティングコミュニケーション領域のニーズは先行きが見通せない状況である。
	□	司法書士	・相続や売買による登記手続の依頼は落ち着いているが、投資物件のアパート建築が順調である。
	□	公認会計士	・小売業、サービス業関係は現在の好調を維持する顧客が多いとみている。製造業、建設業については、人手不足、資材高騰の影響が続き、業績が改善する兆候もみられない。全体としてはやや悪い状況が続くとみている。
	□	その他企業〔企画業〕（経営者）	・当地域の経済は農業の動向に左右される。猛暑により野菜栽培に影響が出始めていることや新米の流通が米価格にどう影響するかなど懸念材料がある。
	□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・精密部品加工のパーツ加工では動きが活発なところもみられるが、全体的な動きは依然として鈍い。
	▲	農林水産業（従業者）	・日照りが続き、米の生育に悪影響が出るのが予想され、収穫量が減る見込みである。
	▲	輸送業（経営者）	・中国が日本産水産物の輸入一部再開を発表したが条件付であり、当社で取り扱う輸出食品は元に戻るような状況にない。また、日米関税の合意が物流業界に及ぼす今後の影響を懸念している。
	▲	コピーサービス業（従業員）	・景気対策等が安定せず、見通しが不透明で不安な状況である。
×	窯業・土石製品製造業（職員）	・公共事業、民間事業の受注量が減少しており、厳しい状況は続く。	
雇用 関連 (東北)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・日米の関税交渉や選挙が一段落し、現状、ネガティブな要素が見当たらないため、今後の景気は上向くとみている。
	○	人材派遣会社（社員）	・日米の関税交渉に一定のめどが立ち、様子見ムードから動きが出るとみている。特に自動車と半導体を中心とした製造業に期待している。
	□	人材派遣会社（社員）	・企業側の変化に時間が掛かることを考慮すると、マッチングの難易度が高い状況はしばらく続くとみている。
	□	人材派遣会社（社員）	・求人数が前年比80～90%の状況が6か月以上続いている。回復に結び付く要素はなく、横ばいが続くとみている。
	□	アウトソーシング企業（経営者）	・しばらくは現状と変わらないとみている。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・売上は堅調だが、物価高の影響もあり景気回復の実感はない。この状況は続くとみている。
	□	職業安定所（職員）	・求人数は増加傾向にあるものの、米国の関税政策や物価高などの影響から、先行きの不透明感が拭えない。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数、有効求人数共に前年より増加しているが、先行きについては米国の関税政策の影響を考慮する必要がある。
	□	職業安定所（職員）	・事業所からは、米国との関税問題や国際情勢で先行きが不透明、天候不順で先が読めないといった話も聞かすが、6月に受理を開始した高卒求人数は前年を少し上回っている状況である。この先も求人、求職の動きに大きな変化はないとみている。
□	学校〔専門学校〕	・求人数やその内容から、大きな動きはないとみている。	
▲	*	*	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	*	*

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	旅行代理店（経営者）	・単価が上がっている上に、稼働率も上がるため、良くなる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・今月より先をみても、まだ来客数が増えるかと予想する。値上げの影響が1番大きい、まだ良くなるかとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・各種値上げによる買上点数の微減はあるものの、県内の管轄店の来客数は前年比105%ほどで推移しており、好調といえる。
	○	コンビニ（店長）	・暑すぎる日が続いているため、高齢者の多い当地域では、来客数が減少している。暑さが落ち着けば、元に戻るとみている。
	○	自動車備品販売店（経営者）	・株価等も上がっており、車に乗ったり、旅行に行ったりと、身の回りの人の動きが活発化している。ガソリンの税金が安くなれば、動きが更に活発になり、景気は確実に良くなる。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・先の団体予約が少しずつ入ってきている。
	○	一般レストラン（経営者）	・夏休みやお盆期間は毎年繁忙期なので、この時期に上がらなかったら、日本の経済は相当良くないということになる。
	○	都市型ホテル（経営者）	・半年前頃から、客単価の低価格競争は一段落している。薄利多売の消耗戦は業界を駄目にするので、現状が健全な状態である。ただし、当エリアはインバウンドの恩恵は皆無である。
	○	都市型ホテル（支配人）	・宿泊部門は7月後半からインバウンド需要が戻ってきている。料飲部門も夏から秋にかけて前年比110%以上の獲得ができています。
	○	旅行代理店（従業員）	・全国で農家に対する農業団体の概算金の増額発表もあり、高値を維持しているため、先行きはやや良くなる。
	○	タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くなってきたので、この先も良くなる。
	○	美容室（経営者）	・来月は当市のプレミアム付商品券での支払が、売上の足しになるかと期待している。
	□	商店街（代表者）	・米国の関税政策や国際情勢等の影響も気になるが、物価上昇、電気料金の負担増等、不安材料が多すぎて節約志向が優先され、買い控えが続くとみている。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・夏の暑さが終わり、物価上昇も収まってくれば、皆、少し安心して外出もできるのではないかと。とにかく、今の暑さが響いている。先の景気は暑さ次第である。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・夏休みに入り、国内旅行客の出足は堅調である。コロナ禍以降の外出控えも一段落し、今年は何世代も一緒に旅行を楽しむ家族連れが増えている。夏以降もこのマインドは持続されると期待している事業者は多い。
	□	百貨店（営業担当）	・秋～冬物や各種イベントに向けた購入、流行品や話題の商材の購入は、引き続き堅調に推移していくものと予想する。しかし、それ以上のプラスになる購買動向は余り期待できず、楽観視はできない。
	□	百貨店（店長）	・当面、現状同様で推移すると考える。
	□	百貨店（店長）	・物価高や政局等を含め不安定な要素が多く、方向感が定まらない。若干の上下はあるかもしれないが、明確な方向感が出るまでには至らない。
	□	スーパー（総務担当）	・9月になれば新米が出始めるが、価格はそれほど下がらないとみている。物価高が収まる兆しもないなかで、景気が良くなるとは考えられない。
	□	乗用車販売店（営業担当）	・物価高が賃金上昇分を上回っている間は変わらない。
□	住関連専門店（仕入担当）	・物価高、特に、食料品価格の高騰によるエンゲル係数の上昇が続き、食品以外の購買に影響を与え続けるとみている。	
□	一般レストラン（経営者）	・いまだ先行きは不透明で、政治的な動きもありそうである。涼しくなって外食する機会が増えることを期待する。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・主力の給食部門では、今秋の新米の動向を始めとして、食材の確保と価格動向に不安が残る。何よりも、人材確保の厳しい状況が続くとみている。現在、来年度からの新規受託案件の交渉が始まったが、人員が大きなネックとなっている。
	□	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊、レストラン等の料飲部門に関しては、前年比104～108%と堅調に推移している。宴会利用の件数が落ち込んでおり、法人、個人ともに宴会利用の減少を実感している。ホテル全体としてみると、前年実績はクリアしているものの、予算には届くか届かないかという状況で、物価高騰、人件費増加、猛暑による消費電力量増加といったコスト面をカバーできるかは微妙な状況である。
	□	旅行代理店（所長）	・夏休みから秋の行楽シーズンへの移行期となるが、最近の猛暑や台風等の天候要因が懸念される。全般的に、日本人の旅行の動きは今一つ伸び悩んでいる。
	□	旅行代理店（営業担当）	・大阪・関西万博終了までは、現状のままとみている。
	□	タクシー運転手	・利用する客は大体決まっているため、減ることはあっても増えるようなことはない。
	□	通信会社（社員）	・業況が良くなる業界や企業と、悪くなる業界や企業の差が激しくなると考える。近い将来では変わらないとみているが、将来への不安は消えない。
	□	通信会社（営業担当）	・インバウンド需要や株価等は好調だが、国内需要は節約志向にあるため、景気が良くなる兆しは余りない。
	□	通信会社（総務担当）	・現在の販売傾向がいつ変わるのか予測がつかないため、悪くなる不安もある。
	□	通信会社（局長）	・参議院選挙も終わったが、今後の政局は不透明で物価高騰対策がどうなるかも分からない。また、これから政策が通ったとしても、実施までは時間が掛かる。
	□	ゴルフ場（従業員）	・今年も残暑が長引く予報が出ているので、厳しい状況は変わらない。
	□	設計事務所（所長）	・参議院選挙の結果により政治が不安定となり、景気対策が遅れるのではないかと。
	□	住宅販売会社（経営者）	・やや悪い状態が続くことが予想される。変化があるとなれば、米国の関税政策の影響で一段と景気が悪くなり、販売量が停滞することが考えられる。
	□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・トータルでのコストダウンや各資材等の値下がり期待できず、今後2～3か月後も同様の状況が続くとみている。
	▲	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・贈答品の需要が終わり、祭りも終わる頃であるため、やや悪くなる。
	▲	百貨店（営業担当）	・依然として、物価は高く消費マインドを低下させている。一部富裕層に動きが見られる一方、中間層の生活防衛意識は高く、消費拡大には至らない。
	▲	衣料品専門店（販売担当）	・とにかく、収入が得られるような環境ができあがってこないことには物価高に追い付かない。可処分所得が少ないと消費には回らない。物価高を抑える部分と所得が上がる工夫がうまくマッチしていかないと、このままずるずると悪くなっていく。
	▲	家電量販店（営業担当）	・配送関連商材が悪化する可能性を懸念している。特に、冷蔵庫、洗濯機、映像関連の悪化を予測している。配送業者確保も急務である。
	▲	乗用車販売店（経営者）	・物価高や米国の関税政策の影響で、先が読めない。当地域でも、設備投資を行おうと考えていた大企業の1次、2次の下請け企業で計画の延期、中止、見直しをしたり、人手不足で悩んでいる企業がある。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・受注とともに受注残が減少傾向である。今後の状況次第で、受注残が減るため、非常に厳しくなる。
	▲	テーマパーク（職員）	・猛暑が落ち着いたとしても、景気が不安定な状態で、レジャー費は劣後となるため、来園者が増加するとは考えにくい。
	▲	ゴルフ練習場（経営者）	・今まで以上に生活必需品値上げの可能性はある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般小売店〔家電〕 (経営者)	・地方の景気は良くなっていない。確かに、売上自体はあるものの、客が限られてきている。一部の客しか買っていない。
	×	スーパー(商品部担当)	・競合店のオープン、物価高、異常気象による農作物への影響、人口減少等、負の要素が大きく、売上や景気上昇の気配はない。
	×	家電量販店(店員)	・直近の5～7月の合計で前年比95%と景気は下降している。6月は前年実績をクリアしたものの、季節要因が強く影響している。耐久消費財の動きが悪い傾向にある。
	×	乗用車販売店(経営者)	・米国の関税政策に不透明感がある。
	×	通信会社(経営者)	・現在は、政府による省エネ補助金等の影響で、若干売上があるものの、来年以降に売れる見込みの物が補助金によって前倒しで売れているにすぎない。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	化学工業(管理担当)	・新製品の製造販売が始まり、受注が上向き傾向である。
	○	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・6月から暑さが続いているが、この先は暑さに慣れて少しは落ち着いてくるのではないかと。
	□	食料品製造業(経営者)	・給料の手取りが予想ほど増えない上に、物価の高止まり傾向は継続する。そうしたなか、生活防衛のために、消費者の節約志向は今後も非常に強い状態で推移することが予想される。
	□	一般機械器具製造業 (経営者)	・秋口の回復見込み予想があったものの、現状では更に先に延びるような話が出ている。
	□	一般機械器具製造業 (経営者)	・政治、社会情勢、米国の関税政策等、我々個人の力ではどうにもならない状況が今後も続いていくようなので、諦めムードである。
	□	電気機械器具製造業 (経営者)	・3か月先も中国経済は変わらないとみている。
	□	輸送用機械器具製造業 (経営者)	・ほとんどの取引先で受注量の動きや受注単価、販売の動きが少し滞っており、これから先は、やや良くなるか変わらないかのどちらかだと考える。
	□	その他製造業〔消防用品〕 (営業担当)	・物価高の状況等も、いまだ続いている。
	□	建設業(総務担当)	・ここにきて、仕事量は確保でき、先行きは期待はできない状況ではあるものの、現状と変わらない程度の仕事量はありそうな雰囲気である。
	□	金融業(営業担当)	・中小企業では、米国の関税政策の影響が今後出てくると予想される。
	□	経営コンサルタント	・いまだ、米国の政策の先行きは定まらず、地域や下請け企業の生産活動は安定しない。ただし、個人消費については行楽シーズンに入るため、上向くと期待する。
	□	司法書士	・変わらずに推移していくとみている。良くなる理由も悪くなる理由も見当たらない。
	□	社会保険労務士	・物価が上がっているため仕方ないかもしれないが、秋に日本銀行が利上げをしたら、悪い影響が出る企業もある。
	▲	窯業・土石製品製造業 (総務担当)	・季節要因もあるが、原材料の値上げが懸念される。
	▲	金属製品製造業(経営者)	・同業他社では受注が減っていると聞いている。
	▲	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・8月からの減産が決まっており、厳しい状況になる。先行きが不安である。
	▲	輸送業(営業担当)	・暑い日がしばらくは続きそうで、お盆までは夏物家電、エアコン、スポットクーラー、冷風機、サーキュレーター、冷蔵庫等の物量は前年並みを確保しそうである。お盆過ぎは、物価高による買い控えやドライバー不足のコスト高により、全体的には10%くらいの物量は落ち込みそうである。
	×	不動産業(管理担当)	・既存取引先から、利益率の高いスポットのメンテナンスが期待したほど受注できていない。利益が伸び悩むことが予想される。
	雇用	◎	—

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
関連 (北関東)	○	人材派遣会社（経営者）	・関税などの外交的な成果は期待するが、消費者目線からすると、野菜等の食材関係が落ち着くことが優先である。現に、古米、古古米で米の流通は落ち着いてきているため、飲食店関係の事業は伸びていくとみている。温暖化の影響で、若干、価格の変動はあるだろうが、消費者の購買力はかなり伸びていくと考えている。供給が安定した生鮮食料品にも期待している。製造に関しては、米国の関税問題が落ち着けば上向く。
	○	学校〔専門学校〕（副校長）	・求人数は増え続けており、人手不足による悪影響も考えられるが、賃上げや福利厚生などの雇用条件が良くなっているため、今後の景気は良くなる。
	□	人材派遣会社（社員）	・参議院選挙結果、米国の関税政策等で変化が大きく、どのようになるかは不確実性が高い。
	□	人材派遣会社（管理担当）	・自動車部品製造の取引先の生産計画が変わらない。製造派遣を受け入れているクライアントの増産がほとんどない。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数の前年同月比の動向は、建設業、製造業については増減を繰り返している。医療、福祉分野は増加傾向で推移している。
	▲	—	—
×	*	*	

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)	◎	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・リニューアルによりテナントからの家賃収入が発生する。
	◎	コンビニ（エリア担当）	・35度に近い、又はそれを超える気温が続く予報で、コンビニの来店動機となる飲料の販売数が伸長し、来客数も増加する。
	◎	衣料品専門店（経営者）	・ECサイトを始める。海外への販売も視野に入れていく。
	◎	その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・コストによほどの変動がない限り、今期末までは同様の状況が続く（東京都）。
	○	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・夏の仕事が一段落したら、補助金関係の仕事を中心にしていきたいと考えている。ただし、補助金関係の仕事は時間が掛かるため、他の仕事も取り混ぜていく。
	○	一般小売店〔文房具〕（経営者）	・3月以降、前年の売上に対して毎月2けたの増加が続いている。レジ通過客数も4月からほぼ横ばいであり、気温や天候に左右されることなく、順調に伸びている。今後もインバウンドを中心に来客数の増加が見込めるため、売上は順調に伸びるとみている（東京都）。
	○	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・涼しくなり日ざしが弱まるとカラーレンズが売れなくなるため、通常レンズだけになりやや売上が落ちる時期でもある。何とかこのまま良い調子で売ってほしい。
	○	一般小売店〔傘〕（店長）	・猛暑、酷暑対策に日傘を使うことが効果的であると取り上げられており、男性や若年層の需要が続くようである。
	○	一般小売店〔生花〕（店員）	・9月はお彼岸があり、花の需要がかなり多い月なので、今よりは売れる。ただし、暑さが続くため、やや良い程度である（東京都）。
	○	一般小売店〔書店〕（総務担当）	・当社の主要顧客は大学や専門学校などの教育機関である。例年、9月は前半まで夏休み時期で売上が少なく、本格的に授業が始まる10月は売上が増加する傾向にある。ドル円相場は緩やかな円高基調で推移する見通しのため、為替の影響がある輸入学術資料についても多少は利益確保を期待できるのではないかと（東京都）。
	○	百貨店（販売促進担当）	・ハイブランド、ジュエリー他高額品、外商の売上が伸びる。円安が続いており、秋も観光シーズンと重なるため訪日外国人観光客は高水準を維持する。高級ラグジュアリーブランドが好調であり、期待している（東京都）。
	○	百貨店（企画宣伝担当）	・株価が上昇傾向にあることから、富裕層の消費意欲向上につながることを期待する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	家電量販店（店長）	・米国との関税交渉が一旦妥結し、最悪のシナリオではなく、影響を最小限に抑えられる税率で合意できたことがプラスに働くともみている。また、参議院選挙の結果で民意が示されたことで、今後は国民の方を向いた経済政策が実現すれば、景気が上向くと期待を持てる。
	○	乗用車販売店（経営者）	・毎年9月から販売台数が増加する傾向がある（東京都）。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・参議院選挙結果への期待から、やや良くなる（東京都）。
	○	一般レストラン（経営者）	・景気は、今よりはやや良くなる。暑さも少し和らぎ、9月、10月になるとケータリングも伸びてくるため、7～8月の暑い時期より10～15%くらい増加する。
	○	一般レストラン（経営者）	・物価上昇は基本的に続くので、それを逸脱しなければ、徐々に景気は上向いていく（東京都）。
	○	都市型ホテル（経営者）	・9月以降は近隣の大型コンベンション施設での展示会、ライブ等がまた戻ってきて、宿泊稼働が高くなることが予想される。また、宴会についても秋の宴会シーズンに入るため、増えることを期待している。ただし、猛暑の影響が非常に大きく、水道光熱費等が上昇しており、収支を圧迫するかと危惧している。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・スポーツ団体や修学旅行等の大型団体予約を取れていることで、ある程度売上を見込める。
	○	タクシー運転手	・まだ暑い日が続いていることで、タクシーの利用も増えている。1日を通して平均して利用が良いため、今まで以上に仕事が増える。
	○	通信会社（社員）	・ラジオ放送に興味を示す発言や若者の興味を引いていると聞く。それに合わせた番組作りも増えていきそうな気配がある（東京都）。
	○	通信会社（管理担当）	・下半期にて受注も増えるため、良くなる方向にいく（東京都）。
	○	通信会社（営業担当）	・米国の関税政策の影響が良い方に働くことを期待している（東京都）。
	○	通信会社（営業担当）	・構造改革及び注力エリアを選定することで、マーケット活用が更に進んでいく（東京都）。
	○	観光名所（職員）	・米国との関税交渉も一定の区切りを迎え、税率は高くなるものの、決まったことへの安心感の方が大きい。現在は暑さが非常に厳しいが、秋を迎える頃には過ごしやすくなり、外出機会も増え、世界陸上やデフリンピックなど都内でのイベント効果にも期待している（東京都）。
	○	ゴルフ場（経営者）	・3か月先は秋に入り、気温も落ち着いていることが予想されるため、来場者数の増加に期待したい。ただし、先の参議院選挙での与党大敗による政治不安から消費は厳しくなるとみている。米国との関税交渉の妥結により、関連する企業への影響は抑えられる可能性があることから、その波に国全体で乗れば、年末に向けて景気は若干回復する。
	○	その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	・問合せ状況や学生の動きから、やや良くなる（東京都）。
	○	その他レジャー施設 [ボウリング場]（営業担当）	・ここ最近の来客数減少については、酷暑の影響による外出控えや気力低下などが原因の1つとみられる。秋口以降暑さが和らげば、少しずつ回復してくるものとみている（東京都）。
	○	その他レジャー施設 [映画]（営業担当）	・参議院選挙の結果を受けて株価が大きく下落しなかったため、やや良くなる（東京都）。
	○	その他サービス [葬祭業]（経営者）	・7～9月は繁忙期であるが、現状のペースでいくと繁忙期がずれ込む可能性がある。
	○	住宅販売会社（経営者）	・都内ホテルの宿泊料金が上昇しつつあり、ホテル部門は良くなる。一方、建設業は、建設費の高騰により我々中小企業はまだ厳しい環境のなかにあり、なかなか賃上げができない。中小企業の景気対策及び建設費高騰への対策を是非お願いしたい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	住宅販売会社（従業員）	・単純に今月の景気が悪いので、これ以上悪くはならないだろうとの判断である。子育てグリーン住宅支援事業のGX志向型住宅分の補助金は予算上限額に達してしまっただが、これからZEHや長期優良住宅の補助金獲得に動く客の動きが少しはあると考えている。ただし、諦めて来年度の補助金が発表されるまで様子見という客も増えるとみている。
	○	住宅販売会社（従業員）	・問合せ件数から、徐々に景気が上向いていくとみている。
	○	住宅販売会社（総務担当）	・やや良くなるとみているが、良くなる又は悪くなる業界や個人が分かれ、差が拡大している。
	□	商店街（代表者）	・何といってもこの暑さの影響が最も大きい。もう1つは、米国の関税政策の影響が徐々に出てくることである。賃金が上がってもそれ以上に物価が上がっていく状況から、今のところ景気は余り思わしい方向には向かっていない。今後は慎重にならざるを得ないため、様子を見ながら商売をやっているかなければならない。
	□	商店街（代表者）	・今夏の災害級の暑さがどこまでひどくなるかによって、この先の状況が大きく変わってくる。猛烈な暑さが続くようであれば、間違いなく消費は冷え込む。8月まで猛烈に暑く、9月以降猛暑が多少落ち着いてくれば、反動による消費は望める。肌感覚としては消費意欲が低いわけではないが、暑過ぎるため、確実にいろいろな影響を及ぼしている（東京都）。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・今後の予定として多少話はもらっているものの、それが本当に実るかどうかは分からない。底辺でずっと停滞しているような感じで、何ともいえない。客自体も高齢化が進んでいるため、仕事の話が途中で止まってしまうこともよくある（東京都）。
	□	一般小売店〔家具〕（経営者）	・米国の関税政策の影響もあり、景気はやや悪くなる可能性もあるが、これから先も大体今と変わらない状況が続く（東京都）。
	□	一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・以前と比べて動きが悪い。また、需要と供給がかみ合っていない。
	□	一般小売店〔米穀〕（経営者）	・物価高や気候変動により購買力がやや衰える反面、富裕層の購買力は変わらずに冬場を迎える（東京都）。
	□	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・季節によって売れたりするような商材ではないため、現状維持ができればよい。それくらいの見込みで、先行きに期待はできない状況で、何とか会社が潰れないようにと頑張っている（東京都）。
	□	百貨店（売場主任）	・物価高に対して有効な景気対策がないままでは、消費マインドが上がる見込みはない。前年度に大きく伸ばしたインバウンドの減少分を国内消費だけで補うことは難しい（東京都）。
	□	百貨店（総務担当）	・物価上昇のなかで消費に対する慎重な姿勢は継続することが予想される。
	□	百貨店（総務担当）	・消費税減税などの特別な景気刺激策がなく、現状の動向が続くようであれば、先行きは不透明ながら下降線となりそうである（東京都）。
	□	百貨店（総務担当）	・日米関税交渉も終結の方向となり、株価が上昇基調になったことは好材料ではあるものの、参議院選挙の結果を踏まえた政権運営や経済対策等の不透明さに対する懸念がある（東京都）。
	□	百貨店（広報担当）	・インバウンドの動向は不透明で、前年比較だけでは測れない部分が多い。都市部の百貨店における国内客の動向については、プラスにもマイナスにも振れる確実な材料がない。当社が戦略的に囲いこみを進めているロイヤリティが高い識別顧客を中心に、堅調な状況が短期間で変化するとは考えにくい（東京都）。
	□	百貨店（営業担当）	・可処分所得増加の期待によるところが大きいですが、今月の猛暑などをみると、今後の電気代や農作物の値上げによる影響などが心配である。また、政治の行方も不透明である（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・夏が長期化し、秋冬ニーズがまだ弱い可能性があり、来店動機になりにくい。食品や飲食については、秋の野菜や新商品、新規テナント入替えの時期でもあり、手に取りやすく、売上が伸びる季節のため、ファッションと合わせると、余り変わらない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・インバウンドの購入額減少傾向は、この先も一定期間続くものとみている（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	・物価上昇の状況は変わらない上、8月以降も猛暑による外出自粛の影響が続き、大きくは変わらない。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	・7月現在、郊外百貨店としては猛暑による来客数減少が全館的に痛手となっている。2か月後の9月は夏の長期化と秋物商戦の省略傾向を勘案すると、現状と変わらない商況が予想される（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	・直近の傾向や競合他社の動きからみて、変わらない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・前年は比較的良かったが、競合店ができてから大分数字が落ち、そのままの状態が続いている。競合店の影響を加味すると前年と同じくらいなので、変わらない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・可処分所得が増えないことには景気は良くならない。商材は値上がりし、買上点数が減る。今までと同じ傾向である。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・米国の関税政策や国内の政局の行方が不透明である（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・客の価格志向は今まで以上に強くなっている。価格を切り口とした販売促進により好調な売上を維持している。天候の影響により米の不作が噂されているなかで、備蓄米の販売が終了するであろう8月末以降は米の販売動向が不明である。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・消費者には節約志向が依然として根付いており、毎月のように値上げが続くなか、食費に関わる出費は増える一方である。物価と所得のバランスが取れてくるまでは、同様の状態がしばらく続く（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	・値上がりが収まる様子がない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（営業担当）	・単価の上昇、来客数の減少傾向はまだ続く。販売量の増減が今後の売上を左右する要因となる（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（食品担当）	・米国の関税政策次第である（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・何ともいえないが、夏場に来客数が伸びないということでは、この先も同じような結果になる。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・物価も高いままであり、消費税減税等の対策がないと景気は上向かない。ただし、それほど下がる要因もないようなので、当面変化はない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・高温傾向が続いているため、売上規模の大きな飲料売上の伸びが期待できる（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・夏休みに入り、人の動きが活発になり、購買も増えているが、通常期は目に見えて景気が回復するとは考えにくいいため、変わらない。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・変わる要素が見当たらない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品開発担当）	・この暑さが続くと、外出自体を控える可能性があり、食欲も減退するため、好転することはなかなか難しい（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（従業員）	・現状、そこまで悪い景気ではないと考えており、3か月先に良くも悪くもなるような要素はなさそうである。毎週新商品を出して、客を飽きさせないような仕掛けをしている。今月より更に良くなるために、消費者の懐がもう少し温かくなるような施策に期待している。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・一般消費者は、物価上昇により生活必需品以外は買い控えている。VIP客については、購買意欲は変わらず、展示会等で高単価な物を購入する傾向にある。株価は上昇基調ではあるものの、この流れは当面変わらない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（役員）	・食料品、光熱費等の値上がりの影響はまだ続く。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・毎月の値上がりが続いている。この状況はまだ続く。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・海外の夏休みは8月で終了し、訪日旅行者数が一旦落ち着くと予想する（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売は余り芳しくない。客の来場は結構あるものの、なかなか成約に結び付かない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・乗客数は少ないが成約率は良いため、前年並みで推移する。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・夏季休暇を迎えて低迷しそうだが、決算を迎えるため、上昇するとみている。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・景気対策が打ち出されない中では、買い控えや値引き交渉に力を入れるなどで自己防衛をするしかない。そうした状況では景気は良くならない。まして、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルのガザ攻撃の影響で、原油価格が相当上がってくるという危機感もある。景気は全く変わらないが、もしかしたらまだ悪くなる可能性もある（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（総務担当）	・米国の関税政策の影響で法人、個人を問わず販売が鈍化すると予想している。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（渉外担当）	・販売環境に変化はない見込みである。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・所得の増加や金利の引下げがないと、新車販売は厳しい（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業）	・今後も限定的な販売が続くことと、米国の関税政策の影響で下取り価格が下がることが心配される。
	<input type="checkbox"/>	住関連専門店（営業担当）	・先進的窓リノベ事業を始めとした補助金事業への消費者の認知が進んでおり、リフォーム需要の喚起につながっている。予算消化までまだ余裕があるとみられ、今しばらくは堅調を維持するものとみている（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	住関連専門店（店員）	・何の対策も打たれていない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔貴金属〕（統括）	・今のところインバウンド、国内客の購買動向に大きな変化はみられないため、景気は余り変わらない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・物価上昇や暑さによる買い控えは秋まで続く（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	高級レストラン（営業担当）	・数か月先の法人関連の宴席予約は例年並みで推移している。直近、夏場の落ち込みをどの程度食い止めることができるかがポイントである。猛暑の影響が気になる（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	高級レストラン（役員）	・引き続き物価高傾向により利益改善には結び付かず、厳しい状況が続く（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経理担当）	・悪くなる要因は米国の関税政策の影響による法人客の消費控えとみられるが、円安ボーナスの範囲内で吸収するものと考えている（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・物価高だが、それなりの消費はあるとみている。また、米国の関税政策等が対米輸出にどう影響してくるか、政治がどうなるか分からない。それによって、大分変わってくる。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・来月も暑さで昼間の客足は余り伸びないとみている。夏休み時期に当店も1週間休業するため、その前後はかなり動きがあるとみているが、8月は余り良い実績は残せないという予想である（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・政治的な問題や気候変動、その他経済状況がどうなるか、今のところ不透明である（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	その他飲食〔カフェ〕（経営者）	・インバウンドの状況は変わらないが、30代、40代の経営者が増え、街の風景がやや変わってきている（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・米国との関係が安定しないことにより、まだ企業の動向が不透明である（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（スタッフ）	・変わらないというより分からない。政治がかなり不安定になったため、今後どうなるか、先行きが不透明である。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・猛暑の影響もあり、今後大きく販売量が伸長する見込みがない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・沖縄に新規オープンしたテーマパークに関する問合せが増えてきており、徐々に予約も入っている。下期の起爆剤になってほしい（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・参議院選挙が終わっても大きく政権が変わろうとしない。また、米国との関税交渉がなかなかまとまらなかった（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・インターネット検索が主流になっているため、自分で検索できる客はパンフレットと店舗での料金を比較して申込みをしている（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	タクシー運転手	・猛暑は毎年のことであり、営業回数は増えているものの、売上としてはそれほど増えていない。2～3か月後は猛暑も落ち着くが、外国人客が増えていることと、スマホアプリによる呼び出しが非常に伸びているため、売上を維持できるとみている（東京都）。
	□	タクシー（団体役員）	・良くなる要素が見受けられない。
	□	通信会社（経営者）	・この先、極端に機器の受注等が増加傾向になる良い材料がないため、2～3か月先の景気も変わらない（東京都）。
	□	通信会社（社員）	・上向きの兆しはないが、焦燥感もない。政権交代に起爆剤的な要素はなく、変化の期待値は低い（東京都）。
	□	通信会社（営業担当）	・物価の高止まりが続いており、景気動向が大きく好転する状況にはない。
	□	通信会社（局長）	・世間では米国の関税政策の影響による動向が顕著だが、当社のような国内B to Cを主として展開している企業では、大きな影響はほとんどないとみている（東京都）。
	□	通信会社（営業担当）	・良くなる材料がない。
	□	通信会社（経営企画担当）	・今後2～3か月先までの兆しがみえていない。8月は夏季休暇もあり厳しくなる予想である（東京都）。
	□	通信会社（営業担当）	・日常にかかると食費等が増加しているなかで、収入源である給与が上がらない限り、景気は変わらない（東京都）。
	□	通信会社（経理担当）	・新しい稼ぎ口が増えることはなく、物価が上がっているだけで、特に景気が変わる材料が見当たらない。
	□	通信会社（管理担当）	・5月から新規エリアに新サービスの提供が可能となったが、想定よりも加入が伸びていない（東京都）。
	□	通信会社（経営企画担当）	・映像視聴及び通信需要は短期的な経済状況に左右されていない（東京都）。
	□	観光名所（職員）	・暑さの影響もあり、外出控えが発生する（東京都）。
	□	パチンコ店（経営者）	・引き続き実質賃金が低下するなか、結果として遊興費に使う額が減少している。現状がすぐに変わることはない。
	□	競輪場（職員）	・特段環境の変化がみられない。
	□	その他レジャー施設 [ボウリング場]（従業員）	・変化を感じる要素が見当たらない（東京都）。
	□	その他レジャー施設 [総合]（経営企画担当）	・秋以降はインバウンドが回復するとみられるが、賃上げを上回る物価上昇や、金利上昇による住宅ローン負担の増加もあり、景気が良くなる材料は乏しい（東京都）。
	□	その他サービス [学習塾]（経営者）	・季節講習の受講率が振るわない。
	□	その他サービス [フィットネスクラブ]（エリア統括）	・参議院選挙での与党の大敗、米国の関税政策の影響、物価上昇、賃上げの遅れとプラス要因が少なく、先行きが不透明である（東京都）。
	□	設計事務所（経営者）	・当事務所では、社員数が多いため、学校や役所側からの指名を多くもらっている。そのため、仕事がさほど少なくなることはなく、むしろ、こなせるか分からないほど多くなっている。手間が掛かるものの人手が足りないため、募集を掛けている。
	□	設計事務所（経営者）	・大きく変わる要素がない。
	□	住宅販売会社（従業員）	・情報量に変化がない。
	▲	一般小売店 [家電] （経理担当）	・年間で最も売上が伸びる7月に売れていない。また、来客数が減っているため、先行きは不透明である。
	▲	一般小売店 [印章] （経営者）	・卸問屋からも業界自体の売上はほぼ横ばいと聞いている。我々のような独立店舗は非常に厳しいが、その分、インターネット販売等がプラスの売上を上げている。印章業界はやや厳しい。
	▲	一般小売店 [酒類] （経営者）	・主要商材の日本酒の原材料である酒米の値上げから、今秋より値上げが発生し、厳しい状況となることが予測される。
	▲	一般小売店 [乳業] （経営者）	・様々な物やサービスの価格が改定されるなかで、客の選択肢に残れるか分からない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	一般小売店〔文具〕 (販売企画担当)	・特に、店頭における一般消費者の財布のひもが相当固くなっている。今までより購入点数が少なくなっており、それだけ財布に余裕がない様子が見受けられる。来客数は何とか例年並みにあるものの、客単価がどんどん下がっている。今後も余り伸びる要素はない。また、官公庁の仕事も競争が激しくなっているため、この先は難しくなる。
	▲	一般小売店〔茶〕(営業担当)	・連日の猛暑により客足が減ってしまう。
	▲	百貨店(総務担当)	・米国との関税交渉も結論が出て、先行きが少しみえるようになったが、あくまで最悪の事態が回避されただけであり、物価上昇については高止まりが続くと推測している。今年は特に暑く、農作物への影響が心配され、供給量減少により価格が下がる見通しは立てにくい。前年はインバウンドもあり伸び続けていたため、その反動が当面の間は続く(東京都)。
	▲	百貨店(営業担当)	・ラグジュアリーなどの免税売上の回復は期待できない。加えて、物価高の継続等で国内客の消費意欲も大きな回復は困難である(東京都)。
	▲	百貨店(財務担当)	・米国との相互関税問題等もあり、物価や為替の不透明感が増すなか、国内客の消費やインバウンドにおいて、更なる悪化リスクが想定される(東京都)。
	▲	百貨店(管理担当)	・この先も暑さが長引くとみられるため、前年と同様、秋物が売れない可能性がある(東京都)。
	▲	百貨店(店長)	・10月以降も高温が予測されているため、今年も衣食住の季節商材の動きが鈍くなる。
	▲	スーパー(経営者)	・実態の消費支出は減少傾向である。今回の米騒動での備蓄米5キロ2000円が示すように、消費者、小売業共にいまだデフレ期に作られた価格感に引きずられている。
	▲	スーパー(仕入担当)	・1世帯当たりの消費支出額は自然と増加しており、節約志向が高まっていく。
	▲	スーパー(ネット宅配担当)	・先行きの不安感から、更に節約志向が高まる。
	▲	コンビニ(経営者)	・若い人が少なく高齢者が多い地域である。最近、今まで来ていた客が来なくなったり、夫婦で来ていた客が1人だけになったりしている。また、この暑さで午後は全く暇になっている。熱中症警戒アラートが出たりしている影響かもしれない。
	▲	コンビニ(経営者)	・コンビニでも、この物価高で1年前と比べて半分強の商材が値上がりしている。通常であれば、売上ベースで前年を超えてはいけませんが、現在はちょうど前年比100%である。物価上昇率を考えると実際には売上が減少しているということである。来客数も前年比2%減少で、少しずつ下降している。やはり、物価の上昇に賃上げが追い付いていないことが原因ではないかと考える。
	▲	コンビニ(経営者)	・本部の集客施策にインパクトがなくなってきており、売上増加が難しい。さらに、従業員の賃上げが利益を圧迫しており、厳しい状況が続く。
	▲	コンビニ(エリア担当)	・今後も降雨日が見込めない上に、周辺施設のイベントも多くは開催されない見通しである(東京都)。
	▲	コンビニ(エリア担当)	・来客数自体が減少傾向にあることと、相変わらず値上げする商品が多いため、今の動向でいくと、3か月後はマイナスになっていく。
	▲	コンビニ(従業員)	・夏の間は近隣でプール営業があるため売上は伸びる。プールの時期は年間でも一大イベントで、夏と比べると秋頃は売上が減る。プールが終了しても売上が落ち切らないように、ふだんから新規客を発掘していく必要がある。
	▲	衣料品専門店(経営者)	・最近では食料品など本当に必要な物を優先しているようで、余分な物は買わない傾向にある。また、企業としても買い控えがあり、いつもよりは数字が落ちている。
	▲	乗用車販売店(経営者)	・物価の上昇はこの先も続く。
	▲	その他専門店〔ドラッグストア〕(経営者)	・この気候だと、夏から秋を経ずに冬になりそうなので、季節商材の動きが心配である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・ガソリン税暫定税率廃止となった場合、そのタイミングでどれだけ正常な経営スタンスを石油業界として取っていくことができるかが不安である。対応を誤ると供給が不安定になり、客、需要家に迷惑を掛けることになるのではないかと心配している（東京都）。
	▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・経済対策が実施されず、生活環境は厳しい状況が続くそうである（東京都）。
	▲	高級レストラン（仕入担当）	・依然として商材の値上がりが続く、経済好循環の兆しもなく、むしろ消費活動の停滞により悪化が懸念される（東京都）。
	▲	一般レストラン（経営者）	・米国の輸入関税率引き上げの影響が出てくる。
	▲	その他飲食〔カフェ〕（経営者）	・20年前はコーヒー1杯が500円前後であった。今コーヒー1杯の価格イメージを聞いてみても500～600円と、昔とほとんど変わっていない。この価格イメージが変わっていかないと、コーヒーの価格転嫁は難しいと考えている。コーヒーだけでなく様々な物の価格イメージが変わっていくことで、景気が良くなっていくのではないかと（東京都）。
	▲	旅行代理店（経営者）	・この先もまだ諸物価の上昇が続くようなので、外出もなかなかできなくなっているため、出掛けるのではなく近くでおいしい物でも食べて過ごそうかという話が続いている。それでは景気は良くなるらない。
	▲	旅行代理店（従業員）	・10月から様々な分野で更なる値上げが予想される。
	▲	タクシー運転手	・物価高の影響と、夏休み目前ということもあり、利用者数が大分下降傾向である。夏休み明けが少し心配である。
	▲	タクシー運転手	・2～3か月先は暑さが落ち着いてくるため、タクシーの利用率が低下する。政治が安定するかどうかにも影響する（東京都）。
	▲	ゴルフ場（経営者）	・参議院選挙が終わり、2～3か月後には野党が矢継ぎ早に政策を打ち出してくるため、政情が安定するのはもう少し先になる。
	▲	その他レジャー施設〔複合文化施設〕（財務担当）	・米国の相互関税15%の影響が出てくる。空梅雨で米が不作になる（東京都）。
	▲	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・身の回りの物価が上がり続けているため、余り良くなるとは考えられない。
	▲	その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・今のところ物価やエネルギー価格が上がる一方で、良くなる要素がみられない。
	▲	その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・仕入価格の大幅な値上げが想定される。
	▲	設計事務所（職員）	・有効な対策がないとスタグフレーションの傾向がより強まる（東京都）。
	×	百貨店（販売促進担当）	・インバウンドの減少が続く（東京都）。
	×	衣料品専門店（店長）	・賃上げが物価上昇に追い付いていないため、食料品を優先せざるを得ず、衣料品に回す余裕がない。
	×	衣料品専門店（従業員）	・2～3か月先も、前年度に比べて気温が上昇していることや、いまだ続く物価高で先行きも不透明であるため、希望が持てない。
	×	一般レストラン（経営者）	・当地域周辺は工場閉鎖が決まった大手自動車メーカー系列各社で働いている人も結構多い。今後良くなるとはとても考えられない。
	×	通信会社（管理担当）	・物価上昇により販売量は横ばいで推移する。
	×	ゴルフ場（経営者）	・5年前と比べ、修繕費の単価が140%、消耗品の単価が125%と上昇しており、利益を圧迫している。政治の混乱が想定され、消費税減税や給付金支給がスムーズに運ばないと、個人消費は更に落ち込む。
	×	ゴルフ場（従業員）	・政権が安定せず、政治が停滞する。安心して任せられる政治を望みたい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	ゴルフ場（経理担当）	・素材・エネルギー価格の高止まりで固定費の回収に苦慮する環境は変わらず、利益を創出できるような状況ではない。10月になれば猛暑も緩和され、稼働率改善が期待できないわけではないものの、飽くまで季節要因にとどまり、景気要因での来客数改善は期待できない。
	×	その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・新築着工数の下降に歯止めがかからないことから、建材需要は非木造や大型ビル案件の取り合いとなり、価格対応体力のあるところしか残らない（東京都）。
企業 動向 関連 (南関東)	◎	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・例年どおりなら10月から受注量が増える（東京都）。
	◎	その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・昇給率、賞与共に前年より増加している。
	○	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・今年は暑くなるのが例年よりも早く、6月頃から暑いので、来客数が非常に少なくなっている。店の中はもちろんエアコンが効いているが、外出して来店しようという客が少ない。9月、10月になれば暑さが若干遠のいて来客数が増える期待できるため、上向いてくる。インターネット注文も受けているが、これは通年変わらないため、やはり来客数の方が気になる（東京都）。
	○	化学工業（総務担当）	・例年の閑散期にもかかわらず、受注が増えている。
	○	電気機械器具製造業（企画担当）	・AI関連製品の需要拡大と、それに伴う製品開発も順調に推移しているため、景気としては少しずつ良い方向に向かう。
	○	その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・物価高に慣れが生じている（東京都）。
	○	不動産業（総務担当）	・現況からすると、2～3か月先までは良いが、米国の関税政策の影響が出始めるとみられる年の後半は、業種にもよるが一部入居テナントの動向が気になっている（東京都）。
	○	広告代理店（従業員）	・取引先の自動車販売会社では、今まではPRしても売れる車がないと広告を控えていたが、納期が短くなってきたことから最近PRに力を入れ始めている。
	○	広告代理店（営業担当）	・猛暑や米国の関税政策の影響も心配だが、全体的に広告関連の仕入価格及び販売価格は高くなっている。そのため、受注件数は減りそうだが、売上は増えると予想している（東京都）。
	○	税理士	・ガソリン価格の値下げや消費税減税が実現すれば、今より消費が増えて経済が回る。中小企業の景気が上向きには時間が掛かりそうだが、徐々に上向きになるのではないかとみている。
	□	食料品製造業（経営者）	・9月も気温が高いままだと来客数が増えない。
	□	化学工業（従業員）	・受注量が落ち着いてきており、今後大きく変動することはなさそうである。
	□	プラスチック製品製造業（経営者）	・米国の関税政策の影響がどう出てくるかまだ不透明なところがあるため、3か月後は基本的には余り大きな変化はない。
	□	プラスチック製品製造業（経営者）	・大きな新規案件が立ち上がれば一気に軌道に乗るのだが、クライアント側の決算の都合で進捗が遅れている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・米国との関税交渉がひとまず妥結したので、変わらないとみているが、全体として良い方向に向かっているわけではないため、予断を許さない。
	□	建設業（経営者）	・賃金が平均的に上がってこない景気が良くなる兆しはみえてこない。したがって、当分はこのまま停滞気味で続いていく。
	□	建設業（従業員）	・先行きが余りにもみえないため、受注量が増えても、もうけになるかどうか不安が残る。物価上昇が落ち着いてほしい。
	□	建設業（営業担当）	・資材価格の高止まりが落ち着いてきているため、受注は現状維持できると見込んでいる。
	□	輸送業（経営者）	・取引先と現状の課題解決に向け協議が続いているが、対策の実施までには至っていないため、現状のままで推移するものとみている（東京都）。
	□	輸送業（経営者）	・世界情勢が不安定である（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷量は落ち着いており、輸出はない。来月も現状が続く予想である。
	□	通信業（広報担当）	・経営環境の悪化と、それに対処するためのニーズとが入り交じり、一進一退の動きが続く（東京都）。
	□	金融業（従業員）	・業種を問わず、原材料価格や人件費の高騰、米国の関税政策の影響など、先行きに対する不安の声が多い。そのような環境下だが、経営者からはインターネットによる販路拡大などに取り組む前向きな声も聞かれている（東京都）。
	□	金融業（営業担当）	・関税交渉に決着がみられたことにより、今後の受注好転を期待する声をよく聞くが、先の見えない受注動向に変わりはなく、その効果が見えてくるには相応の期間を要する。公共事業関連企業からは、ただでさえ低水準の公共工事が、政情不安から更に停滞する可能性について危惧する声を聞く。
	□	不動産業（経営者）	・インターネット時代で、どのようにしたら客と接することができるのか勉強中である（東京都）。
	□	不動産業（経営者）	・賃貸物件の入居率は安定した状況が続くとみられる。一方、メンテナンス費用は人件費、材料費などの高騰により増加しており、収益が減少傾向にある。
	□	広告代理店（経営者）	・飲食業界では原材料価格の高騰により価格改定が続いているが、消費者の負担感を和らげるため、新商品の開発やポーションサイズの見直しなど、工夫を重ねる動きがみられる。こうした流れから、当社への新メニュー開発に伴うデザイン依頼が増加している。新規出店の傾向としては、ラーメン業態が目立っている。これらの動きは活発さがあるものの、全体としては大きな景況感の変化にはつなげていない（東京都）。
	□	広告代理店（従業員）	・ここしばらく同じ回答だが、変わらないを選択せざるを得ない状況である（東京都）。
	□	税理士	・米国、中国の景気、米国の関税政策が国内に影響する。それまで2.5%だった税率が12.5%引き上げられて15%に落ち着いたが、それだけ関税が高くなると、特に自動車業界を直撃し、それに付随する事業者もやはり大きく影響を受ける。それだけでなく仕入価格、原材料、人件費の上昇で中小企業は皆厳しいので、先行きは余り変わらない（東京都）。
	□	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・工場稼働率等がどの程度回復していくか不透明感が強いこと、廃業等の動向も目立ってきており、景気は停滞が続く。
	□	その他サービス業〔警備〕（経営者）	・この先も売上は大きな変化はなく推移していく。
	□	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・既存契約の値上げ交渉に進展がない（東京都）。
	▲	精密機械器具製造業（経営者）	・米国との関税交渉は15%に落ち着いたものの、3か月先にもどのような影響が出てくるかは読めない。例年8月は夏休みの関係で受注量が落ちるが、今年は例年より10%以上受注が増加し、大きな落ち込みはない。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・自動車の対米輸出における関税率が15%に決定して以降、自動車メーカーから将来の国内生産について具体的な情報開示はない。目先は変わらないだろうが、将来的には減収要因となる。
	▲	建設業（経営者）	・状況的に政治的不安定さにより悪化する。消費税減税1本では経済が回らない。
	▲	金融業（総務担当）	・まだ物価高は収まらず、燃料費も高止まりしている。気候的には猛暑が予想され、家電業ではクーラーの需要が増えるものの、全体の消費にはつながらないとみている。消費税減税の話も出ているが、効果は期待できない（東京都）。
	▲	金融業（支店長）	・建築基準法の改正による建築確認の遅れが徐々に始まっている。この影響は更に拡大していき、経済悪化が非常に懸念される。
	▲	経営コンサルタント	・米国との関税交渉や政治的不透明感が影響する。
	▲	経営コンサルタント	・対米輸出については、関税が当初より少し下がったとはいえ今までは高くなるため、支障は出てくる（東京都）。
	▲	その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・このまま円安が続けば、輸入食料品の値上がりや輸入品の品薄が予想される（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	食料品製造業（経営者）	・政権が不安定なこともあるが、値上げの影響が下期に直結する（東京都）。
	×	出版・印刷・同関連産業（所長）	・景気が悪く、先行きが見えない状況が続くことから、広告宣伝に掛ける費用が大幅に削られる傾向にあるため、ますます厳しくなる。
	×	金属製品製造業（経営者）	・値上げ交渉をするものの、競合先が国内だけであれば問題はないが、工業製品については海外との競争もあり、容易に値上げが進まない現状もある。その上、無理な賃上げを行う企業も多くあり、中長期的にみれば景気が良くなるとは考えられない。先行する賃上げに疑問がある。
	×	金属製品製造業（経営者）	・この先も大きな案件はなく、当面は日銭稼ぎでしのぐしかない。大手取引先の発注方法が変わり、取りまとめのできる中堅企業への発注がメインとなり、当社のような町工場への直接発注は少なくなっている。今後2～3か月で新規取引先を増やすことも難しいため、景気は今年よりも悪くなる。
	×	建設業（経営者）	・政治の混乱が続く。
雇用 関連 (南関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・下期に向けて、入替えや増員などで再度求人依頼が増加することが見込まれる（東京都）。
	○	人材派遣会社（営業担当）	・米国との相互関税率がはっきりとしたことで、各企業の対策も講じられることが期待され、好転することが予測される（東京都）。
	○	職業安定所（職員）	・7月は新規求人数が前月及び前年同月を大きく上回る見込みであり、今後も回復傾向が続くことが予想される。
	□	人材派遣会社（支店長）	・正社員退職の後任依頼が増えてきており、人材募集次第となるが、変わらず堅調な推移となる見通しである（東京都）。
	□	人材派遣会社（支店長）	・交代補充の依頼が多い状況が続いている。
	□	人材派遣会社（社員）	・米国の関税政策の影響など先行きの不透明感があり、特に製造業においては求人数が前年割れの状態が続く。
	□	人材派遣会社（社員）	・人材不足は認識しているが、想定している賃金で募集されていない（東京都）。
	□	人材派遣会社（社員）	・専門性の高い人材は限られており、供給には限界がある（東京都）。
	□	人材派遣会社（社員）	・求人数は特に変化がない見込みである。DXによる業務改善を進めたいという意向から、BPOを検討している企業が増えてきており、ITを活用できる人材のニーズは増えてくる。
	□	人材派遣会社（社員）	・大きな動きは想定されず、横ばいでの推移が見込まれる（東京都）。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・今月に入り、企業からの求人件数が若干減少している。求職者数はさほど減少していない。この状況が続くと、需給バランスが崩れてしまうため、将来的には景気が厳しくなる可能性がある（東京都）。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・景気向上策がみえない（東京都）。
	□	求人情報誌製作会社（広報担当）	・大幅に景気が良くなる要素も、悪くなる要素も見受けられない。現状から余り変わらない（東京都）。
	□	求人情報誌製作会社（所長）	・求人数には回復傾向がみられるものの、景気回復の兆しとなるかは微妙なところである。
	□	職業安定所（職員）	・求人数に大きな変化はみられない。
	□	職業安定所（職員）	・人手不足の状況が続いている（東京都）。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・現時点でも企業からの求人数は、業種によって異なるものの、特に営業、技術系専門職については高い水準にある（東京都）。
	▲	人材派遣会社（社員）	・物価の上昇に賃上げが追い付いていない（東京都）。
	▲	職業安定所（職員）	・人手不足でありながら新規求人数が減少傾向にあり、物価の上昇傾向により企業のコスト負担感が増加しているものと考えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	求人情報誌製作会社 (営業)	・製造業を中心に、先行きが不透明との企業が多い。

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

(－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他専門店〔酒〕 (店長)	・物価高騰で、客の購入頻度や購入する酒が絞られているようだが、金額ベースでいうと売上は伸びており、利益もある。ただし、客の様子をみていると、色分けがあるというか、客層が厚くなっている。
	◎	高級レストラン(経営者)	・メニューの価格は上がり、来店機会も増えてきている。
	◎	都市型ホテル(スタッフ)	・現状の来客数の動きを見ても、既に全客室の7割ほどは埋まっている。
	◎	タクシー(経営者)	・猛暑続きだが、人の動きは活発な傾向が見受けられる。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕(経営者)	・遺品整理は亡くなった際はつきものであるため、今後ますます依頼が増えるかとみている。あわせて、仏壇の処分や墓じまいも増えている。
	○	商店街(代表者)	・日本と米国の関税措置に関する合意ができたので、今後は落ち着いて、日本経済も多少は良くなると期待している。
	○	都市型ホテル(スタッフ)	・季節的なこともあるかもしれないが、個人の先の予約が改善してきている。法人利用はある程度堅調に推移しており、今後に期待を持てる状況である。
	○	都市型ホテル(スタッフ)	・あらゆる面での物価高に関して、ある程度、消費者は慣れてきている。ホテルは宿泊という高額商材を販売しているが、皆がそれなりの料金でも泊まってくれるようになっていく。季節要因もあるが、8月の夏休みは県外客が1番多く来る月となる。客室単価は7月と比べて約200円上がるため、期待したい。
	○	遊園地(職員)	・夏に特化した施策の展開やイベント開催を予定しており、積極的な情報発信を行うことで、より多くの客の来園を期待している。
	□	一般小売店〔家電〕(経営者)	・ボーナスの話題が全く出てこない。ボーナスの使い道も欲しい物の購入ではなく、生活費に回っているようである。出費を抑える状況がしばらくは続きそうである。
	□	百貨店(経理担当)	・米国の関税率が15%に着地し、株式相場は上昇傾向にあるが、猛暑や金利及び物価の上昇、政局の不安定から消費の回復につながらず、ここ3か月トレンドは大きく変わらない。プレミアム付商品券の利用回収は堅調に推移しているものの、売上の増加にはつながっていない。
	□	百貨店(営業担当)	・相変わらず、物価高の傾向が続いており、実質賃金はマイナスのため、消費行動としてはそれほど盛り上がる傾向にはない。
	□	百貨店(店長)	・来客数の動向から悪くなるとは考えていないが、このところの天候不順等で、秋物の見通しが立たない。良くなる理由がない。気候変動の売上への影響は非常に大きい。
	□	スーパー(経営者)	・米国の関税政策がどのように影響するか未知数のため、変わらない。
	□	スーパー(経営者)	・今後も現在と同じような形で、外販の仕事が多い状態が続く。
	□	コンビニ(経営者)	・これだけ暑さが続くと商売的には有り難いが、前年のように、すぐに涼しくなって売上が大きく落ちることも考えられる。
	□	コンビニ(経営者)	・消費税等の問題もあるだろうが、そこまで大きく変わらないとみている。物価高対策次第では来客数も増加し、売上も向上する。
	□	コンビニ(エリア担当)	・可処分所得が増えていないため、変わらない。
	□	コンビニ(店長)	・気温に関しては、かなり高い状態で推移しそうな長期予報が出ているため、このまま状況は余り変わらない。身体の方もかなり疲れが出てくるため、正直、厳しい状況が続くとみている。多少、厳しい方向に進みそうではある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	家電量販店（店長）	・抜本的な景気対策が必要である。来客数減少に歯止めがかからない。
	□	乗用車販売店（経営者）	・新車が出るまでは価格競争の激化が予想され、現状の改善は見込みにくい。
	□	自動車備品販売店（従業員）	・暑い日が続くことが予想され、現状と変わらない。
	□	一般レストラン（経営者）	・負担ばかりが多すぎる。
	□	一般レストラン（経営者）	・異常気象により、全く客の動きがつかめない。加えて政局の不安定さや秋にかけて地方選挙も重なるため、大きな動きは見られそうにない。
	□	スナック（経営者）	・企業が朝にアルコールチェックを始めるようになってから、夜11時を過ぎると皆が帰ってしまい、その後の来客もない状態が続いている。これはもう改善することはなく、当たり前だと思って営業をしなければならない時代になっている。毎月厳しい状況が続いている。
	□	観光型旅館（経営者）	・秋の行楽シーズンも首都圏客を中心に、予約が堅調に推移している。
	□	旅行代理店（副支店長）	・今後の米国の関税政策の影響や更なる物価高、秋に予定されているバス運賃の改定に伴い旅行者数の減少が懸念される。客の動向は現状と余り変わらないと推測する。
	□	タクシー運転手	・1年前30人いた運転手が現在21人と、9人も減ってしまった。新人ドライバーは入らず、従業員の年齢は上がっていくばかりである。夜の動きが悪い上に、夜勤の運転手も減少している。
	□	通信会社（社員）	・新規エリアの開局はあったが、大幅な加入者の増加にはつなげていない。工事業者の人工不足も原因の一端である。
	□	ゴルフ場（副支配人）	・周辺コースの状況もあるかもしれないが、以前来場していた客の予約がなかったり、食事付きのパーティー予約が減少している。
	□	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・景気が良くなるような材料が見当たらない。
	□	その他サービス [クリーニング]（経営者）	・景気もそうだが、人手不足は深刻である。
	▲	商店街（代表者）	・後ろ向きな店が増えている。
	▲	商店街（代表者）	・一時の米価高騰は収まってきたが、客の財布のひもは固い。
	▲	コンビニ（経営者）	・猛暑の影響で来客数が増えているものの、客単価は変わらない。たばこ、パストリー、スイーツ、嗜好品等は前年割れしている。2～3か月先も良くなることはない。
	▲	コンビニ（経営者）	・夏休みが終わり、年末に向けて財布のひもが固くなると予想している。
	▲	スナック（経営者）	・良くなりそうな材料がない。暑くて飲みに来てくれない。原価が上がり続けているため、仕方なく値上げもしているが、個人消費は余りにも良くない。
	▲	通信会社（社員）	・引き続き、良くも悪くもなさそうである。政治情勢が不透明なことや米国の関税率の引上げがどのような影響を及ぼすかも不確定な状況があり、どちらかといえば横ばいよりやや下向きである。
	▲	観光名所（職員）	・収入はそれほど変わらないところに、商材や宿泊施設の価格が高騰しているため、旅行控えを懸念している。
×	スーパー（店長）	・7月から更に商材を値上げしている。いまだ物価高対策はみえてこないなかで、客の買物は慎重になる。	
×	コンビニ（経営者）	・良くなる要素がない。	
×	衣料品専門店（経営者）	・商店街に全く人影がみられない。また、当店顧客の来店頻度がかなり減少している。	
×	その他飲食 [カフェ]（経営者）	・何も変わらないため、悪くなる。	
×	ゴルフ場（経営者）	・政府の投資不足で、悪くなる。	
企業 動向 関連	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体需給が回復し、良くなる。
	○	—	—

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(甲信越)	□	食料品製造業（営業統括）	・この異常な高温はしばらく続き、厳しい環境も変わらない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・物価高の影響で、耐久消費財への支出が抑えられる傾向に大きな変わりはない。また、猛暑の影響でエアコン需要が高いが、その他の家電は需要が抑えられている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・どこも発注の鈍さがあり、全体的に活気がみられない。
	□	電気機械器具製造業（従業員）	・現在、変圧器の受注が停止されており、当社製品の受注や変圧器の納期も遅延しているため、製品出荷の停滞が予想される。
	□	建設業（経営者）	・工事単価、受注量とも徐々に上がってくるとみている。
	□	金融業（経営企画担当）	・日本で災害があるとの噂も収束し、観光業のインバウンド効果で景気は上向くとみているが、物価高騰が止まらないため、国内消費は変わらない。
	▲	食料品製造業（総務担当）	・原材料価格の高騰が続いているため、やや悪くなる。
	▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	・季節商材の受注は見込まれるものの、生産額は例年並みの予想である。
	▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・商材を作るたびに価格が上昇するため、こちらが利益を圧縮して客の希望する価格に合わせない限り、なかなか受注は難しい。この傾向はしばらく続く。
	▲	金融業（調査担当）	・アンケートによると、製造業では米国の関税引上げによる悪影響が、今後半年以内に受注や利益面に現れる見通しの企業が半数近くあり、業況を更に押し下げる懸念がある。非製造業では観光関連は底堅いものの、製造業関連の貨物や機械器具卸などで受注減少や設備投資計画の見直しを懸念する企業も多くなっている。
×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。	
雇用 関連	◎	—	—
	○	—	—
(甲信越)	□	人材派遣会社（営業担当）	・お盆休み中の人の動きがどうなるか分からない。観光客はともかく地域住民の生活が安定しないと景気は良くならない。
	□	職業安定所（職員）	・新規求職者数は僅かに減少傾向がみられるものの、物価高や受給年金額の不足から高齢の求職者数が増加している。
	□	職業安定所（職員）	・価格転嫁が進められる業種と対応が難しい業種で動向がより2極化する。しかし、すぐに求人数が減ったり求職者が増える状況ではない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・1年前と比べると、厳しくなった求人に変化はなく、このまま推移するとみている。
	▲	職業安定所（職員）	・新規求人数は前年同月比で12か月連続で減少している。
	▲	職業安定所（職員）	・中国の景気が低迷していることに加え、米国の関税政策が日本経済にどの程度影響を及ぼすか不透明である。また、中東地域の不安定化等に伴い、原油価格の高騰等による物価上昇等が雇用に与える影響も懸念される。
	×	—	—

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	◎	商店街（代表者）	・消費者はまだ余裕があるような様子である。
	◎	スーパー（販売担当）	・店舗の改装を実施するため、更に客のニーズに合った店になる。客層に単身者が多いため、総菜や簡便調理品を強化する。
(東海)	◎	旅行代理店（営業担当）	・秋の行楽シーズンは団体旅行や国民体育大会、ねんりんピック等のスポーツ観戦も好調に申込みがあり、良化傾向である。物価高騰による旅行代金の値上げもあるが、旅行やイベントへの参加申込みは順調に増えている。
	◎	美顔美容室（経営者）	・8月から新たなキャンペーンセールを開始する。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・猛暑が和らげば観光客も多少回復することを期待する。
	○	百貨店（営業担当）	・涼しくなれば来客数が増える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	百貨店（販売促進担当）	・インバウンドの好調に加え、減税や給付の議論が本格化することにより景況感が改善され、国内消費も多少上向きになる。
	○	スーパー（店員）	・お中元商戦は終わるが、猛暑の今月と比べて外出するのに最適な気温や気候になる。
	○	コンビニ（本部管理担当）	・年間で最も忙しい時期になる。今年は例年よりも梅雨明けが早く、現在のところ天候不順の予測もない。また、参議院選挙も終わり世の中が安定することもあり、状況は好転すると判断した。
	○	コンビニ（商品企画担当）	・引き続き関西圏への移動を伴う来客数の増加が見込めることから、景気も伸長する。
	○	家電量販店（店員）	・客の予算が高めのケースが増えている。
	○	乗用車販売店（経営者）	・暑さが和らぐ10月以降は客の動きも良くなると期待する。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・価格が上がっているせいか、新車の売行きが今一つではあるが、代わりに中古車の引き合いが強くなり、来客数も増えてきている。
	○	その他専門店〔書籍〕（社員）	・9月以降は新学期向けの販売量増加が期待できる。
	○	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・諸問題が全般的に安定すれば気分も上向き、購買意欲も高まってくる。
	○	観光型ホテル（支配人）	・8月以降の予約状況は予想を下回っているが、前年比ではプラスで推移している。
	○	都市型ホテル（総支配人）	・季節要因と大阪・関西万博の閉幕で客が戻ることを期待する。
	○	旅行代理店（経営者）	・海外旅行は、当地域では地元空港の発着便が戻っていないほか円安傾向により客の動向が良くないが、国内旅行は回復傾向にある。
	○	旅行代理店（営業担当）	・団体旅行は既に受注案件が多数あり、9月後半から下期の繁忙期となるが、バスの運転手不足により、需要があっても受けられない状況である。新型コロナウイルス感染症発生前より取扱件数は減っている。
	○	テーマパーク（職員）	・天候が安定している場合はやや良くなる。
	○	パチンコ店（従業員）	・繁忙期に入るため来客が見込める。
	○	美容室（経営者）	・10月頃には暑さも弱まり、出足が良くなることを期待する。
	□	商店街（代表者）	・商店街内で新旧店舗の入替わりが増え、来客数の減少を阻止している。
	□	商店街（代表者）	・政権政党が参議院でも過半数割れを起こしたことにより、一層の政局混乱が発生し、景気回復の施策や話し合いも余り進展しないとみられる。
	□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・飲食料品の値上げでますます外食を控える傾向に拍車がかかり、今夏で店を閉めるという連絡が入るようになった。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・物価の上昇を憂う客が大変多く、安定しない限りこの状態はしばらく続く。
	□	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・米国の関税問題は一旦落ち着きを見せているものの、税率が上がるとは間違いないため、法人も厳しい状況を切り抜けていく必要があり、個人客も生活防衛のため堅実な消費が続く。
	□	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
	□	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・夏のボーナスシーズンが終わり、明るい材料がない。
	□	百貨店（売場主任）	・以前はスーツを買うと靴も新しくする客が多かったが、最近はスーツは新調しても靴はそのまま、もう少し古くなったら購入するという人が増えている。また、インターネットショッピングをしている人が多い様子で、ネットで見たこの靴はあるかという問合せが多い。来店している試履きをして、その後スマートフォンからネット注文する人を何度か接客した。店頭で購入する人が減っており、売上は厳しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・インバウンドは購買動向の変化が顕著で、客単価が大幅に下がっている。購入商品に対する関心もインポートブランド中心から一般商品を含めた商品全般に移っていることも要因である。国内消費者については、高額品や食料品、飲食店の堅調に加え衣料品等は百貨店で扱うブランドが健闘している。ただし、今後の景気については、米国の関税問題、政治動向等を踏まえてどのような変化があるか分からないため、変化の予兆に留意している。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・国内外の政治が不安定で、富裕層の買い控えや中間層の保守的な購買意欲が続く。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・価格改定の反動が懸念される。この先も物価高の影響がまだ続いていくと考えるため、好転は難しい。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（営業企画担当）	・値上げの影響で良くはならない。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・夏の気候によって売上が左右される状況が長引いたままセールに入ったため、盛夏用品は売れているが、値下げ品から動いている様子である。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・他店開店が続いており、競争が激化し客の奪い合いの状態がしばらく続く。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・この先大きなイベントが余りないため、来客数が増えない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・米国との関税交渉の行方が不透明で、物価高への対応政策が年内に始まるかも不明であり、猛暑に伴う農産物への影響など不透明なことが多く、容易に改善できない可能性がある。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・来客数が大きく伸びないなかで、1品単価は今後も値上げの影響を受けそうで、現況から大きな変化はない。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・プラスの要因も見いだせないが、これ以上悪くなる気配もみられず、穏やかな心持ちで業務に集中する日々となる見込みである。人気商材である挽きたてコーヒーの20～40円の値上げにも大きな反発もなく、理解して受け入れられたような印象を受けた。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・チョコレートなどの季節商材が前年と比べて大きく値上がりしているため、販売量の減少が懸念される。来客数の増加と客単価の下落でこのまま推移する見込みである。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・米国関税の影響が小売業界にもじわじわと出てくるという不安要素があり、景気が良くなるとはしない。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・今月が非常に好調であるため、この先どうなるのか全く見通しが立たない。悪くなるとは考えづらい。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	・まだ暑い日が続くため、重衣料のスーツよりカジュアルウェアを購入する人が多い見込みである。中にTシャツを着たり、スニーカーと合わせられるような単価の低い軽めのジャケット等が売れる状況が続く。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・政治が不安定すぎて、生活防衛の意識が大きい。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・8月から米国の関税が発効されると、景気にはマイナスの要因となる。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・米国との関税交渉や国内のインフレ懸念など先行きの不透明感が強く、車のような耐久消費財の購買意欲は盛り上がらない。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・停滞感は続いているが、自動車関税が最悪の形を避けたことで、今後の好転に期待する。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・これ以上悪くなることはないともみているが、良くなる気配もないため不透明である。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・円安のため海外で販売する方がもうかるのか、メーカーからの国内振り当て枠が増えない限り増販は見込めず、振り当てられた販売台数を大切に売るしかないのが実情である。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型車両も発売され、市場はある程度活性化しているが、金銭的に余裕のある人と全くない人との格差が大きい。車両価格もますます高額になってきている。いろいろな販売方法で買いやすさをアピールしているが、客の先行きに対する不安感がなかなか払拭されないため、景気が回復傾向にあるとはいえない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格が再び値上がりしていることは客との話にもよく出てくる。異常な暑さもあり、遠出を控えている話もよく聞くようになった。車での移動が減ることにより販売台数、工場への入庫数が減少するため、しばらくは様子見である。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・参議院選挙でも政権政党が過半数割れて、米国の関税や物価高の問題等も良くなる要因が見当たらず、景気は当分悪い状態が続く。
	<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・米国の関税による影響を見極めていく必要がある。
	<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営企画）	・物価高の影響から節約志向の行動がある一方、日常の食事、特にランチは高水準で推移している。先行きの不透明感から、ディナータイムの企業利用の伸び悩みが続く。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・客に対して特に広告やアピールを行っていないため、単純に来店を待つしかない。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	・夏が終われば元に戻る。
	<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・売上自体は変わらない若しくは微増しているものの、購買点数が減少している点が気掛かりである。購買意欲はあるものの、全体の購入予算を増やすまでには至っていない。
	<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・3か月後の予約状況をみると、前年と比べ5%程度の増客傾向がみられる。この動きは継続しているため、景気としてはやや良い状態のまま変わらない。
	<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（従業員）	・予約数から判断した。
	<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（経営者）	・不確実性は残るものの、米国関税交渉もまとまり、為替など大きな変化はなく現状が継続される。
	<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（営業担当）	・米国関税の問題で不透明なところはあるが、現状では主だった影響はみられない。株と為替もある程度安定しているため、現状のまま継続する。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・既に国内でも客層の2極化に直面している。旅行中はふだんの生活より少し背伸びしてでも良いホテルに泊まり、おいしい物を食べるのが昔ながらの考え方であったが、それが変わりつつあるため販売する側も難しい。早くに予約を入れるとリーズナブルに行ける場合もあるため、外国人旅行者のように半年以上前から契約するべきと早期予約を呼び掛けている。海外よりも国内需要が伸びている。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・タクシーの利用客が夜8時と12時に2極化し、遠距離が減っている。利用客の縮減など産業構造や人口構成を見据えた方向性が決められない経営が続いている。マンション建築期間の長期化や、建設の停止・延期等の影響により、不透明さが続いている。
	<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・今後もしばらくは猛暑の日が続くため、朝から午後に乗車する客は多いだろうが、夜から深夜にかけての来客数は変化がない見込みである。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・上向く材料が見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	テーマパーク職員（総務担当）	・この時期は冷房の効いた屋内施設に客を取られてしまうのは仕方ないため、あえて屋外施設ならではの夏季イベントで対抗し、集客を期待するが、例年並みと予測している。
	<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（経営者）	・物価高騰による原価上昇を料金に転嫁できない状況が続く。
	<input type="checkbox"/>	パチンコ店（経営者）	・ボーナス月で少し娯楽に使える金額が増えているとみているが、景気が余り変わらないため、販売量は横ばいである。
	<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・明るい話題がなく、物価高も続くため当分景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・材料費や人件費の高騰が続いている。
	<input type="checkbox"/>	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・住宅リフォームや企業の設備投資案件がしばしば出ている。
	<input type="checkbox"/>	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・第2繁忙期に入るため期待したいが、ここまで原価が上がると予測が難しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	百貨店（総務担当）	・今後も極めて危険な暑さが続くようであり、来客数が伸びない限り、売上の回復は難しい。今年は前年より円高ということもあり、お盆休みなどは海外の近場への旅行も想定され、お盆の消費にも期待が余りできない。一方で、暑さによりUV対策の日傘や化粧品などの動きは良いが単価が低く、これまで売上をけん引していた海外特選ブランドがインバウンドの減少もあり厳しく、売上の回復にはまだ遠い。
	▲	百貨店（営業担当）	・客の節約志向とインバウンドの購買意欲の低下が目立ってきており、しばらく回復が見通せない。
	▲	スーパー（店長）	・競合先の出店を控えているため、来客数の減少が予想される。
	▲	スーパー（店長）	・前年は南海トラフ地震臨時情報があり、防災用品や食品の購買行動につながったが、本年は何もないことに加え、猛暑により厳しい見込みである。
	▲	スーパー（店長）	・商品の値上げ要請がまだ継続している。
	▲	スーパー（店員）	・担当カテゴリーの値上げが続くことに加え、原材料面での供給に不安がある。
	▲	スーパー（支店長）	・延々と続く物価の上昇と収入の横ばいで需要と供給のバランスが崩れて、購買力が上向くことは全く期待できない。今後も原料価格高騰や商品値上げが続くことで、庶民の生活はますます大変な状況になると危惧している。
	▲	コンビニ（企画担当）	・来客数の減少傾向は以前から起きており、同等か若干悪くなる可能性がある。
	▲	コンビニ（店長）	・今後の物価対策がどうなるか不明だが、消費者の節約志向は変わらない。
	▲	衣料品専門店（店長）	・暑さが長く続く見込みであり、秋冬商材の購入客が減る可能性が高い。周辺には米国関税の影響を受ける業種も多く、全体的な消費への影響は大きい。
	▲	衣料品専門店（売場担当）	・ボーナス支給の影響は一時的なものとみられる。
	▲	衣料品専門店（販売企画担当）	・暑さで客も少なく、閑散としている。
	▲	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・消費者の生活防衛意識が高くなっている。値段を気にする人が多くなっている。
	▲	乗用車販売店（販売担当）	・今までは車両本体価格が300万円台からであったが、現在は500万円台からとなるため、購入できる人が少なくなっている。
	▲	一般レストラン（経営者）	・異常な暑さが続いており、客も外出をためらっている様子で、少なくとも9月いっぱい期待できない。
	▲	旅行代理店（経営者）	・受注が鈍化しており、特に下期においては不安がある。
	▲	通信会社（企画担当）	・米国の関税も含めた政治や経済の先行きに不透明感がかなり大きくなってきている。
	▲	テーマパーク（職員）	・大阪・関西万博や沖縄の新しい大型レジャー施設など他地域にいろいろ新しいレジャー先が増えている。
	▲	観光名所（案内係）	・判断しづらい状況である。今後の日本がどうなるか憂えている。
	▲	理美容室（経営者）	・客との話では物価は上がらないのに賃金は上がらないと嘆く声が多く、景気は悪くなる。
	▲	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・客の購買意欲も増加しているだけでなく、販管費が物価高騰により増加しているため、損益で見れば良くなる要素はない。介護保険サービスを提供しているため、価格転嫁もできない。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・猛暑と長期休暇のため来場者の激減が予想される。
	▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・例年夏休みやお盆は小さな町でもビジネスホテルが一杯になっていたが、今年は花火大会もなく、経済効果は半減している。このままでは地域おこし、地域活性化にもプレーキが掛かる。地方は産業も人の流出も止められず、この先が心配である。
	▲	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・物価上昇の継続が予想される。
	×	商店街（代表者）	・国内投資をしない限り、市場は広がらず給料も上がらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般小売店〔結納品〕 (経営者)	・今年も残暑が厳しい見込みであり、涼しくならないと商店街に人が来ない。景気は更に悪くなる。
	×	百貨店(経理担当)	・不安定な政治が続くことで物価高対策が後手に回るほか、米国との関税政策が企業業績の悪化を招くことで、景気は後退する。
	×	スーパー(店員)	・卵の価格が1パック300円を超えており、猛暑の影響で8月から値上げすることになった豚肉の高騰もかなり家計を圧迫する。米の価格も高値のまま推移し、良くなる要因が見当たらない。
	×	衣料品専門店(経営者)	・残暑がずれ込み、秋物商材の動きがなくなる。
	×	一般レストラン(経営者)	・物価高への対応ができていない。
	×	タクシー運転手	・景気の悪化を実感する。
	×	設計事務所(経営者)	・全く見通しが立たない。
	×	住宅販売会社(従業員)	・材料の輸入品が高騰するとともに便乗値上げが心配である。
企業 動向 関連 (東海)	◎	*	*
	○	輸送業(エリア担当)	・米国との関税交渉が妥結したためやや良くなる。
	□	パルプ・紙・紙加工品 製造業(顧問)	・例年は秋期に入ると受注量や販売量が増加するが、現在の取引先の状況からはその期待を持ってない。
	□	化学工業(営業担当)	・国内のケミカル需要は低調であるが、AI向け電子材料薬品の好調が続く見込みである。
	□	化学工業(総務秘書)	・特段景気に悪影響を与える要素がない。政権政党が少数与党となり国政に混乱が発生しないことを望むが、この先の懸念材料とみられる。
	□	窯業・土石製品製造業 (社員)	・主要顧客は好調だが、他が今一つ元気がなく、現状維持がようやくの見込みである。
	□	一般機械器具製造業 (営業担当)	・米国の関税率が決まらない間止まっていた案件は動き出したが、米国への輸出品に関税が課されることによりコストが上がるため、設備投資を中止したり、中古の購入に切り替えたりする顧客は増えている。
	□	電気機械器具製造業 (営業担当)	・余り変わる要素がない。
	□	輸送用機械器具製造業 (品質管理担当)	・設備投資が始まり、そういったところには金が使われているが、社員への還元がされていない。
	□	建設業(営業担当)	・物価高で作業や物品販売等を行うため、2～3か月から年内というより3～4年後には落ち着く方向で景気は動くかもしれないが、現状は耐え忍ぶだけで変わらない。
	□	輸送業(経営者)	・製造業が原価上昇を理由に値上げをしても粗利が増えるわけではない。原価上昇を理由に物流費は上げられてはいるが、経営が苦しいことを理由として運賃値上げに応じる会社は少ない状況が続く。
	□	輸送業(従業員)	・米国の関税が15%で妥結したばかりであり、どの程度影響があるのか、荷主もまだつかめていない段階である。我々の仕事に影響が出るのは更にその後になる。
	□	輸送業(従業員)	・参議院選挙が終了し、政権運営の先が見通せないためしばらく横ばいが続く。
	□	輸送業(エリア担当)	・業務量は多く安定しているが、数か月前に交渉した単価上昇の話になかなか回答がもらえない。出荷元が承認しなければ単価の上昇はないため、出荷元との交渉がうまくいっていない様子である。
	□	金融業(従業員)	・夏休みの時期は帰省など人の動きもあり経済は活発になるかもしれないが、その後は変わらない状況が続く。
	□	金融業(企画担当)	・中小企業の賃上げが大手企業に可能な限り近づかないと個人消費も伸びず、また、賃上げが吸収できるくらいに受注価格も上がらない限り、景気の回復はしばらく難しい。
	□	不動産業(経営者)	・今後は例年よりも晴れの日が多くなりそうであり、外出や遠出をする人は増加する。売上の増加傾向は継続し、前年を上回る状況になっていく。
□	広告代理店(制作担当)	・物価の高止まりで広告量が抑えられていることもあり、特に紙媒体の出稿量は前年より微減している。	
□	新聞販売店〔広告〕 (店主)	・海外経済の動向や物価の変動により良くなると期待したいが、中小企業はこの先も厳しい見込みである。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	会計事務所（職員）	・消費に回せる金額は大きく変動しないため、一部商品の値段が上がれば、セール品を買ったり、買う量を減らしたりなどの対策を取る。使う金額が増えなければ景気は変化しない。
	□	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・米国関税問題の決着により世の中はホッとしているが、まだ不透明な部分が多数あるため、突如として税率の引上げが行われるかもしれないという思いがぬぐえず大変不安である。
	▲	食料品製造業（社員）	・酒米の価格が高騰しているため清酒の製造原価が高まっており、今後の自社商品の値上げは避けられない状況である。それにより販売数量に大きな影響が出る見込みであり、清酒業界の景気は先行き不透明である。
	▲	金属製品製造業（従業員）	・いろいろな不足要因のため工事ははかどらず、仕事量が余り出てこないかもしれないという懸念が現実になる。
	▲	電気機械器具製造業（企画担当）	・積極的な経済政策や減税の期待ができないため、投資も消費も様子見で停滞している。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・米国関税の決着がみられ、今後輸出も困難になり、受注量や販売量の減少が見込まれる。
	▲	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・米国関税の影響がある。酷暑日が続いて電気代が心配である。
	▲	建設業（役員）	・夏休みに入り旅行などで客の動きは鈍くなる。米国の関税が地元企業である大手自動車メーカーに与える影響が懸念されるため、今後当地域の客の動きには不安がある。
	▲	輸送業（従業員）	・米国が次々と新しい関税を発動し、景気に先行きの不透明感が漂っているため、企業として積極的な投資ができない。
	▲	通信業（総務担当）	・次の値上げがない保証はなく、どんどん生活が困窮している。賃上げもなく、とにかく出費を控えており希望がみえない。
	▲	金融業（従業員）	・参議院選挙が終わったとはいえ政策上は余り楽観もできず、都心部ではインバウンドにより一時的な売上はあるものの、我が国全体の景気を考えると、まだまだ景気回復というイメージはない。
	▲	公認会計士	・中東情勢の影響や米国関税の影響が出てくる。世界情勢が不安定であることにより、様子見をする企業が多くなっている印象を受ける。日本銀行が利上げする可能性もあり、借入れが多い企業などは今後は下向きとなる可能性がある。また、輸出企業については大きな打撃を受けることも予想され、どちらかというやや悪くなる。
	×	食料品製造業（営業担当）	・消費の落ち込みが全体の受注量よりみられる。回復の兆しは見当たらない。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・物価がかなり上昇しているが、その割に賃金は上がっていない。多少の賃上げがあっても、物価上昇に追いついておらず、実質賃金は下がっており、景気は良くならない。
	×	鉄鋼業（経営者）	・見積依頼などの件数も例年比30%以上減少している。
	×	金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少しており、悪くなる状況が続く。
	×	会計事務所（職員）	・米国関税の影響で客先の減産が決まり、特に船外機関係の受注量が減少している。関税の影響が出にくい客先の製品を増やそうとシフトしているが、生産体制を考えると簡単に切替えはできないため、この状況は今後も続く見込みである。
雇用 関連 (東海)	◎	*	*
	○	職業安定所（職員）	・米国関税が15%と決定したことで、停滞していた企業活動が活発になる。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・お盆時期を境にして転職活動に踏み切る個人の動きが活発化することが予測され、年度末の転職を視野に媒体やエージェントを含め情報取得に動く人が増える見込みである。
	□	人材派遣業（営業担当）	・米国の関税が15%になったものの、まだ不透明感が消えることはなく当面は様子見が続く。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・参議院選挙の結果により、長期で見ると給付や減税などを含め政策がどうなるか気掛かりだが、3か月程度では変わらない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・米国関税は着地点がみえており、この状況では客から設計開発費の見直しといった話は今のところ出ていない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	・新車販売は、前月に続き地元の大手自動車メーカーは好調を継続している。ほかにも好調に推移する会社もあるが、その他のメーカーは総じて需要が少なく厳しい状況が継続しそうである。
	□	職業安定所（職員）	・物価高や燃料価格高騰、猛暑や豪雨などの気象状況が、夏休み時期のレジャーや宿泊などの低迷に影響を与える懸念がある。業種により差があるものの、人件費、原材料や燃料費の高騰など企業が抱える課題が多く、大きな変化は期待できない。
	□	職業安定所（職員）	・企業は原材料価格や燃料費の高騰による影響を大きく受けており、物価高が続いているなかで、予測ができない。
	□	職業安定所（職員）	・中小企業においては、原材料価格やエネルギー価格の高騰などの影響で人件費に充てる予算の捻出が困難になっている産業が引き続き見受けられる。一部産業では人手不足が継続しているものの、物価の上昇に伴う国内消費動向の停滞、米国関税の影響への懸念から人手不足であっても新たな求人提出を控え、様子見をしている企業もあるとみられる。この先の経済動向が予測できない状況ではあるものの、現段階において大きな生産調整や雇用調整などの情報は入っておらず、景気動向について当面大きな変化は生じないと判断する。
	□	職業安定所（職員）	・物価上昇等が雇用へ与える影響に引き続き注意する必要がある。
	□	職業安定所（職員）	・米国との関税交渉が決着したことで、設備投資等が動き出すと考えるが、最低賃金の大幅な引上げ予想もあいまって、廃業等が多数発生している。
	□	民間職業紹介機関（窓口担当）	・前年と比べ求人数増加の傾向は変わらず継続するものの、求職者とのマッチングが課題のため、成約数としては横ばいの見込みである。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・現時点で今よりも良くなる、あるいは悪くなる兆候は特にみられない。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・人手不足のなかで、より優秀な人材を確保するために多様な手段を講じる企業が増加している。
	▲	職業安定所（職員）	・新規求人が前年同月比で減少している。企業収益について今後の動向を聞き取りしたところ、横ばい又は減少との回答が多かった。
	▲	学校〔専門学校〕（就職担当）	・前年同期と比べて2次募集の求人件数は若干減少しており、前年より充足している状況がうかがえる。
	×	人材派遣会社（社員）	・例年夏季は求職者の動きが鈍る。

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	◎	競輪場（職員）	・世の中の動きとして、給与の手取り額の上昇や給付金の給付、減税の動きが強まれば、娯楽に費やす費用も増えると考えられる。
(北陸)	○	コンビニ（店長）	・客が物価高に慣れてきたことにより、買い控えなどによる売上の減少はなくなっていくとみている。景気が良くなり収入が増加して購買意欲が高まってきたのか否かを見極めるには、数か月の観察が必要である。
	○	コンビニ（店長）	・全体的に物価上昇は継続しているが、政府による備蓄米の放出に伴い一部で値下がりしている関連商品もある。そういった商品を求める来客数の増加が期待でき、短期的に景気改善につながるとみている。
	○	コンビニ（店舗管理）	・米の仕入価格は現状よりも下がるとみている。
	○	衣料品専門店（経営者）	・商品の質を吟味して販売することにより、客の購買意欲が増すとみている。一層慎重に仕入れをすることで、販売が伸びると考える。
	○	乗用車販売店（経営者）	・秋口に向けて各メーカーで新型車の発売が予定されているため、業界全体で少し上向きになるとみている。
	○	一般レストラン（統括）	・外交面では米国による相互関税が15%で決着し、国内では参議院選挙で政権政党が敗北するなど国内経済に何らかの変化が出るとみている。景気はこれ以上悪い方向に向かうことなく、変わらない若しくはやや良くなっていくとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・都会では賃上げや株価高騰などの明るい話題が多いようだが、その効果が地方に波及するにはまだ時間が掛かるとみている。しばらくは厳しい状況が続くであろう。
	<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・来月上旬に比較的大型の最寄品店が開店する予定なので、人の流れが増えることが期待できる。
	<input type="checkbox"/>	一般小売店〔精肉〕（店長）	・物価高で、豚肉や鶏肉も高くなっており、売価の設定に非常に苦労している。利益が伴わず、売行きも厳しい。
	<input type="checkbox"/>	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・良くなる要素がなく、しばらく現状と変わらないとみている。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・9月も引き続き気温の高い日が続く、秋物衣料品の動きが鈍くなるとみている。米の価格については、当初は新米が出始めれば落ち着くと考えていたが、猛暑による水不足で稲の生育に影響が出ており、万が一不作となれば米の価格は下がることがなく、厳しい状況が続くと考える。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・高品質で高価格の商品が売れる一方で、低価格の商品を求める客も多く、買い方が2極化している。全体的にみれば、客単価や買上点数の変化は少なく、景気は変わらないとみている。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（仕入担当）	・商品の動きが上げ止まっているなかで、メーカーの製造能力の限界に起因する涼味商材の欠品、休売が多発しており、予断を許さない。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・天候は不順で、物価高による節約志向が強くなり、衣料品の購入などはより一層厳しくなっている。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（本部）	・景気は大きく変わらないと考えるが、今後の経済政策や補助金施策などで変動するとみている。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・猛暑日が続いているせいか来客数は減っているが、中古車の販売が好調である。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経理）	・商品に対する需要がまだまだ高い。
	<input type="checkbox"/>	住関連専門店（役員）	・これまで経験したことがないほど来客数が減っている。最近の来客数や消費の傾向は市況に大きく左右されている。非常に厳しい。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔酒〕（経営者）	・現在が最悪だと考えるしかない状態である。
	<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・前年から客単価に大きな変動はない。販売数で見ても、月ごとには変動があるものの、四半期単位では大きく変わる要素がない。
	<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・例年、秋口は県外から団体客の予約が多数入り、1年で最も受注が増える。今年も例年に近い受注で推移しているが、人手不足のため予約や定休日の調整が必須である。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（店長）	・暑さが続くことは外食産業にプラスに働くのではないかと期待している。
	<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・7月中旬から夏休み期間中の予約が増えてきたが、9月以降の予約はまだ空室が目立つ。
	<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経理）	・能登半島地震の発生以降営業しておらず、営業再開までにまだかなりの期間を要する。
	<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・この先も暑い日が続く、タクシーの利用が増えると考えられる。また、観光客も増加するとみている。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（職員）	・景気が良くなる要素は特にない。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・販売数や来客数は前年度と比較して大きな変化がみられない。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（役員）	・特段のイベントもないため、契約数は前年並みで推移するものとみている。
	<input type="checkbox"/>	パチンコ店（経理）	・参議院選挙が終わりどんな施策が講じられるか分からないが、大きな変化はないものとみている。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（営業）	・コストの上昇が収まらず、販売価格が徐々に上がり続けている。追い風要素は一切ないものの、これ以上は悪くなり得ない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	▲	商店街（代表者）	・久しぶりに売上が前年同月比で20%の大幅減少となった。これまで売上の中心であった日本人客の消費マインドの冷え込みが深刻である。最近の物価高を受けた生活防衛意識の高まりからか、客の来店頻度が明らかに減っている上、客単価も落ち込んでいる。特に、贈答用や自家用での高価格帯の伝統工芸品の動きが著しく鈍っており、客は消費を切り詰める傾向が強い。インバウンド需要の変動に加え、国内の基盤となる日本人客の消費が冷え込んでおり、非常に厳しい状況である。	
	▲	一般小売店〔事務用品〕（店長）	・猛暑で来客数が減るとともに、商品価格の上昇による購入数量の減少が続くとみている。	
	▲	百貨店（販売促進担当）	・天候の長期予報から、今年は残暑が長引き、短い秋を経て冬に移っていくとみている。物価高に対する客の心理や不安定な政局、人口減少など小売業にとって先行きは決して明るくない。	
	▲	百貨店（販売担当）	・当面下降傾向が続くとみている。夏の外出用化粧品、暑さ対策商材に対しては、若年層の購買意欲が高く伸長を見込んでいるが、低単価のため、売上全体を押し上げるには足りない。猛暑の影響により来客数は減少すると考えるが、夏祭りなどのイベントでカフェやピヤガーデンなどは前年を超えるかとみている。一方で、高収益の衣料品については夏商材を前年より増やしたが、購買が増えるかどうかは不透明である。8月末から9月初めに秋物衣料の投入を考えているが、高気温の影響で売れる見込みがないとみている。	
	▲	スーパー（総務担当）	・食料品以外でも物価の上昇は続くと考えため、景気はやや悪くなる。	
	▲	スーパー（役員）	・食料品などの値上げが続くとみている。	
	▲	家電量販店（店長）	・商品が壊れない限り、客に買換えの動きは余りみられないため、景気はやや悪くなると考える。	
	▲	家電量販店（店長）	・主要商品の単価が下がっている。通常であれば、気温が上がると季節商材の動きが良くなるが、今年は販売数が伸びていない。	
	▲	乗用車販売店（総務担当）	・価格に対する客の意識の高まりが購買行動に反映されているため、利益率を上げるのが難しい状況がしばらく続くとみている。	
	▲	スナック（経営者）	・国内外の関税問題や天候不順による農作物の不作などの影響で、景気はやや悪くなると考える。	
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・9月以降、インバウンドを中心に宿泊部門の予約は堅調だが、国内の団体旅行客は回復しないとみている。	
	▲	都市型ホテル（役員）	・夏休みに入り、スポーツ団体からの受注はあるが、ビジネスやレジャーでの利用は共に個人予約の動きが鈍く、客室販売価格を下げるなどの対応をしている。	
	▲	通信会社（役員）	・物価高が今後も継続する一方で、賃金上昇は抑制的になるとみている。また、米国による関税政策の影響は、今後輸出企業を中心に大きくなるとみている。	
	▲	テーマパーク（役員）	・先行きの予約状況を前年同期と比べると、特に団体客やインバウンドの予約が悪くなっている。	
	▲	美容室（経営者）	・米国との関税問題や政権政党の参議院選挙大敗による政局の不安定化など明るい話題がない。	
	▲	住宅販売会社（従業員）	・新規の分譲地は工事費が高くなり、販売価格に転嫁せざるを得ない。その上住宅価格も高くなっているため、客の購入意欲は落ちてくると考える。	
	▲	住宅販売会社（従業員）	・リフォームの受注が堅調であることに支えられている。住宅の新築については、能登半島地震の被災地からの契約が多いが、厳しい状況が続いている。今後の金利状況を注視したい。現場は暑い日が続き、工期が予定より遅れ気味である。	
		×	—	—
	企業動向関連	◎	—	—
(北陸)	○	一般機械器具製造業（経理担当）	・米国による関税政策の影響で、自動車関連や二輪車関連の完成車メーカーからの受注は低調であり、当面減産するなどの対応を取っている。一方、メンテナンスサービス市場での需要は旺盛で、生産が追い付かない状況が続いていることから、生産体制の立て直しが急務となっている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	一般機械器具製造業 (総務担当)	・産業用機械における米国の需要が増えている。関税の問題はあるものの、高い受注水準を保つとみている。
	○	電気機械器具製造業 (営業担当)	・現状は新規案件の動きが活発化しているが、量産に向けた動きは依然不透明であり、今後3か月程度で量産品の受注が上向くという状況にはなっていない。ただし、量産品のなかでも特に自動車関連はある程度順調に生産数が伸びており、受注状況は若干上向くとみている。
	○	建設業(経営者)	・県や市による工事の発注は少ないが、国からは国土強靱化基本計画に基づき安定的に工事が発注されるとみている。
	○	税理士(所長)	・参議院選挙が終わり、米国の関税問題が決着したことで、空気が変わったようである。外出機会が増え、特にB to Cの売上増加が期待できる。
	□	食料品製造業(経営企画)	・唯一の明るい材料は、中国の日本産水産物輸入停止措置が緩和されることである。
	□	プラスチック製品製造業(広報)	・受注量や販売量の見込みに特段の変化がみられない。
	□	金属製品製造業(経営者)	・2~3か月先の受注状況から景気は変わらないとみている。
	□	建設業(役員)	・依然として先行きが不透明で、今後の受注量の拡大は見込めない。
	□	輸送業(管理会計担当)	・企業間物流の物量に変化の兆しがない。
	□	不動産業(経営者)	・法人からの問合せが少なく、個人客の情報も少ない。
	□	司法書士	・高額な借入れを伴う新築物件を多くみるようになったが、今後住宅ローン金利が上がるのが予想され、どのような状況になっていくのか不明である。
	▲	繊維工業(総括)	・日米関税交渉の合意内容については、交渉がまとまらないという不透明感が払拭されて良かったと評価する声がある。一方で、15%という数字自体は決して低くなく、関税分の価格転嫁が進まなければしわ寄せを受けると心配する声が多い。
	▲	輸送業(経理)	・景気が良くなるきっかけがない。
	▲	金融業(融資担当)	・日米関税交渉の決着が見えつつある。当初提示された関税率よりも引き下げられたものの、各企業の負担増加が顕著である。物価や人件費の高騰に加え、米国関税による更なる負担増加で厳しい状況が続くものとみている。
	▲	金融業(融資担当)	・当県は機械製造業関連の取引先が多いため、米国関税の影響が出始めることが懸念される。取引先からは、主要な機械製造企業の業績悪化に伴う受注減少を心配する声が出ている。
	×	—	—
雇用 関連 (北陸)	◎	—	—
	○	新聞社[求人広告] (担当者)	・求人広告への問合せ数が増加している。
	□	人材派遣会社(社員)	・求人数、求職者数共に変動がない。アンマッチが継続している。
	□	新聞社[求人広告] (営業)	・景気が悪化している様子はないが、消費マインドが上向いている様子もみられない。
	□	職業安定所(職員)	・多数の事業所から、米国の関税政策の影響は多少あるかもしれないが、業況については今までと特に変わらないと聞いている。
	□	職業安定所(職員)	・人件費や原材料費、燃料費、水道光熱費の高騰などにより企業を取り巻く環境が厳しくなり、有効求人倍率は徐々に下がっている。また、8月から適用される予定の米国関税により、先行きを不安視する事業所も少なくない。
	□	民間職業紹介機関(経営者)	・求人動きは業界によりばらつきがあるものの、大きくは変わらない。求職者数も頭打ちの状況で、全体的に大きな変化は期待できない。
	□	学校[大学](就職担当)	・物価上昇や円安、能登半島地震、豪雨災害の影響に加え、米国の関税政策や参議院選挙の影響が懸念され、状況が好転する要素や気配がみられない。
	▲	人材派遣会社(役員)	・新規顧客が増えていない影響が2~3か月後に出るとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	職業安定所（職員）	・企業からは物価高の影響を価格に転嫁できないという声が出てきている。
	×	—	—

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)	◎	*	*
	○	一般小売店〔鮮魚〕 (営業担当)	・9月以降の予約が増えつつある。
	○	百貨店（販促担当）	・参議院選挙が終わったほか、米国による関税問題もひとまず落ち着き、株価も安定しているため、富裕層の動きの活発化が期待できる。不確定要素がなくなり、消費への興味に戻るタイミングとなるため、高額品の販売会などの仕掛けを強化したい。一方、日用品には大きな変化がなく、秋の気温の推移に注意しながら商品展開を考えていく。
	○	百貨店（外商担当）	・世界の政情不安のほか、国内でも政治の不安定さが懸念されるものの、全体的には株価の上昇が続いて富裕層の消費意欲が刺激されることで、高額品を中心とした商品が売れ、売上全体が押し上げられる。
	○	百貨店（マネージャー）	・現状が余り良くない理由の1つはインバウンドであり、大地震の予言が異常な広がりを見せ、中華圏からの訪日客が明らかに減少している。特に顕著なのは香港からであり、前年比では8割の減少となった。理由の2つ目は国内客の停滞であり、政情不安もあって消費意欲が低い。前年の売上の維持が精一杯であるが、インバウンドの減速は1～2か月後には解消されるため、今後はやや良くなると予想される。
	○	スーパー（企画担当）	・夏休みやお盆の時期的な催事により、年間を通して売上伸びる時期となり、鮮魚や総菜の需要が増える。盛夏商材や米の需要も高止まり状態となっているため、売上の増加につながりそうである。ただし、猛暑の影響による野菜相場の高騰が懸念される。
	○	コンビニ（経営者）	・乗客数は今の高水準を維持できそうであるほか、更なる値上げが続くため、客単価の上昇も期待できる。
	○	コンビニ（経営者）	・当地域では、秋祭りの時期が人出の増えるピークとなる。
	○	コンビニ（店員）	・現状は、日中の暑さなどで外出を控えている可能性もあるが、夏休みは再び忙しさが戻ると予想される。
	○	コンビニ（店員）	・来月までは夏休みの影響で、域外からの客の来店が多くなる。
	○	乗用車販売店（支店長）	・年末にかけて株式市場は更に活況となり、富裕層の資産が増えることで、消費意欲が高まることが予想される。
	○	乗用車販売店（役員）	・米国の関税問題も落ち着き、株価も上昇しているため、富裕層の購買に期待が持てそうである。ただし、一部の消費者に対する恩恵にとどまる一方、人口の減少や物価上昇といった問題は続くため、大幅な販売台数の増加は見込めない。
	○	一般レストラン（経営者）	・3か月後には暑さが和らぐため、人通りが戻ってくる。
	○	都市型ホテル（フロント）	・まだ大阪・関西万博の開催中であり、特に9月は企業の研修旅行も多く、問合せも増えている。11月も紅葉シーズンとなるため、稼働率、単価共に高い水準が維持できると予想される。
	○	都市型ホテル（客室担当）	・9月以降の予約は前年を少し上回るペースで推移している。特に、Web経由の予約が比較的好調に取り込めている。
	○	タクシー運転手	・酷暑が続くことから、現状維持が予想される。
	○	タクシー運転手	・大阪・関西万博の影響や、暑さがしばらく続くため、気温との兼ね合いもあるが、タクシーの需要は増える。
	○	その他住宅〔展示場〕 (従業員)	・住宅価格の高騰を背景に、最近は中間層よりも資金の潤沢なシニア層の成約が増加傾向にあり、今後もこの傾向は続くと思われ。
	○	その他住宅〔住宅設備〕 (営業担当)	・参議院選挙の結果、政治が良い方向に向かい、減税でサラリーマンの手取りの増加が期待できる。
	□	商店街（代表者）	・業種に限らず、低価格商品の動きが良い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	一般小売店〔手ぬぐい〕（経営者）	・引き続き、大阪・関西万博による需要が出てくる。
	<input type="checkbox"/>	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・この暑さで業績は伸びないが、お盆に向けて、多少の販売量の増加が期待できる。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・社会情勢や景気の先行きが不透明で、客も消費に慎重な姿勢になっている。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・米国の関税による影響は不透明であるが、円安傾向で免税売上が少し回復しそうなほか、直近の株価の上昇で、高額品の売上には少しプラスの影響が出る可能性がある。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・米国の関税引下げの報道後は、株価は上昇したものの、必ずしも関税の引下げ合意が実行されるとは限らない。少なくとも、現状よりも良くなる要素は見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（広報担当）	・8月以降は免税売上が前年比でやや回復する見込みであるが、国内客の消費マインドには余り変化はないと予想される。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（サービス担当）	・前年に好調であったインバウンドが、その反動で前年割れとなる傾向は続くとみられる。一方、大阪・関西万博関連商品の売場は後半を迎え、インバウンドによるリバウンドの動きや、夏休みの家族客の増加による売上の拡大が期待される。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（管理担当）	・大阪・関西万博が終了を迎える10月までは、好調が続くことを期待したい。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（販売推進担当）	・大阪・関西万博も閉幕するため、今よりも景気が上向く要素が見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	・インバウンド消費が減少し、国内客の中間層や富裕層の消費が現状維持となることで、全体で微減となる傾向に変化はない。来客数は横ばいであるが、国内客の中間層による低価格志向が続くなか、購買量の減少による客単価の低下への対応が必要となる。また、新たなイベントによる集客の増加も今後のポイントとなる。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（営業推進担当）	・改善する要素が余りない。前年のような厳しい残暑とならず、秋らしい季節の到来が早まれば、多少の改善が見込まれる。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（外商担当）	・インバウンドの売上は高止まりの状況が続くようであるが、国内客の動向には不安材料がみられる。今後は、気候や物価上昇の影響だけではなく、複雑な動きとなることが予想される。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	・異常な暑さで米の収穫量に影響が出るようであれば、食費の節約が続く恐れもある。また、9月、10月も暑さが続く予想であり、秋らしい期間が短くなるのはマイナスと考えられる。一方、大阪・関西万博が終了すれば、そちらに向かっていた消費が少し戻るといった期待はある。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（宣伝担当）	・一部の富裕層を除き、売上の大部分を担う国内中間層の売上が落ち込んでいる。消費に対する価値観も変わり、これまで起爆剤となっていた優待や値引きによる売上効果が得にくくなっている。現在取り組んでいる施策の効果が出てくるまでは、苦戦が続くと予想される。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（売場マネージャー）	・猛暑による外出の自粛が続き、国内外の情勢も不安定ななか、依然として先行きは不透明であり、大きな変化はないと予想される。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（売場統括）	・米国の関税引下げにより、富裕層の売上は好調を維持するものの、インバウンドの売上は円安が大幅に進まない限り、前年の3～7月頃の水準には戻らない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・食品の値上げ傾向は変わらず、米国の関税に対する懸念も払拭できていないため、消費者の生活防衛姿勢は続く。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・手取り収入が増えなければ、消費は増えないが、収入の増える要素が見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・物価の上昇が抑制されるか、それを吸収するだけの収入の増加がなければ、回復に向かうことはない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・競合先の出店予定もなく、現状のままと予想される。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・猛暑や雨不足、台風の到来といった天候要因により、農産物を中心とした物価に大きな影響が出そうである。少なくとも物価の下がる要素は少なく、食費やレジャー代などの節約意識は強まるとみられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	スーパー（企画）	・食料品価格だけではなく、物価全体が上がっており、消費環境が厳しいことには変わりはない。また、酷暑によるエアコンの使用が増えており、各家庭では電気料金が高くなると予想され、その影響が出ることを心配している。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（企画）	・8月は新米の動きもなく、現状のまま推移すると予想される。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・大阪・関西万博が10月13日まで開催され、今後は終盤に入るため、来客数が増える。暑さが落ち着けば販売量は少し落ちてくるが、来客数の増加でカバーできる見通しである。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・物価上昇の影響が続いているため、先行きが心配である。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・物価の上昇もあるが、必要最低限の消費はあると予想されるため、特に大きな変化はない。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・大阪・関西万博が終わるまでは、外国人客の増加が続く。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・物価がどんどん上がる一方、賃金は変わらないという状況のなかで、景気の回復はあり得ない。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・地域の高齢者が多く来店しているが、年金生活者には長引く物価上昇が痛手となっている。また、国内政治や海外情勢への不安を口にするなど、不安感が広がっている。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・引き続き、物価の上昇や米国との通商交渉は先行きの不安が拭えない。また、参議院選挙の結果による影響が不透明なため、先行きが懸念される。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店員）	・年々、夏の気温の高い時期が長期化している。秋物商材が徐々に入ってきているが、それほど動いていないため、現状からは変化がないと予想される。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売担当）	・物価上昇の影響で、衣料品を買う人が減っている。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（経営者）	・一定の補助金効果が続くものの、景気を押し上げるまでの効果は期待できない。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・当社への直接的な影響はないが、大阪・関西万博の開催中はインバウンド需要も増えるため、しばらくはにぎやかとなる。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・新車の販売が余り良くなく、車検の予約も入ってこない。また、この暑さで仕事の効率も落ちている。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・仕入れも弱気で、設備投資も弱気であるほか、販売も弱腰となっている。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・米国による関税問題や物価の上昇で、商品価格が不安定なこともあり、様子見の動きが続いている。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・働く世代の賃金が上昇しなければ、販売量が大幅に増えることはない。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・販売台数は安定しているため、今後も現状の動きが続く。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・季節商材の売上は伸びる一方、その他の商材の売上は現状維持となる。ただし、大阪・関西万博への来場に伴う、インバウンドの来店は増えると予想される。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・米国の関税問題は一旦決着したが、今後の政局運営には不確定要素が多い。景気の予測は難しいものの、大きく景況感が変わることはないと予想される。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・夏物商材やスキンケア、ボディケア用品の動きは順調であるが、季節商材を除くと全体的に横ばいが続いている。食品などの生活必需品は好調に推移している一方、食品の値上げも続いているなかで、大きな改善要因は見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・季節の変わり目となるため、今の状態が続くと期待される。
	<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（総括）	・政治の動きが不安定なほか、物価の上昇や米国の関税問題による先行き不安や、天候不順もあり、積極的な消費にはつながらない。
	<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・この猛暑が落ち着くまでは、人の流れは期待できない。
	<input type="checkbox"/>	高級レストラン（企画）	・大阪・関西万博の開催効果は一部のエリアに限定されており、国内旅行の需要の増加が業績の改善にはつながらない。また、インバウンド需要も前年比で低迷しているなど、改善の兆しがみられない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・米国の関税問題に振り回されている状況では、景気の回復に不安要素が残る。また、猛暑の影響で仕入価格の上昇が予想されるため、景気が良くなる期待は薄い。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（企画）	・米国の関税が日本に与える影響が不透明なほか、参議院選挙を終えて、減税問題がどうなるのかも見通せないなかで、経営環境は更に厳しくなると予想される。
	<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・政治が不安定となり、目立った経済政策もないなかで、物価の上昇が消費者の生活を困窮させている。
	<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・8月は個人客が中心であり、例年よりも少し厳しい状況となる。ただし、9月、10月は再び大阪・関西万博への来場目的の団体客が増えるため、来客数は伸びることが予想される。
	<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（スタッフ）	・海外からの団体客や個人客の需要で来客数は増えているが、単価の上昇は見込めない。国内の個人客によるイベント利用も例年並みに受注できているが、酷暑で利用が減少する動きもみられる。レストランはバスツアーでのランチ予約で、収入が伸びている。
	<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（客室担当）	・大阪・関西万博の閉幕による影響が懸念される。
	<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（管理担当）	・政権の動向など、今後は良くなる材料がほとんどない。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（支店長）	・大阪・関西万博が終わるまでは、状況は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	通信会社【貴金属オークション】（経営者）	・現状からの更なる上昇は期待できない。米国の関税問題のほか、国内外の情勢がまだまだ不安定ななか、消費意欲が高まらないため、金相場が上昇しても、その効果が相殺される可能性がある。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・例年この時期は客の動きが鈍いため、今後も例年どおりの動きが予想される。
	<input type="checkbox"/>	観光名所（企画担当）	・大阪・関西万博の終了までは、国内客の減少が続くと予想され、終了後の増加に期待している。
	<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・参議院選挙の結果を受けて、経済対策などの先行きが不透明となっている。2～3か月で大きく景気が後退することはないものの、少なくともプラス材料は見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	競艇場（職員）	・賃上げなどのプラス材料と、物価上昇や社会情勢の不安定化というマイナス材料があり、どちらの影響が大きくなるかの見極めは難しい。
	<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設【イベントホール】（職員）	・販売量はここ数か月で大きな変化はなく、人件費や物価の上昇はあるものの、利用料をすぐに上げることはできない。経費の削減努力によって、売上が維持されている状況である。
	<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設【球場】（経理担当）	・夏休み期間中となり、8月にはプロ野球の人気球団の試合が5試合開催されるほか、多くのコンサートも開催されるため、前年並みの来場者が見込まれる。
	<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設【飲食・物販系滞在型施設】（企画担当）	・大阪・関西万博が終わるまでは、厳しい状況が続くと予想される。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	・仕入原価が落ち着いてくれば、価格転嫁も可能になると予想される。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・都心部は、オフィスやホテル、共同住宅など、様々な物件の動きが好調であり、各社が新規開発に積極的な状況がしばらく続く。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（総務担当）	・住宅販売が好転する材料は見当たらないが、金利が下がれば少し期待が持てる。
	<input type="checkbox"/>	その他住宅【情報誌】（編集者）	・世界経済の先行きは不透明であるものの、大きく崩れる要素はみられない。建築コストの高止まりや、今後の更なる上昇予想を考えると、価格が下がる可能性は低いとの見方が多い。
	<input checked="" type="checkbox"/>	商店街（経営者）	・連日の暑さで客足が減少している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一般小売店【時計】（経営者）	・食料品を始め、あらゆる物価が徐々に上がり、客からは生活が厳しいとの話が出ている。米の価格は先行きが不透明で、先が読めない一因にもなっている。業界にヒット商品はあるが、販売ルートは限られているため手が出せない。2～3か月先も淡々と過ごすしかなく、期待はできない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	一般小売店 [化粧品] (経営者)	・購買意欲の戻る要素は、引き続き見当たらない。好調な商品はセールスプロモーションがうまくいった場合に限られ、高輝度系の化粧品は成長が見込めない。10月から販売を予定しているクリスマスコフレの単価は、前年よりも少し下がっているため、来客数を増やさない限り、厳しくなると予想される。
	▲	一般小売店 [衣服] (経営者)	・この先も物価は上昇する見込みであるが、実質賃金が上がらなければ、景気はますます悪くなる。それと同時に、世界の社会経済情勢が不安定ななか、先行きを楽観視できる要素は何もない。
	▲	一般小売店 [雑貨] (店長)	・物価が上昇しても、賃金は上がらない。
	▲	一般小売店 [野菜] (店長)	・日本が混迷の時代に入りそうで、先行きは不透明であるが、良くなる要素はない。
	▲	一般小売店 [呉服] (店員)	・お盆を過ぎると浴衣が売れなくなる。これだけの暑さのため、着物を着る人が減少する。
	▲	百貨店 (商品担当)	・米国の利下げ見通しは不透明ななか、今後は円高傾向も予想され、インバウンド売上は厳しい状況が予想される。唯一好調な食料品の催事による集客を、全館の買い回りにつなげる戦略に注力したい。ただし、大阪・関西万博の終了後は関連の売上もなくなるため、更なる売上の減少が予想される。
	▲	百貨店 (商品担当)	・国内の政治問題や米国の関税問題など、国内外の不安定な状況が落ち着くまでは、回復はしないと予想される。
	▲	スーパー (経営者)	・全体的な物価の上昇で、客の消費が落ち込んでいる。
	▲	スーパー (店員)	・今後は北海道産の商品が多くなる時期であるが、北海道も暑くなれば入荷数が減ることから、状況は非常に厳しくなる。
	▲	スーパー (販売促進担当)	・米国の関税による影響がどこまで出るかは読めないが、景気の先行き不透明感で財布のひもが固くなることが懸念される。
	▲	スーパー (開発担当)	・有効な景気対策の効果がなく、参議院選挙で政権政党が議席を減らした。これで景気が良くなるとは考えられず、新たな政策の提示が求められる。
	▲	スーパー (社員)	・客の節約志向の高まりによる、ディスカウントストアや低価格店舗への客の流出は、当面続くことが予想される。
	▲	家電量販店 (店員)	・政府の対策が具体的に動かなければ、消費者の不安だけが高まり、景気が上向かない。特に消費税率の見直しが急務とみられる。
	▲	家電量販店 (店員)	・例年と比べると、エアコンは北海道以外では売れておらず、今後は時期的に更に売れなくなる。2027年問題を客に伝えても、マスメディアで大々的に取り上げられなければ、客の買換え意欲は高まらない。
	▲	家電量販店 (人事担当)	・猛暑日が続くことで、日中に外を歩く機会の減少が懸念される。また、猛暑に必要な家電は既に購入済みのため、今後の売上にも期待できない。
	▲	乗用車販売店 (経営者)	・米国の関税による悪影響が出る。
	▲	その他専門店 [食品] (経営者)	・物価上昇の影響で、全体的な消費量の落ち込みが予想される。価格が更に上がる商品も多いため、今後は更に悪くなる懸念がある。
	▲	その他専門店 [宝飾品] (販売担当)	・地金相場の上昇傾向が続くなか、在庫品が売れた際に、同じレベルの商品の仕入れが難しくなっている。
	▲	一般レストラン (店員)	・何もかもが値上がりし、所得が増える見込みもないため、外食に行く客は減少する。
	▲	その他飲食 [洋菓子] (管理担当)	・10月までは天候による悪影響が予想される。
	▲	観光型旅館 (経営者)	・物価の上昇に加え、今夏の日照りの影響による農作物への影響が危ぶまれる。また漁業関係でも、この暑さで魚が獲れなくなっている。
	▲	観光型旅館 (経営者)	・予約状況が非常に悪い。
	▲	旅行代理店 (従業員)	・政局の混迷による悪影響が出る。
	▲	旅行代理店 (支店長)	・大阪・関西万博終了後の客の旅行マインドについては、万博疲れで外出を控える傾向となる懸念がある。実際に、秋以降の旅行の申込みは停滞気味である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	旅行代理店（役員）	・参議院選挙の結果を受け、政治不安は今後も続く予想される。毎月のような食品を中心とした値上げも続く見込みであり、レジャー向けの予算はますます減少すると予想される。
	▲	通信会社（経営者）	・円安傾向の継続が予想される。
	▲	通信会社（社員）	・キャリア契約者の純減が止まらない。他社からの乗換えを強化しても、他社への転出が増えている。
	▲	通信会社（役員）	・前年比で販売量が減少傾向にある。サービスを含む多くの品目が値上げとなり、客の購買意欲の低下が進んでいる。
	▲	ゴルフ場（支配人）	・予約状況や来場者の入込状況は徐々に悪化している。物価の上昇に対し、単価の引上げはなかなか難しいため、今後も徐々に悪くなるのが予想される。
	▲	競輪場（職員）	・例年の傾向からやや悪くなると予想され、これを覆すような要素は見当たらない。
	▲	その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・夏休みであるにもかかわらず、思ったほど新規入会の動きがみられない。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・現政権に関する動きにより、景気の一時的な停滞や鈍化が予想される。
	▲	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・米国の関税問題や物価上昇の影響で、消費が減っていくと予想される。
	×	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・政局の不安定化による悪影響が出る。
	×	一般小売店〔ガラス細工〕（店長）	・参議院選挙が終わったが、政策が進むようにはみえず、期待感やスピード感はない。具体的で迅速な対応が必要な時期に停滞感が広がっており、消費者が安心できる情報発信もなされていない。
	×	一般小売店〔書籍〕（管理担当）	・大阪・関西万博の終了後は、売上の減少が予想される。
	×	百貨店（売場主任）	・食料品の売上で前年を大きく上回っているのは、米売場のみである。銘柄米の単価は高止まりしたままであり、備蓄米の食味の悪さもあって、客は戻ってきている。ただし、米価格の高騰がその他の商品の買い控えにつながっており、全体的な売上の底上げには程遠い。
	×	衣料品専門店（経営者）	・婦人服は、旅行に行ったり友達に会ったりという目的で購入されるため、今は余裕がなく、目的となる行動を控えている人が多く売れない。
	×	衣料品専門店（経営者）	・物価上昇対策で減税や給付金の議論が続いているが、価格の上昇傾向は続く予想されるため、消費マインドが改善する要素は見当たらない。
	×	家電量販店（店員）	・限られた需要のなかで、競合他社も店舗の新設などを進めていることで、更なる客離れの動きが懸念される。当面は価格の安さが最優先である以上、ある程度の薄利多売は覚悟した対応が求められる。
	×	家電量販店（企画担当）	・これだけ酷暑が続けば、日中に外出せず、耐久消費財の買い回りがなくなるため、壊れるなどの必要性がなければ家電の購入には至らない。また、住宅設備や水回りなどのリフォーム関連も同様である。
	×	住関連専門店（店長）	・コストアップに耐えかねて販売価格を改定したが、その後は売行きが鈍化した。客の様子をみると購買に意識が向かっておらず、最初から買うつもりのない来店も増えている。
	×	その他飲食〔ジャズバー〕（店員）	・物価上昇による影響のほか、社会保険料の負担が大き過ぎる。
企業動向関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・毎年、夏は注文が減少する傾向があり、今年も8月の受注量は通常月の半分程度となるなど、売上、利益共に減少している。2～3か月後はまた平常に戻ることが予想され、従来の商品に加えて、新たな品目の開発を目指している。
	○	食料品製造業（従業員）	・他社の販売価格も少しずつ上がっており、このまま価格を維持できるかどうかで売上は変わる。他社も同じ状況であり、しばらくは大幅な値引きもないため、少し良くなっていく。
	○	食料品製造業（営業担当）	・しばらくは猛暑日が続き、残暑も厳しくなりそうのため、飲料の売上はやや良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・大阪・関西万博が終了する頃に、若干の駆け込み需要が発生すると予想している。
	○	化学工業（企画担当）	・夏の消費低迷期であるが、米価格の高騰の影響もあり、パン類の消費は高水準となっている。さらに、米の代替需要で袋麺の売上も伸びたことから、販売量は例年ほど減少していない。
	○	金属製品製造業（経営者）	・まだ不透明な部分は多いが、米国による自動車の関税問題が決着したため、今後の計画が立てやすくなり、荷動きも良くなる。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・気温が下がってくるほか、9月の異動時期の到来などで、やや良くなる。
	○	金融業（営業担当）	・今後の政策次第ではあるが、消費税の減税が鍵となる。
	○	広告代理店（営業担当）	・例年、10月以降は広告の予算消化で需要が増える。
	□	食料品製造業（管理担当）	・大阪・関西万博が終わるまでは、このまま順調に推移する見込みである。
	□	繊維工業（総務担当）	・和装への需要が減っているわけではないが、値下げ競争が激しく、経費分の利益が確保できなくなりつつある。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・このところは同じような動きが続いており、今後も継続する見込みである。
	□	化学工業（経営者）	・一時期の悪い状況は脱したが、景気回復に力強さはなく、現状維持が続くと予想される。
	□	化学工業（製造担当）	・収入と支出のバランスに変化はないと予想される。
	□	プラスチック製品製造業（経営者）	・当社の売上は現状維持を続けており、先行きの見通しも暗くないが、全体的に2～3か月では変化がないと予想される。
	□	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・米国の関税は引下げとなったものの、大きな景気回復材料にはならない。相変わらず物価の上昇が続くなか、景気の基調は変わらないと予想される。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・現在の景気の低迷が、数か月で改善することはない。
	□	一般機械器具製造業（設計担当）	・消費者が物価上昇に対応した購買動向となり、企業との間で微妙なバランスを保っている。ただし、後は農産物の収穫量次第で、下振れとなる可能性はある。
	□	電気機械器具製造業（経理担当）	・今期に入ってから、おおむね順調といえるペースが続いている。ただし、業界ごとの動きの違いは大きく、一概に楽観はできない。
	□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・先行きの不透明感が拭えない。
	□	建設業（経営者）	・米国の関税引上げによる、建設資材価格の高騰や不足が心配である。今後の動向を注視しながら対応を検討していく。
	□	建設業（経営者）	・酷暑の影響もあり、需要が増えにくいと予想される。また、建設現場での施工も効率が下がっているため、売上にも悪影響が出る。
	□	輸送業（商品管理担当）	・例年は酒の売上が伸びる時期であるが、今年は変化がないため、今後も良くなる見込みがない。
	□	輸送業（営業担当）	・客を引き付けるようなキャンペーンもないため、売上は横ばいとなる。
	□	金融業〔保険〕（経営者）	・米国による関税問題や国内での政治不安により、不安定な状況が続くとみられる。
	□	金融業（営業担当）	・取引先に受注状況を確認しても、増加するといった良い話はない。
	□	司法書士	・物価上昇の継続や米国の関税問題など、良くなる要素が見当たらない。
	□	経営コンサルタント	・大阪・関西万博が終了すれば、一旦、過度なインバウンドの動きは落ち着くが、中長期的にはインバウンドがもたらす好景気は続きそうである。
	□	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・特に大きく変わる要素がない。
	□	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・大阪・関西万博もいよいよ閉幕に近づき、来場者の動きがピークを迎える一方、物価は相変わらず高い状態のままであるため、政府の物価高対策に期待したい。
	▲	化学工業（管理担当）	・米国の関税による影響が警戒される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	建設業（経営者）	・住宅省エネ基準の強化の影響でコストが更に上がり、住宅営業は厳しい状況が予想される。また、異常な暑さで施工効率は悪化するため、工期の遅れが懸念される。
	▲	通信業（管理担当）	・米の価格は、備蓄米の流通によって下がる傾向となるものの、気温の上昇による野菜価格の高騰に加え、卵などの価格も高騰することで、景気は悪くなる。
	▲	不動産業（営業担当）	・繁華街での店舗の撤退が続いている。今後ますます実店舗の存在価値が薄れることで、店舗の空室率が上がる。不動産関連の景気が悪化することで、当市全体の景気も悪化していく。
	×	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・インフレの慢性化に伴い、消費者の財布のひもが固まっている。
	×	輸送業（経営者）	・現状に加えて、更なる契約打ち切りの話が出ている。取引先は、経費の削減は配送費を減らすしか手段はないと考えている。
	×	輸送業（営業担当）	・お中元の荷物が前年の2割減と、過去最低の数量となっている。
	×	金融業〔投資運用業〕（代表）	・経済を上向きに引き上げられなければ、このまま消費者の困窮状態は終わらない。一般の消費者と大手企業の景況感が反比例していることが残念である。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・物価高対策が進んでおらず、今後の見通しが立たない。
雇用 関連 (近畿)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（役員）	・賃上げ効果が徐々に始まるほか、好条件での転職志向が強まり、求職者の動きが更に活発化していくと予想される。
	○	人材派遣会社（支店長）	・米国による関税が15%に落ち着き、先送りになっていた案件が決まり始める。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・広告出稿の見込みでは、大阪・関西万博関連の出稿やプロモーションの引き合いがあり、前年比、前期比共にプラスとなりそうである。
	○	職業安定所（職員）	・求人数がやや増加傾向にある。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・徐々に求人数が回復するほか、求職者も大阪・関西万博での就業者が閉幕後はフリーになるため、増えることが予想される。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・2026年卒採用の苦戦を受けて、秋冬以降のインターンシップやオープンカンパニーの広報に力を入れる企業が増えると予想され、イベント出展の増加が期待できる。
	□	人材派遣会社（管理担当）	・大阪・関西万博の終了までは、比較的良好な人材が万博に集中するため、現在の状況が続く。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・米国による関税問題の影響で、求人をためらう企業が多く、求人の動きに影響が出ている。国内で事業を行っている企業には大きな影響もなく、求人数は確保できているものの、募集時給の上昇はみられない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・大阪・関西万博の閉幕後、万博での就業者が新たな仕事を探すと予想されるが、求人条件と合うかどうかは不透明である。
	□	求人情報誌製作会社（営業担当）	・短期的に景気は変化することはない。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・参議院選挙が終わって政治にも動きが予想されるが、短期的に大きな変化はない。
	□	職業安定所（職員）	・有効求人数は減少傾向にある一方、有効求職者数は微増となっている。人手不足や物価の上昇が、引き続き企業経営に悪影響を与えており、持ち直しの動きには依然として弱さがみられる。
	□	職業安定所（職員）	・大きな求人数の変動は見受けられないため、今月ほど悪くはない。
	□	職業安定所（職員）	・企業の手不足感が強いなか、物価の上昇が雇用に与える影響は未知数である。求人数は増加傾向にあり、求職者数は減少傾向にあるが、おおむね就職件数や充足数に大きな変化はないと予想している。
□	民間職業紹介機関（職員）	・建設現場の増減は少なく、求人数も変わらないと予想される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・医療機関も、雇用が充足することで業績の安定につながると予想される。人材不足を背景とした売手市場の状況は、若年層の就職活動にとって悪くはないが、雇用の充足が業界全体に広がるような政策が望まれる。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	・米国の関税による先行きの不透明感から、人材の募集や設備投資をためらう動きが出ている。今後は米国の関税問題の方向性がみえてきたことから、これまでの様子見の状況から、具体的な対応の動きが出てくると予想される。
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	・米国の関税問題で、中小企業の業績も厳しくなることが予想される。また、大手企業と異なり、賃上げできずに採用に苦戦している状況のため、将来的にも厳しくなる。
	×	—	—

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (中国)	◎	バー（経営者）	・サービス向上の効果が出る。
	○	一般小売店〔茶〕（経営者）	・依然として抹茶の売行きが好調で、原料が確保できている間は何とか好調に推移する。
	○	コンビニ（店長）	・真夏が最盛期なのは毎年の傾向なので、秋口になると落ち着いてくるとみられる。
	○	コンビニ（支店長）	・米国の関税交渉が終了し、景気がやや回復すると予想する。
	○	コンビニ（副地域ブロック長）	・猛暑で夏休み需要が期待できるが、熱中症警戒アラートが出ると正反対の影響が出る。
	○	乗用車販売店（店長）	・人気車種の新型車の発表を控えており、市場の動きは良くなると考えられる。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・同業種他店の状況は良くなってきている様子で、市場の動向も改善してくると予想される。当社も即対応できる準備を進めておきたい。
	○	一般レストラン（経営者）	・今以上に景気が悪くなれば、営業の継続は難しくなるため、景気が上向くことを期待する。
	○	観光型ホテル（予約担当）	・例年紅葉シーズンになると個人客も団体客も増える。既に予約も入っており好調である。
	○	都市型ホテル（宿泊担当）	・秋の行楽シーズンを迎えるに当たり、インパウンドの増加が期待できる状況であり、現状からは好転するものと予測している。
	○	タクシー会社（営業所長）	・芸術祭の夏会期開始に伴い、市内宿泊施設が盛況と聞いている。観光タクシーの受注増加を見込んでおり、乗務員の出勤シフトを今から調整している。
	○	通信会社（企画担当）	・現状、購買数に特段の変化はないものの、物価上昇が続いている状況で、家計の備えとして消費を控えるといった発言は少なくなってきた。必需と判断すれば、購買に向かう傾向が少し強まっていくのではないかと予想する。
	○	通信会社（運用担当）	・夏休みに向け、客の購買意欲が活発になる。
	○	観光名所（統括マネージャー）	・夏休み期間に入り、来館者数が新型コロナウイルス感染症発生前を超える日が多くなっている。
	○	ゴルフ場（営業担当）	・今のところ、9月と10月の予約は好調である。夏のゴルフを控えていた客が秋になれば戻る。
	○	競艇場（企画営業担当）	・9月下旬には全国発売のレースがあるため、十分な売上が確保できる。
	□	商店街（代表者）	・商店街への新規出店店舗の予定があり、少しずつ注目されているようだが、にぎわい創出とはすぐにはならないと思われる。
	□	商店街（理事）	・来客数は減少し、物価高も続いているため、これ以上景気が悪くなることは避けたいが、判断材料がない。
	□	商店街（代表者）	・購入意欲がある客が増えており、現状のまま推移することを期待する。
	□	商店街（代表者）	・米国の関税が日本へどれほど影響するか分からない。
□	一般小売店〔食品〕	・顧客の消費支出状況について、今後も変化はないとみられる。	
□	一般小売店〔印章〕（経営者）	・原材料の大幅値上げもあり、良くなる兆しはない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・涼しくなれば忙しくなる。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（広報担当）	・米国の関税問題、国内の政治情勢など、先行きが不透明であるが、大きな変化はないものと見込む。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・先行きが見えない。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・ハイブランドの限定品買い傾向は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（外商担当）	・物価高に伴う個人消費の低迷は今後も続く。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（総務・経理担当）	・国内政治の不安定さ、米国の関税の先行きが不透明である。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・賃金については、確実に上昇している。野菜の価格相場は落ち着いてきたが、米を筆頭に精肉や加工品等については高止まり又は上昇し続けている。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・この1年半以上、毎月のように値上げが発生している。収入以上の値上げといった形になっており、客の動きに変化はない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・食品の値上げが続くなか、大きな景気政策もみえない状況で、景気が回復するとは考えにくい。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・大きく状況が変化する材料が見当たらず、現状が継続するとみられる。1品単価は更に上がる見込みから、販売点数の伸長は難しい状況である。食品と同様、衣料品などは今後も改善していく流れはみられない。収入面での変化が景気に大きく影響するため、そこが変わらないと厳しいとみられる。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・客の節約志向は継続したままで、特売商品や割引デーのまとめ買いをする傾向は変わっていない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（営業システム担当）	・高気温が続いているため季節商材の動きは良いが、雨が降らないため野菜等に影響が出始めている。米の価格も下がっているものの、米不足は変わらないため、更なる価格下降は期待できない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・物価高の影響が続いている。生活必需品以外は買い控えがみられる。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・米国の関税が15%で決着したが、今後の輸出入の動向を見なければ何も判断できない。また、新米の時期で米価の動向も不透明なままである。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・景気が良くなる要素がみえない。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・民意を反映した政策を期待している。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（代表）	・まだ決定事項ではないが、秋以降にガソリン減税法案が施行されれば、物流コストが下がり、物価高が落ち着くと予想する。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・物価上昇など全ての面で厳しい状況が続くため、景気の上昇は難しい。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	・家庭用ゲーム機の販売量が景気をどこまで支えてくれるか不明であるが、参議院選挙の結果で減税政策が進み、消費者マインドに刺激を与えて景気が上向くことを期待する。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（副店長）	・夏の暑さがなくなったときに需要が下がると考えられる。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・車検の予定数が少なく、販売予定も未定のため、景気は変わらないとみられる。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・物価高に対する不安が今後も続くともみられる。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・物価高の影響で出費を抑えたい客が多く、販売量は今期に入り横ばいである。任意保険を価格の安いネット保険に切り替える客もいる。ガソリン暫定税率廃止の期待は大きい。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（リース担当）	・景気が良くなる要素はないため、現状のままである。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（業務担当）	・今後も物価高騰は続き、購入意欲も鈍る状況が続く。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔土産物〕（経営者）	・減税か給付金なのかしっかりと方針を示してくれないと、景気の回復は見込めない。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・なかなか良くなる要素が見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・地球温暖化の影響で10月頃まで高気温が続き、いきなり寒くなることが予想される。秋物商品など、季節の変化への対応が難しくなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	高級レストラン（事業戦略担当）	・駅周辺などの中心地に比べて話題が乏しく、来客数が増えない。
	□	一般レストラン（経営者）	・物価高騰抑制の具体策はなく、先行きも混迷しており、日々の生活における行動範囲も狭くなり、巣籠り状態となる。生活費に占める食費の圧迫感が増し、節約志向が高まり、外食はぜいたくといった位置づけとなる。猛暑と水不足による農産物不足や新米もブレンド米については高値が予測されることも影響している。生活のなかで消費できる質と量に自己抑制が更に求められる状態になるとみられる。
	□	一般レストラン（経営者）	・物価高、梅雨による農作物の不作、更に夏場の電気代がかさみ、苦しい状況が続くそうである。
	□	一般レストラン（店長）	・しばらくは中心部から駅周辺への人の流れが続くとみられるため、悪い状況が続く。
	□	観光型ホテル（副支配人）	・秋の行楽シーズンに備えて、昼宴会の予約が例年並みに入ってきている。
	□	都市型ホテル（宿泊担当）	・夏季の旅行需要が弱く、お盆を含め、稼働率の伸びが例年より緩やかである。
	□	旅行代理店（支店長）	・秋の旅行シーズンを控え、海外旅行については安価な品ぞろえを強化しているが、前年比80%で推移している。政局が不安定であり、経済対策がみえてこないこともあり、当面はこの状況は変わらない。
	□	タクシー運転手	・ボーナスの時期なので期待しているが、6月から足踏み状態であり、景気が良いのか分からない。
	□	タクシー運転手	・現状より悪くはならないとみているが、良くなるような要素が見当たらない。
	□	通信会社（企画・総務担当）	・個人向けインターネット販売は、競合が多く、厳しい状況が続いているが、この状況は3か月後も変わらないとみられる。
	□	通信会社（営業担当）	・何か施策が実施されたわけではなく、状況は変わらないまま推移するとみられる。
	□	放送通信サービス（総務経理担当）	・3か月先に大きな変化は予想できないが、米国の関税など、景気動向の家計への影響が懸念される。
	□	テーマパーク（営業担当）	・猛暑の影響が9月頃まで続く可能性がある。暑さが弱まる10月からの集客を期待する。
	□	美容室（経営者）	・客の来店頻度が低下したとはいえ、2～3か月で急激に景気が悪くなることはない。
	□	美容室（経営者）	・円安が要因で先が読めない状況であり、景気が良くなる様子はない。
	□	美容室（経営者）	・経済の動きがなかなか安定しない状況である。不安をおおる情報が多く、客の動きは鈍く、節約傾向にある。
	□	設計事務所	・金があるうちに実行しようとしていたことが停止する可能性があるだけで、基本的なものは予定どおり進んでいくようにみえる。
	□	設計事務所（経営者）	・建築費の高騰や人手不足が続く見込みなので、引き合いがあっても計画まで至らないことが見込まれる。
	□	住宅販売会社（住宅設計担当）	・景気対策で、具体的に追い風となるものがない。
	□	住宅販売会社（事業推進担当）	・景気が回復する兆しが全くみえてこない。
	▲	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・更に物価が上がっていくと予想される。
	▲	百貨店（売場担当）	・今後の経済情勢や地域の状況を考えても、景気が上向く要素はなく、百貨店という高価格商材を扱う業態の苦戦は継続すると考える。
	▲	スーパー（業務開発担当）	・食品の値上げが止まらず、節約を通り越して、買えない状況になっているようにさえ感じられる。酷暑が続けば、生鮮食品も一層値上がり、手が届かない価格になりそうである。
	▲	スーパー（財務担当）	・物価の上昇による客の節約志向により、消費の2極化がますます進む。また、1人当たり買上点数の減少により、客単価が低下する。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・賃金が上がらないのに、物価が上昇して大変である。
	▲	乗用車販売店（統括）	・新型もなく、厳しい状況が続くとみられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	▲	自動車備品販売店（経営者）	・できるだけ早い国民に対する経済対策によって、需要が増えることを期待したい。	
	▲	住関連専門店（営業担当）	・景気の鈍化以上に、暑さで客の来店数が非常に少ない。	
	▲	その他専門店〔革製品〕（店主）	・これだけ不景気だと、財布のひもが固くなるのは仕方ない。	
	▲	その他専門店〔宝石店〕（店員）	・来月から一部の商品の値上げが予定されている。また、大型連休でコト消費に動く客が増えるため、ぜいたく品といわれる商品の売上は低迷するとみられる。	
	▲	都市型ホテル（総支配人）	・大阪・関西万博の影響で、当県の8月と9月の宿泊は前年割れする可能性が高いが、10月の予約ペースは良くなってきている。	
	▲	通信会社（広報担当）	・価格が安いことが全てになっており、必要な物に費用を掛けるという視点が欠如したまま推移している。	
	▲	テーマパーク（業務担当）	・8月の予約状況は前年同月より減少している。また、9～10月の秋の行楽シーズンの予約状況が悪い。2～3か月前からの予約ではなく、天候もみながら、1か月前や1週間前に予約するケースが見受けられるため、先の見通しが難しい。	
	▲	設計事務所（経営者）	・収入の伸びが良くなく、客は消極的な様子である。物価高で可処分所得が減り、消費意欲は低下する。	
	×	商店街（代表者）	・当県の基幹産業は自動車なので、米国の関税の影響で輸出が落ち込み、停滞感が満ちている。	
	×	コンビニ（エリア担当）	・買上点数と客単価が下落している。以前なら、4人家族であれば、おにぎり、サンドウィッチなどを購入していたのが、最近ではパン2つだけを購入する様子で、非常に景気が悪くなっている。コンビニは商品単価が高いため買い控えが進んでいるようで、今後景気が良くなるとは考えられない。	
	×	通信会社（総務担当）	・参議院選挙が終わり、政局が不安定であるため、今後は政府として何も決めることができず、時間ばかり掛かると危惧している。	
	企業 動向 関連 (中国)	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	・秋に向けて新車が立ち上がるため、忙しくなる。
		○	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・輸向向けの受注、鉄鋼向けの工事案件の受注といったものが重なり、微増の生産計画となっている。
○		輸送業	・受注が増えている。	
○		輸送業（営業担当）	・米国の関税の影響が判明したため、止まっていた引き合いが動き出す傾向がみられる。	
○		通信業（企画担当）	・データセンター、クラウド、ICT関連へのニーズは高く、それに加えてセキュリティ関連の商材も増加してくることを考慮すると、受注量や価格なども上昇するとみられる。企業が掛けるICT予算も計画的に遂行されており、セキュリティ分野などへの増加も見込まれる。	
○		金融業（経済産業調査担当）	・春闘で高水準の賃上げが続いたことに加え、物価の伸びの鈍化が見込まれることで、消費者マインドが徐々に持ち直すことが期待される。	
○		不動産業（総務担当）	・来月、来客数及び成約件数は変わらない。再来月以降は需要時期でもあるため、やや良くなると予測する。	
□		農林水産業（従業員）	・好転する要素がない。	
□		繊維工業（財務担当）	・物価上昇が続いているため、購買動向が鈍化する。	
□		化学工業（総務担当）	・米国の関税の動向に注視が必要である。	
□		化学工業（総務担当）	・米国の関税の影響があることが想定される。	
□		鉄鋼業（総務担当）	・大きく好転する要素はなく、取引先の動向にも特に変化がみられない。	
□		非鉄金属製造業（業務担当）	・電子部品の材料関係の販売見込みに変化はない。	
□		一般機械器具製造業（管理担当）	・米国以外で、海外向けの販売拡大施策を進めており、現状維持はできると見込んでいる。	
□		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きに変化はない。	
□	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・取引先の内示情報から、景気に変化はない。		
□	建設業（経営者）	・米国の関税の着地がみえてきたため、若干上向き傾向となりそうだが、3か月先はまだ現状水準とみられる。		
□	建設業（総務担当）	・当面はこの状況に変化はない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	輸送業（業務推進担当）	・特に大きなプラスやマイナスの要素はなく、取引先の動向にも目立った様子はない。
	□	輸送業（企画担当）	・参議院選挙の結果が出たが、今後の経済状態に大きな変化がないようにみられる。
	□	広告代理店（営業担当）	・前年同月の受注量に比べて大きな変化はない。
	▲	食料品製造業（経営者）	・9月一杯は猛暑が続くそうだが、季節商材は10月以降の販売予定なので、厳しい状況が予想される。経営状態も厳しさが増してくる。
	▲	食料品製造業（営業担当）	・値上げを予定している。
	▲	金属製品製造業（総務担当）	・工作機械業界向けの特需案件の受注が8月で終わるため、その生産を行った後の10月以降は、仕事量確保が課題となってくる。
	▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・依然として物価高が続くなか、賃上げの対応も考えていく必要があるため、利益率を改善する必要があるものの、見通しは良くない。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・米国の関税の影響で生産計画が流動的となる。
	▲	建設業	・資機材や物価の高騰が今後も続いていく。
	▲	金融業（副支店長）	・人手不足からの受注進捗の低迷や労務費の高騰、暑熱対策等による利益圧迫がみられ、今後、景気は低迷に向かっていると予想する。
	▲	会計事務所（経営者）	・米国の関税が自動車関連の企業に与えるマイナスの影響を懸念している。
		×	—
雇用 関連 (中国)	◎	民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	・ボーナス時期の影響により、転職潜在層が具体的なアクションへ移行していくタイミングとなる。引き続き多くの申込件数が見込める予定である。
	○	民間職業紹介機関（職員）	・米国の関税が予想に反して低率であったことから、地場輸出メーカーの時価総額が大幅に上がるなど、好材料となっている。警戒はしながらも、市場にも安心感が広がり、雇用安定にもつながる。
	□	人材派遣会社（経営企画担当）	・米国の関税の方向性が定まらなことで懸念材料が消え、景気動向に大きな変動を与える要因が今のところは特にはない。
	□	求人情報誌製作会社（総務担当）	・求職者の応募件数が増加し、広告掲載が減少傾向である。今後、どこまで同様の動きになるか不明であるため、変わらないと判断する。
	□	求人情報誌製作会社（新卒採用担当）	・2026年4月入社向けの採用数は、以前と比較して変化がない。
	□	職業安定所（職員）	・有効求職者数は前年同期と比べ微増している。また、就職に向けてじっくりと時間を掛ける人が増えており、就職件数が増加していくとは考えにくい。
	□	職業安定所（事業所部門）	・新卒求人数は堅調だが、一般の求人数がやや減少傾向にある。企業は、先行きに若干不安感を持っている様子である。ただし、依然として人手不足なので、雇用条件は上昇傾向にある。
	□	職業安定所（事業所担当）	・これから先、米国の関税の影響を受ける企業が出てくる可能性は否定できないものの、今のところ、管内の企業からは景気が悪くなる要因についての話はない。
	□	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・一般企業の就職に関しては、就職希望者のほとんどが内定を得ており、新たな求人を受けても該当する応募者がほとんどいない。
	▲	人材派遣会社（求職者対応）	・例年年末に向けて応募者数が減少傾向にある。
	▲	人材派遣会社（支店長）	・毎年7～8月は夏季休暇等もあり、人の動きが鈍くなることに加え、景気の良くなるような話題もない。
	▲	人材派遣会社（事業部長）	・米国の関税の影響によって、自動車産業界を中心に採用を抑制する動きがあったが、今後はより幅広い業界にまで影響が拡大し、好調に推移していた国内の労働市場は減速するとみられる。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・早急に米国の関税、政権の構成などの見通しが立たないと、地域の下請メーカーは大手企業の影響が必至であり、樂觀視できる状況ではない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	職業安定所（職員）	・物価の上昇に賃上げが追い付いていない状況がある。その上、米国の関税に係る大手自動車製造会社の売上の減少により、自動車関連会社の派遣労働者、契約社員、外国人労働者の雇用に影響が出ている。
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	・米国の関税交渉の結果、物価高が予想される。
	×	—	—

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (四国)	○	—	—
	○	商店街（代表者）	・参議院選挙後の政局不安に懸念が残るが、地元客の商店街利用を期待している。客単価は減少しているが、来客数の増加により全体的に良くなっている。商店街の店舗の新陳代謝も良くなるとみられる。
	○	商店街（代表者）	・参議院選挙でもみられるように、大きな時代の変化がみられる。本当に新たな我が国に生まれ変わってくれることを期待している。
	○	一般レストラン（経営者）	・気温が高い状態が続くと野外活動は敬遠され、客が外食を検討するとみられる。
	○	タクシー運転手	・秋にかけて四国遍路の客が増えることから、売上は増加するとみられる。
	○	通信会社（営業担当）	・来客数は安定しており客の購買意欲もあるとみられる。
	○	観光遊園地（主幹）	・夏休みなど観光のハイシーズンとなり、来客数が増加するとみられる。
	○	競艇場（マネージャー）	・若年層の来客数が増えており、活気があるとみられる。
	○	美容室（経営者）	・8月はお盆休みや帰省客が増えるため、活気は出るとみられる。
	□	商店街（常務理事）	・県内開催の大型イベントが多くあり、多くの国内観光客につながった。秋には情報発信力強化により、芸術祭や大阪・関西万博の人流をいかに地元消費に結び付けられるかが鍵となるとみられる。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・年末にかけて大手通販サイトにおいて値上げが決定しているため、価格取引が適正になるとみられる。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・物価上昇が止まらないため、生活が厳しくなるとみられる。し好品の買い控えが続くとみられる。
	□	百貨店（マネージャー）	・為替変動の影響が大きく、インバウンドが回復しないとみられる。
	□	スーパー（店長）	・商品値上げが続く見込みで、景気が良くなる要因が見当たらない。
	□	スーパー（店長）	・消費税の見直しなど大きな変化がない限り、現在の消費行動は継続するとみられる。
	□	スーパー（企画担当）	・同一県内にスーパーやドラッグストア等の新規出店が続く、取扱商品の競合も激しくなり、安い店舗へ客が流出している。売上は増加するが、利益面では厳しいとみられる。
	□	スーパー（企画担当）	・小売業を取り巻く環境は、まだ先行きが不透明である。
	□	コンビニ（総務）	・現在、売上が好調で、これから更に上向くための強い要素が見当たらない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・気候の影響から、来客数は伸びないとみられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・物価高が続いているため、地方の消費は当分良くなるとみられる。
□	衣料品専門店（営業責任者）	・客との話でも、将来が良くなる見通しが乏しいなど、景気が良くなるイメージがない。厳しいままの推移になるとみられる。	
□	家電量販店（店員）	・パソコンの買換え需要が続いており、数量、金額共にけん引していくとみられる。	
□	家電量販店（副店長）	・来客数の伸びがないため、今後についても大きな伸びは期待できないとみられる。	
□	乗用車販売業（営業担当）	・一部人気車種の受注再開予定はあるが、生産台数が限られていて長続きはしないとみられる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	乗用車販売店（従業員）	・人気車種が発売となっても台数制限があるなど、売上は増加しないとみられる。
	□	乗用車販売店（役員）	・米国の関税政策が消費動向にどのように影響するか不透明である。
	□	その他小売〔ショッピングセンター〕（館長）	・海外航空路線の定期便が9月から運休となるが、影響は限定的とみられる。大阪・関西万博が終了する10月中旬以降の景気動向を注視していきたい。
	□	観光型旅館（経営者）	・賃金上昇を物価上昇が上回っており、購買力が低下しているとみられる。
	□	都市型ホテル（経営者）	・改善される要因がない。
	□	旅行代理店（部長）	・物価高の影響が不透明な状況であり、政局にも懸念があるとみられる。
	□	タクシー運転手	・8月は祭り開催による利用者が増加し、9月は平常に戻るとみられる。クルーズ船の来航が月1回はあがるが、クルーズ船の客は多くが専用バスで移動することから、タクシー利用客は少ないとみられる。
	□	美容室（経営者）	・2～3か月後もまだ暑いとみられる。
	□	設計事務所（所長）	・中小企業においては、費用の価格転嫁が進んでいるが、賃金への反映が追いついていないとみられる。
	▲	商店街（代表者）	・米国の関税政策は一旦の決着がついたが、政治は、与党過半数割れで不安定な状況である。経済対策が遅れ、消費が更に鈍化するのではないかとみられる。
	▲	スーパー（統括担当）	・物価高により、消費支出が減少するとみられる。
	▲	スーパー（財務担当）	・ディスカウント型の競合店の出店が計画されており、価格志向の客が流出するとみられる。
	▲	スーパー（人事）	・米国の関税政策や参議院選挙の結果など、不透明な状況が続くとみられる。
	▲	コンビニ（店長）	・食品価格の値上げが予定されており、所得増加が伴っていない現状では買い控えの傾向がしばらく続くとみられる。
	▲	コンビニ（店長）	・物価上昇が止まらなければ、買上点数の減少は止まらなるとみられる。来客数が減少してしまうと、景気は更に悪くなるとみられる。
	▲	コンビニ（商品担当）	・天候の影響から、米、野菜、卵の生育などが不安である。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・米国関税政策の影響が出るとみられる。
	▲	その他専門店〔酒〕（経営者）	・天候が涼しくなるにつれて売上は減少するとみられる。お中元の販売がピークを越えることから、売上は減少するとみられる。
	×	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・ここ数か月、売上が良くない状況が続いている。今後も続くものとみられる。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—
	○	繊維工業（経営者）	・小売店では売場の販売効率を上げるために新規商品を探している。魅力的な商品を提案すれば、売上は確保できるとみられる。
	○	木材木製品製造業（営業部長）	・下期に向けて住宅着工数は、回復するとみられる。価格改定を実施予定であり、業績は回復するとみられる。
	○	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・お盆休みに掃除をする人が増えるため、7、8月のウェットクリーナーの売上が増加する。物価高が続いているため、消費者の購買意欲が低く、消耗品であるウェットクリーナーやキッチンペーパーなどは売行きが悪い。生活必需品以外の商品は節約される傾向があり、値上げを行いつづらぬ状況が続くとみられる。
	○	化学工業（所長）	・米国の関税政策が一旦決着したため、一時的に回復するとみられる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・我が国に対する米国の関税が15%に落ち着いたことから、株価、為替が安定し、景気は良くなるとみられる。
	○	税理士事務所	・米国の関税政策対応や選挙が終了したことから、景気は回復するとみられる。
	□	食料品製造業（経営者）	・労務費、物流費の高騰にて原価が上昇しているが製品価格に転嫁ができず、利益が減少するとみられる。
	□	食料品製造業（商品統括）	・景気回復へ進んでいたが、高温、少雨による卵、米の高騰が予想され利益が減少するとみられる。
	□	鉄鋼業（総務部長）	・すぐに変化がないとみられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	電気機械器具製造業（経理）	・参議院選挙の結果、衆参両院で政権政党が過半数割れとなった。そのため、政治が不安定化し、米国の関税による影響、為替変動や物価高といった状況が改善しないとみられる。
	□	建設業（経営者）	・公共工事の発注状況によるが、民間工事の発注状況も良い話が少なくとみられる。
	□	輸送業（経営者）	・変わらないとみられる。
	□	通信会社（総務担当）	・長期的な案件の動きが見られない。
	□	金融業（副支店長）	・物価変動の大きな変動はないとみられる。
	□	広告代理店（経営者）	・物価高の影響もあり小売流通業者関係の販売促進は停滞傾向であるが、人手不足対策の採用関連の仕事は引き続き顕著である。全体としては余り変化はないとみられる。
	▲	建設業（経営者）	・政治が不安定で経済に影響する。米国の関税政策の影響があるとみられる。
	×	—	—
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	—	—
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・夏休みの短期アルバイトの需要がなくなるが、正社員の募集が増加するとみられる。
	□	職業安定所（求人開発）	・経済情勢が不透明であるため、具体的な対策がない。賃上げを上回る物価上昇により、消費意欲が減退するとみられる。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・求人動向については大きな変化はなく、目立った動きがないとみられる。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・中小企業において、米国関税の影響がどのように出るか不透明である。
	▲	人材派遣会社（総務部長）	・物価高の影響から、景気はやや悪くなるとみられる。
	▲	求人情報誌（営業）	・地方において人材採用が難しくなっており、解決の糸口が見いだせていない。個別の企業努力による解決は難しく、景気はやや悪くなるとみられる。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・実質賃金が上がらなければ、状況に変化はないとみられる。
×	—	—	

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)	◎	乗用車販売店（役員）	・今後の受注は、新型車効果が期待でき、販売についても秋口までメーカーから安定した配車状況が見込めるため改善に期待したい。
	◎	観光型ホテル（専務）	・秋のシーズンになるため、団体の問合せが少しずつ入り、徐々に良くなると予想している。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・2～3か月先は業界的にも旅行シーズンとなり、来客数は増える見込みである。また、今後もイベントや学会などのシーズンを迎えるため、増加が予想される。
	○	一般小売店〔青果〕（店長）	・長期気象予報では10月上旬まで暑さは続くが、現在が暑さのピークで徐々に気温も下がり気味になると予想される。今後客の需要が伸び、相場も一層安定し状況が良くなると期待ができる。ギフトではマンゴーが前年より110%増加し、潜在的な需要が少しずつ伸びている。
	○	百貨店（企画担当）	・政権の不安定さはあるものの国内消費は想定よりも高い水準を維持しており、加えて、海外からの入国者数も更に増加を予想しているため、プラス方向に動くかと予測している。
	○	スーパー（企画担当）	・米不足が備蓄米の流通により落ち着いてきている。米の価格が安定することによって、消費動向がその他の商品に回り、売上安定につながると予測している。
	○	家電量販店（従業員）	・暑くなり冷房器具の需要が増している。
	○	乗用車販売店（従業員）	・半期決算があるためやや良くなる。
	○	乗用車販売店（役員）	・9月の仮決算商戦に向け、イベント企画を進めているため、来客数や注文数の増加が期待できる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	観光型ホテル（総務）	・例年通りの傾向と、10月からのインバウンドの回復が期待できる。
	○	旅行代理店（職員）	・国内旅行で、特に九州内バスツアーや大阪・関西万博関連の販売が好調に推移しており継続する。
	○	旅行代理店（統括者）	・インバウンドは引き続き好調が予測され、国内旅行は沖縄の大型レジャー施設に注目している。
	○	旅行代理店（統括者）	・政治的な変化や日米貿易の締結により株価の上昇が期待できる。
	○	通信会社（社員）	・前年度は上向き傾向であったが、今年度は前年度より更に良くなっている。特別なトピックはないが、従業員のモチベーションアップを講じたことが良くなった要因と推察される。
	○	テーマパーク職員	・夏休みや秋のレジャーシーズンを迎えるに当たり、猛暑予想もあり近郊の屋内レジャーを選択することが見込まれ、来館者数の増加が期待できると予想している。
	○	ゴルフ場（営業）	・秋季の繁忙期に入り、来客数増加を見込み、景気は良くなると予想している。
	□	商店街（代表者）	・給与は上がっているが、物価が高くなっているため、実質所得が減少しているのが実情である。見込みを予想しても、気温が高く客の動向が読むことができなくなっているため、気候変動が回復しなければ、景気は良くならない。
	□	商店街（代表者）	・物価高が続く限り景気は変わらず低迷する。
	□	商店街（代表者）	・今後景気が上向き要因が全く考えられないため、今の悪い状況が続くと予想している。
	□	商店街（代表者）	・当面この現状が続くのではないかと予想している。
	□	商店街（代表者）	・連日の猛暑の影響やテレビ等で不要不急の外出を控える報道があり、来街者が少なく商店街の通りは午後から激減しているため、昼過ぎまでの売上がそのまま1日の売上になっている状況である。
	□	百貨店（企画担当）	・気候を実感しながら購入する客が多く、実売期に入るまで特に苦戦すると予想される。
	□	百貨店（企画担当）	・百貨店は衣料品を中心に不振が続いているが、衣食住の物販だけでなく飲食やサービスも幅広く展開しているショッピングセンターでは、来客数及び売上の前年比では増加傾向が続いている。客は必要な物を取捨選択した上で、必要であれば購入する消費行動がみられるため、一概に消費が落ち込んでいるわけではない。
	□	百貨店（営業担当）	・自家需要は堅調で紳士雑貨やインテリア、好性の高いブランド品・舶来雑貨の価格上昇はあるものの、購入意欲は高く、来客数や商品単価は好調である。また、国内外クルーズ船の寄港や夏休み、お盆の帰省客など家族連れの増加で、周辺商店街を含め人の動きが一層増している。各種コード決済やクレジット決済の促進では、国内・インバウンドの来客数の増加により観光需要と客単価の上昇が期待できる。
	□	百貨店（業務担当）	・物価や米価の高騰など消費マインドに影響を与える課題が続いており、来店が減ると商況は厳しい。これから季節の端境期に入るため、状況が好転するのは難しい。
	□	百貨店（経営企画担当）	・長引く値上げの影響で、高額品についての動向も厳しくなってきた。出費先についてもよりシビアに選定する傾向がうかがえるため、景気の上向きを期待することが難しい。
	□	スーパー（店長）	・選挙が終わり、新内閣発足を仮定してもさほど景気回復にはつながらないと判断しており、物価高騰は続いていくため景気は変わらない。
	□	スーパー（店長）	・多くの方は収入が増加しないため単価上昇の負担が大きくなっており、消費意欲は強くない。景況感が好転する要素が見当たらず、横ばいか悪化すると推測している。
	□	スーパー（店員）	・景気が上向き可能性が見当たらない。最低賃金の値上げや給付金の支給、消費税の減税、ガソリン値下げなど何も変わらない状況では手立てがない。
	□	スーパー（総務担当）	・政府による物価高対策が具体的かつ有益的に実施されない限り、景気回復は依然として難しい。
	□	スーパー（経理担当）	・1品単価の上昇が続くため、景気は好調を維持する可能性が高い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・今月の売上は前月比及び前年比が105%程度で推移しており、このまま猛暑が長引けば好調な数字が期待できる。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・コンビニの客から感じたことではないものの、選挙の結果から従来の閉塞感が解放されている。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・価格に敏感であることには変わらないが、消費行動にマイナス要素はない。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・政治の停滞により物価高対策への期待が薄く、景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・政治の混乱や貿易交渉、猛暑など予断を許さない事態が多く、先行きが懸念される。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当・店長）	・例年になく今後も暑い時期が続くため、冷たい飲料や食品は売上が伸び、温める弁当やスパゲッティ等は売行きが伸び悩むのではないかと予想している。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	・政治の混迷が続くと予想されるが、3か月後の10月に条件が良くなるとすると、暑さが少し和らぎ客の消費意欲が出てくることである。それ以外には景気が良くなる条件は全く浮かばない。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・先行きの不透明感が拭えないため、消費意欲がないと予想される。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・6月は気温上昇が特殊要因となり好調であった。しかし7月は業界全体が落ち込んでおり、次月以降もプラスになる要因がなく苦戦が続くと予想される。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・現時点では好転する兆しがなく良くなる要因がない。今後の世界情勢によっては悪化の可能性もあり、楽観できない状況である。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（代表）	・景気が変わるような要因が見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・米国の関税交渉が決着したが、従来よりも関税率が高く様々な経済活動にはマイナスになると予想される。消費の先行きは不透明である。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・7～8月のお中元の需要が一段落し、コーヒーの販売量が落ち着いてくる。前年と比較すると売上や購入量は変わらないと見込んでいる。
	<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・現状が映画館要因で好調に推移しているため、ヒット映画の落ち着きと比例するように全館の集客も落ち着いてしまうと見込んでいる。一方で、当ショッピングセンターとしては新店舗の開業も控えており、加えて地元をモデルにした映画の公開もあるため、今より落ち込むことは予想しにくく景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営者）	・現在がかなり悪い状況であるため、今後気温が下がり来客数が増えることを期待している。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（スタッフ）	・物価高騰により仕入原価が高騰しており、何らかの経済対策が実施されるまでは何も変わらない。
	<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（支配人）	・物価高騰、働き方改革、人手不足等を考えると、今後も動きは変わらない。
	<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・週末にかけて夜の人出は多いが、タクシー利用が遅い時間帯に集中しており、すぐに深夜利用は終了してしまう。
	<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・物価上昇、関税問題など不確定要素が多いものの、人出やインバウンドの流れからも、現状維持は確保できる。
	<input type="checkbox"/>	タクシー（統括者）	・客の行動、単価に大きな変化がないと推測している。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・起爆剤となるようなイベント等がない。
	<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（従業員）	・前年と同様に猛暑が予想されるが、前年と同水準の入場者は維持できると予測している。
	<input type="checkbox"/>	競馬場（職員）	・現状では、景気動向を左右する要素は見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・2～3か月先のこの業界ではまだ夏の様相も考えられ、おしゃれの意欲には程遠い状態が続くと予想している。美容業界では涼しくならないと新商品が出ないため、早い景気回復は望めず、景気対策の手立てに期待している。
	<input type="checkbox"/>	美容室（店長）	・景気が良くなる話題がないため、状況は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・客からの受注は好調で、仕事は幾分増えているが、景気を左右するほどではない。
	<input type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	・現在の物価上昇に比べて、仕事の対価としての収入が増えてこないと予測される。さらに、世界の情勢が不安定であるため、先行きは不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	設計事務所（所長）	・結果が出るのに3か月ほど掛かり、今月の状態が先の見通しとなるため変わらない。
	□	住宅販売会社（従業員）	・競合他社の商談は多くあるものの、商談来客数はあるため今後もこの状況は続くと思われ。
	▲	商店街（代表者）	・商店街の各店舗では、猛暑の影響で客足が悪いと当店の状況からも予想される。物価上昇が続いており、日々の生活の買回品に消費し、その他の商品の売上は落ち込むのではないかと危惧している。そのため、小規模小売業者や小規模の中小企業等は、賃金を上げるに上げられない状況になっている。
	▲	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・猛暑が続けば売上は低くなり、具体的な景気対策の効果がないため、今後数か月の売上は期待できない。
	▲	百貨店（経理担当）	・物価高の影響は今後も続くと思われ、売上は余り期待できない。また、猛暑の影響もあり来客数の減少が見込まれる。
	▲	百貨店（営業企画担当）	・景気の不安定に加え、猛暑や残暑により不要な外出を控えるなど景気が良くなる材料が見当たらない。
	▲	百貨店（リーダー）	・お中元時期の終わりや今後も続く暑さのため、秋物への意識が向かないと予想している。
	▲	コンビニ（経営者）	・給付金を若年層に支給しても使わない人が多い。
	▲	コンビニ（経営者）	・客がコンビニエンスストアを利用するか微妙なところである。より安価な商品を求めていく動きが目立っているため、厳しい状況が続いており経営が不安である。
	▲	衣料品専門店（店長）	・問屋に他店の状況を問い合わせても同様に暑さの影響で出足が鈍いようである。涼しい時間帯に来店するために、客から閉店時間確認の電話が入ったことがある。
	▲	衣料品専門店（店員）	・残暑が続くと、前年と同様に秋物の売行きに不安がある。
	▲	乗用車販売店（総務担当）	・米国の関税の影響で輸出減少が予想され、景気は悪くなる。
	▲	住関連専門店（従業員）	・酷暑で来客数が増加する見込みが少ない上に、8月はクリアランスセール時期となり、単価も上がりにくい。
	▲	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・来客数減少が続くと予想している。
	▲	スナック（経営者）	・物価高に加え、猛暑のため街では人出が少なく、平日、週末共に来客数が減っている。10月まで暑さが続くと思われ、引き続き外食は控える傾向にあると予測している。
	▲	観光型ホテル（管理）	・仕入原価の上昇や人件費の増加に見合う値上げができず利益を圧迫し続けているため、景気は悪くなる。
	▲	都市型ホテル（販売担当）	・宴席数が減少しており、10月はかなり厳しい。
	▲	通信会社（役員）	・生活必需品の値上げが止まらない。加えて、賃上げが望めない状況が続いている。
	▲	通信会社（企画担当）	・光回線の販売量が上向ききっかけが見当たらず、悲観的になっている。
	▲	観光名所（職員）	・物価が上昇しており、購入意欲も下がってくると予想される。
	▲	ゴルフ場（従業員）	・8月から10月にかけての予約状況が少し鈍い。
	▲	理容室（経営者）	・2～3か月先は涼しくなるため、業種的に来店客のサイクルが長くなる。そのため、新規客の増加がない限り暑い夏と売上を比較すると若干減少する傾向にある。
	▲	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・10月の最低賃金の大幅な値上げが想定されるため、更なるコスト増加に加え、人材不足と採用難も進むと予測される。
	▲	設計事務所（代表）	・金利や物価の上昇の影響で、景気がやや悪くなる。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・現在の対策としては、物価高に対して収入を上げるしかないと考えている。賃金や収入率を上げることにより税収を上げ、景気対策の予算を出すサイクルを考え、政府による経済の抜本的な対策を講じることに期待している。
	×	観光型ホテル（営業）	・夏は団体旅行が少ない時期であり、近年その傾向は強くなってきている。また、大阪・関西万博の駆け込み需要が予想され、終了するまでは芳しくない見通しである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連 (九州)	○	—	—
	○	化学工業（総務担当）	・損益の前年比では回復傾向にあり、同様の状況が続くと予想される。
	○	電気機械器具製造業（取締役）	・取引先において大きな受注情報があり、現在詳細を確認しているところである。海外の大手半導体企業の進出により九州は盛り上がりを見せているが、自社関連では全く恩恵はない。
	○	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・3か月内示からみて当初生産計画に対し7～8%上振れしている。このままの状態であれば上期は前年同等の売上を確保できる見込みである。
	□	農林水産業（経営者）	・需要は原料と変わらないと予想するが、特に今年は暑い夏でビールの消費に合わせた焼き鳥など大いに期待できる。課題は秋口以降の原料不足や、供給不足である。加えて原料不足により工場稼働も大きな問題と認識している。
	□	家具製造業（従業員）	・数少ない大型案件はあるが、ベースとなる中小規模の案件が少ないため、業界全体の好景気にはつながっていない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・輸出問題は多くの課題を残すとみられ、客も方向性を検討するために様子を見ている状態で、この状況はしばらく変わらない。
	□	輸送業（従業員）	・現在の物価高が少しでも落ち着き、安定しないと物量は大きく動かない。
	□	輸送業（従業員）	・米国の関税交渉が落ち着いたが、従来よりも増加しており、個人消費の落ち込みが輸入量等に直結するため、回復にはまだ時間が掛かる。
	□	輸送業（総務担当）	・引き続き物価高や米国関税の情報に人々が振り回されると予想される。最低賃金の上昇による中小企業の対応や政局不安などでますます混迷を極めており、インバウンドの恩恵はどこまで続くのか先行き不透明である。いずれにしても物量が増える見込みが立っておらず、現状維持が見込まれる。
	□	通信業（経理担当）	・第1四半期の業績について、売上、利益共に初期の計画どおりに推移しており、今後も堅調な動きが見込まれる。
	□	通信業（統括者）	・中小企業を中心に顧客の積極的な設備投資の意欲はみられず、今後の景気に大きな変化はないと想定している。
	□	金融業（従業員）	・スーパーマーケットやコンビニの売上は増加しているが、住宅や家電の販売は弱含んでいる。また、物価上昇によるコスト高や人手不足のほか、海外景気や各国の通商政策の地元経済に及ぼす影響を見極めるため慎重な姿勢を示す先が見られる。
	□	金融業（調査担当）	・参議院選挙の結果を受けて国の経済対策が混迷を深めており、物価高に対応する効果的な支援策の早期打ち出しは期待薄であることから、当面の景気は現状維持で推移する。
	□	金融業（営業担当）	・参議院選挙の結果を踏まえ、物価対策を始め、政府による総合的な景気対策が講じられるか否かにより今後の景気が左右される。
	□	金融業（調査担当）	・米国の関税の影響の見極めが続くと予想されるため、景気の状態は変わらない。
	□	不動産業（経営者）	・当面の間、余り変動がないと予想される。
	□	新聞社〔広告〕（担当者）	・自治体プロポーザル入札などの案件は増えつつあるが、民間の広告案件は少ない。
	□	経営コンサルタント（社員）	・何らかのきっかけがあると動き始めることができるが、現状ではまだ見当たらない。
	□	経営コンサルタント（代表取締役）	・自社Webのアクセス数や問合せ件数に大きな変化がない。
▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	・8月から値上げの影響が懸念され、状況次第では産地の景気にも変化が出てくる。特に生地屋など賃金改定で苦しい立場になると予想され、上乘せする製品単価が難しい状態になっているのが現状である。	
▲	一般機械器具製造業（経営者）	・米国の関税問題が、今後の我が国の景気にどのように影響するのか見当がつかず、先行きが見えないため不安定な状況となっており、発注先の今後の見通しを懸念している。	
▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・顧客の情報では、若干景気が悪くなる。	
▲	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・各顧客から来月は減産すると情報が入り、先行きが暗い状況である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	通信業（職員）	・今年度の受注目標と比較すると、営業件名情報が不足している。7月までの営業活動及び情報収集で充当できていないため、受注量が伸びない可能性がある。
	▲	金融業（営業）	・企業は、労働力不足、コスト高などの影響により、利益は当初の予想より下方修正すると推察される。
	▲	広告代理店（従業員）	・当社を取り巻く環境は、相変わらず厳しい状況である。世界の情勢についても今後3か月で劇的な変化は起こらず、景気はやや厳しい状況が続く。
	▲	経営コンサルタント（社員）	・消費者の節約傾向は強くなり、生活必需品のみの購入に絞ってくるため、景気はやや悪くなる。
	▲	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・6月補正予算では、当県や周辺の県の市町村の調査や計画策定の委託業務が少ないことから、今後は発注が少なくなることが見込まれる。このため、今後は景気はやや悪くなることが予想される。
	×	繊維工業（営業担当）	・3か月後に賃金が上がると、対応できない工場は閉鎖する可能性があり、また、外国人の受入れも非常に難しい。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・ここ数か月は受注回復の見込みがないと予想される。
雇用 関連 (九州)	◎	—	—
	○	—	—
	□	人材派遣会社（社員）	・受注件数については減少傾向が続いており、それに対して応募数も減少していくと予想される。また、新規企業からの問合せが少なく、既存企業若しくは過去に取引のあった企業からの注文が多くを占めている。
	□	人材派遣会社（社員）	・今後も求人数に大きな影響を及ぼすイベントなどはなく、現状が続く。
	□	人材派遣会社（社員）	・関税の発動により、顧客は先行き不透明で危惧している。
	□	新聞社〔求人広告〕（社員）	・季節商材の買換えや旅行など個人消費の増加が期待できる。一方、猛暑の影響で農作物などの価格高騰を懸念している。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・減税など活発に論議されているが、実施されるかは不透明であり、給付金の支給等もないまま進んでいくのではないかと危惧している。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数は減少が続いており、人手不足が様々な業界で発生しているため、当面同じ状態が続いていく。
	□	職業安定所（職員）	・求人に対する紹介件数が前年比では10%以上増加するなど企業の採用意欲は高い状況にあるが、原材料価格の高騰を理由として企業が廃業するなど景気の動向が不透明な状況である。
	□	学校〔大学〕（就職支援業務）	・米国の新政権が打ち出す米国への輸入品に対する関税措置や国際紛争対応など様々な政策が国際経済の不確実性を高めている。日本政府や企業も具体的な対応策を模索している状況が続き、先行きの不透明感が非常に強い。台湾大手企業の工場稼働、第2工場の建設計画の進展など九州地域の経済・雇用は堅調なもの、物価高騰は収まる気配が全くなく、実質賃金が改善する見通しは立たず、景気が上向く実感が無い。
▲	人材派遣会社（社員）	・例年、定期異動後の社員補充枠を派遣で対応することが多い季節であるが、企業が分社化などで社内調整しようとする動きがあり、今年は新規問合せが少ない。	
▲	学校〔専門学校〕（就職担当）	・物価上昇が続いており、消費者の節約志向がしばらく続くと予想され、身の回りの経済活動全体がやや鈍化する可能性がある。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	—	—

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	スーパー（企画担当）	・2～3か月先の景気は、政府による電気・ガス料金支援の継続、夏の観光シーズン本格化と大型レジャー施設開業による新規需要の拡大が期待される。さらに夏季ボーナスの支給や、夏祭りなど様々なイベントの開催、9月には旧盆における消費活動の活発化により、今月よりも良くなるとみられる。
	◎	コンビニ（店長）	・減税の動きが加速し、実現される可能性があることで、経済が活性化する期待感により、消費行動が活発になるとみている。
	◎	その他専門店 [陶器]（製造）	・夏は旅行者が増えるとみている。
	◎	一般レストラン（代表者）	・観光シーズンであり、夏休みに入っているため、来客が増えることを期待している。
	◎	観光型ホテル（企画担当）	・7月の販売室数は前年比8%減少なのに対し、7月末時点での10月の予約室数は前年比6%増加となり、プラスに転じている。
	◎	観光名所（職員）	・大型レジャー施設開業により、家族単位の観光客の増加が見込まれる。
	○	百貨店（経営担当）	・国内外観光客の増加が期待できるほか、地元客の旧盆需要や夏休みによる家族連れの来店増加が見込まれる。
	○	コンビニ（経営者）	・海外団体客の旅行者が多くなっている。
	○	コンビニ（店長）	・大型レジャー施設も開業し、県内を訪れる観光客の人数も更に増えるとみている。
	○	コンビニ（店長）	・8月は7月同様に集客が見込める。9月は、大学生の夏休みを利用した観光需要や旧盆で帰省する人の集客が見込める。周辺施設のイベントも多々あり、集客に期待している。
	○	コンビニ（経営企画担当）	・天候次第ではあるものの、観光客数は好調を維持すると見込んでいる。
	○	家電量販店（営業担当）	・前年6月に開始した省エネ家電買換えキャンペーンの反動によるエアコンや冷蔵庫など対象家電の需要減少が、徐々に少なくなるとみている。
	○	その他専門店 [書籍]（部長）	・今夏は沖縄が涼しく避暑地であるとの報道も多数みられており、大型レジャー施設開業の影響で、更に注目が集まっていることから9～10月にかけて訪れる人は増えるとみている。
	○	観光型ホテル（総支配人）	・大型レジャー施設効果に合わせて、大阪・関西万博の終了後の旅行需要が分散するとみている。
	○	通信会社（サービス担当）	・ミドルレンジ端末や通信料金を抑えたプランの需要が高く、キャンペーンによる販売促進の効果が現れるとみている。
	○	その他サービス [レンタカー]（営業）	・先行きの受注状況は前年を上回っている。特に個人の動きが良く大型レジャー施設開業の影響により、今後も受注につながるとみている。
	□	商店街（代表者）	・街中の商売形態は、飲食がやや多くなりつつあり、物販の売上が厳しくなっている状況にある。一概にどちらがいいのか、なかなか応えにくい状況である。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月は選挙もあり、客の動きが悪かった。また、セール時期の売上が期待したほど上がらなかったことから、景気はまだ悪い状態が続くとみている。
□	乗用車販売店（経理担当）	・景気に影響する大きな要因が見当たらない。	
□	乗用車販売店（営業担当）	・大型レジャー施設の開業により観光が活性化することで、車両購入にも良い影響があることを期待している。	
□	その他飲食店 [バー]（経営者）	・ガソリン税の廃止や物価高対策で人の動きが出てくることを期待している。	
□	その他飲食店 [ファーストフード]（総務部）	・観光客の増加と大型レジャー施設開業の影響がしばらく続くとみている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	住宅販売会社（役員）	・大型レジュー施設の開業で県外の引き合いが多くなる一方で、地元需要の伸びは良くなく、高値傾向にある住宅価格とのかい離が懸念される。
	□	住宅販売会社（営業担当）	・建設の問合せや相談が継続して活況である。
	▲	スーパー（店舗管理）	・10月の最低賃金の改定により、沖縄県でも恐らく4けたの額面になるとみている。全体の賃上げになることは望ましいが、確実に営業利益に影響が出てくるとみている。収益体制の見直しが急務である。
	▲	旅行代理店（マネージャー）	・物価高が続くなか、手取り額が増えなければ財布のひもも固くなるとみている。
	▲	通信会社（営業担当）	・米国の関税の影響が出てくるとみられる。
企業 動向 関連 (沖縄)	×	—	—
	◎	—	—
	○	食料品製造業（役員）	・今後も大型レジュー施設の効果が続くともみている。
	○	建設業（経営者）	・法人関連のビルや事務所、倉庫等の工場の引き合いは良いものの、住居関連は、着工戸数減少が続いているため、プラスマイナスで少し良い状況であるとみている。
	○	輸送業（総務経理担当）	・運賃交渉の成果等があるとみている。
	□	窯業土石業（取締役）	・来月より着工遅れの案件が重複して工事開始となり、一時的に製造部門も含めて繁忙となるが、その後は現状と大きな変化はないとみている。
	□	広告代理店（営業担当）	・県内企業の販売促進活動は、着実に動いているものの、仕入コストや人件費コスト等の上昇の影響もあり、予算規模は維持、あるいは微減の傾向にあるとみている。
	□	会計事務所（所長）	・各事業体の業績は復調傾向にあるが、賃上げを通じて消費性向の増加につながるかが鍵になるとみている。
	▲	通信業（総務）	・物価高騰や人材不足を解消するための増員による人件費増加で、利益は減少するとみている。さらに増税により手取りが減少することも懸念している。
雇用 関連 (沖縄)	×	—	—
	◎	—	—
	○	—	—
	□	人材派遣会社（総務担当）	・夏に向けて、今以上に人手不足が続くとみている。
	□	求人情報誌製作会社（審査）	・飲食、サービス関連では年末商戦に向けた採用が動き出すとみているが、物価高騰の影響により広告費や人件費を抑える動きもみられる。そのため、大きな増加にはつながらず、前年並みの動きにとどまる見込みである。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・若者のSNS利用状況を踏まえ、動画などで求人紹介をする企業も出てきており、今後は、学校やナビサイトを利用しない求人展開が増えてくるとみている。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・政治の変わり目にも期待したいが、現状はしばらく続くとみている。
▲	—	—	
×	—	—	